

〇 厚 生 勞 働 省 告 示 第 六 号

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第百二十三号）第五条第二十五項及び第七十六条第二項の規定に基づき、補装具の種目、購入等に要する費用の額の算定等に関する基準（平成十八年厚生労働省告示第百二十八号）の一部を次の表のように改正し、令和六年四月一日から適用する。

令和六年三月二十九日

こども家庭庁長官 渡辺由美子

厚生労働大臣 武見 敬三

（傍線部分は改正部分）

改 正 後	改 正 前
<p>1 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第百二十三号。以下「法」という。）第五条第二十五項に規定する主務大臣が定める補装具の種目は、義肢、装具、<u>姿勢保持装置</u>、視覚障害者安全つえ、義眼、眼鏡、補聴器、人工内耳（人工内耳用音声信号処理装置の修理に限る。）、車椅子、電動車椅子、座位保持椅子、起立保持具、歩行器、頭部保持具、排便補助具、歩行補助つえ及び重度障害者用意思伝達装置とし、次項から第六項までに定める基準以外の基準については、別表のとおりとする。ただし、障害の現症、生活環境等を特に考慮して市町村が費用を支給する補装具については、別表の規定にかかわらず、法第七十六条第三項の規定による身体障害者更生相談所その他主務省令で定める機関の意見に基づき当該市町村が定めるものとする。</p> <p>2 （略）</p> <p>3 法第七十六条第二項の規定に基づき主務大臣が定める補装具の購入等に係る費用の額の基準は、別表の規定による上限価格の百分の百六に相当する額とする。ただし、第一項ただし書の補装具については、市町村が定める額とする。</p> <p>4 <u>別表の1の(4)の装具（レディメイド）の購入に係る費用の額の基準は、前項の規定にかかわらず、別表の規定による上限価格の百分の百に相当する額とする。</u></p> <p>5 次に掲げる購入等に係る費用の額の基準は、<u>前二項の規定にかかわらず、別表の規定による上限価格の百分の百十に相当する額とする。</u></p> <p>一 <u>別表の1の(8)のその他の表に掲げる眼鏡（遮光用及び弱視用を除く。）の購入</u></p> <p>二 <u>別表の1の(8)のその他の表に掲げる歩行補助つえ（プラットホーム杖に限る。）の購入</u></p> <p><u>三 別表の3の(1)のエの表に掲げる断端袋の交換</u></p> <p><u>四 別表の3の(2)のエの表に掲げる断端袋の交換</u> （削る）</p>	<p>1 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第百二十三号。以下「法」という。）第五条第二十五項に規定する主務大臣が定める補装具の種目は、義肢、装具、<u>座位保持装置</u>、視覚障害者安全つえ、義眼、眼鏡、補聴器、人工内耳（人工内耳用音声信号処理装置の修理に限る。）、車椅子、電動車椅子、座位保持椅子、起立保持具、歩行器、頭部保持具、排便補助具、歩行補助つえ及び重度障害者用意思伝達装置とし、次項から第五項までに定める基準以外の基準については、別表のとおりとする。ただし、障害の現症、生活環境等を特に考慮して市町村が費用を支給する補装具については、別表の規定にかかわらず、法第七十六条第三項の規定による身体障害者更生相談所その他主務省令で定める機関の意見に基づき当該市町村が定めるものとする。</p> <p>2 （略）</p> <p>3 法第七十六条第二項の規定に基づき主務大臣が定める補装具の購入等に係る費用の額の基準は、別表の規定による価格の百分の百六に相当する額とする。ただし、第一項ただし書の補装具については、市町村が定める額とする。</p> <p>（新設）</p> <p>4 次に掲げる購入等に係る費用の額の基準は、<u>前項の規定にかかわらず、別表の規定による価格の百分の百十に相当する額とする。</u></p> <p>一 <u>別表の1の(5)の眼鏡（遮光用及び弱視用を除く。）の購入</u></p> <p>二 <u>別表の1の(5)の歩行補助つえ（プラットホーム杖に限る。）の購入</u> （新設）</p> <p>（新設）</p> <p>三 <u>別表の3の(5)の視覚障害者安全つえの項中マグネット付き石突交換</u></p>

(削る)
(削る)
(削る)

五 別表の 3 の(6)の車椅子の表の付属品の項に掲げる付属品交換 (別表の 1 の(6)のエのウの表に掲げるクッション (カバー付き)、背クッション、枕 (レディメイド)、テーブル、杖たて、栄養バック取付用ガードル架、点滴ポール、日よけ、雨よけ、スポークカバー及びリフレクタの交換に限る。ただし、オーダーメイドで製作されたものを除く。)

六 別表の 3 の(7)の電動車椅子のアの表のスイッチの項に掲げる延長スイッチ交換、バッテリーの項に掲げるバッテリー交換 (リチウムイオン電池)、充電器の項に掲げる外部充電器交換及び付属品の項に掲げる付属品交換 (別表の 1 の(7)のエのウの表に掲げるジョイスティックノブの交換に限る。)並びにイの表のスイッチの項に掲げるスイッチゴム交換及び延長スイッチ交換、バッテリーの項に掲げるバッテリー交換 (リチウムイオン電池) 及びバッテリー交換 (ニッケル水素電池) 並びに充電器の項に掲げる外部充電器交換

七 別表の 3 の(8)のその他の表の視覚障害者安全つえの項に掲げるマグネット付き石突交換

八 別表の 3 の(8)のその他の表の眼鏡の項に掲げる枠交換 (遮光用及び弱視用に係るものを除く。)

九 別表の 3 の(8)のその他の表の眼鏡の項に掲げるレンズ交換 (遮光用レンズ及び遮光矯正用レンズに係るものを除く。)

十 別表の 3 の(8)のその他の表の補聴器の項に掲げる重度難聴用イヤホン交換、眼鏡型平面レンズ交換、骨導式ポケット型レシーバー交換、骨導式ポケット型ヘッドバンド交換、ワイヤレスマイク充電用 AC アダプタ交換及びイヤホン交換

十一 別表の 3 の(8)のその他の表の歩行補助つえの項に掲げる凍結路面用滑り止め (非ゴム系) 交換

十二 別表の 3 の(8)のその他の表の重度障害者用意思伝達装置の項に掲げる本体修理、固定台 (アーム式又はテーブル置き式) 交換、固定台 (自立スタンド式) 交換、入力装置固定具交換、呼び鈴交換、呼び鈴分岐装置交換、接点式入力装置 (スイッチ) 交換、帯電式入力装置 (スイッチ) 交換、筋電式入力装置 (スイッチ) 交換、光電式入力装置 (スイッチ) 交換、呼吸式 (吸気式) 入力装置 (スイッチ) 交換、圧電素子式入力装置 (スイッチ) 交換、空気圧式入力装置 (スイッチ) 交換、視線検出式入力装置 (スイッチ) 交換及び遠隔制御装置交換

十三 別表の 3 の(8)のその他の表の人工内耳の項に掲げる人工内耳用音声信号処理装置修理

6 国、地方公共団体、日本赤十字社、社会福祉法人又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する補装具製作施設が製作した補装具を購入又は修理する場合の第三項又は前項の費用の額の基準は、第三項及び前項の規定にかかわらず、それぞれ第三項又は前項に掲げる額の百分の九十五に相当する額とする。

四 別表の 3 の(5)の眼鏡の項中枠交換 (遮光用及び弱視用に係るものを除く。)

五 別表の 3 の(5)の眼鏡の項中レンズ交換 (遮光用レンズ及び遮光矯正用レンズに係るものを除く。)

六 別表の 3 の(5)の補聴器の項中重度難聴用イヤホン交換、眼鏡型平面レンズ交換、骨導式ポケット型レシーバー交換、骨導式ポケット型ヘッドバンド交換、ワイヤレスマイク充電用 AC アダプタ交換及びイヤホン交換

七 別表の 3 の(5)の車椅子の項中クッション交換、クッション (ポリエステル繊維、ウレタンフォーム等の多層構造のもの及び立体編物構造のもの) 交換、クッション (ゲルとウレタンフォームの組み合わせのもの) 交換、クッション (バルブを開閉するだけで空気量を調整するもの) 交換、クッション (特殊な空気室構造のもの) 交換、フローテーションパッド交換、背クッション交換、特殊形状クッション (骨盤・大腿部サポート) 交換、クッションカバー (防水加工を施したもの) 交換、枕 (オーダー) 交換、リフレクタ (反射器一夜光反射板) 交換、テーブル交換、スポークカバー交換、ステッキホルダー (杖たて) 交換、栄養バック取り付け用ガードル架交換、点滴ポール交換及び日よけ (雨よけ) 部品交換

八 別表の 3 の(5)の電動車椅子の項中枕 (オーダー) 交換、バッテリー交換 (マイコン内蔵型に係るものを含む。)、外部充電器交換、オイル又はグリス交換、ステッキホルダー (杖たて) 交換、栄養バック取り付け用ガードル架交換、点滴ポール交換、延長式スイッチ交換、レバーノブ各種形状 (小ノブ、球ノブ、こけしノブ) 交換、レバーノブ各種形状 (Uノブ、十字ノブ、ペンノブ、太長ノブ、T字ノブ、極小ノブ) 交換、日よけ (雨よけ) 部品交換、リフレクタ (反射器一夜光反射板) 交換及びテーブル交換

(新設)

(新設)

(新設)

(新設)

九 別表の 3 の(5)の歩行補助つえの項中凍結路面用滑り止め (非ゴム系) 交換

十 別表の 3 の(5)の重度障害者用意思伝達装置の項中本体修理、固定台 (アーム式又はテーブル置き式) 交換、固定台 (自立スタンド式) 交換、入力装置固定具交換、呼び鈴交換、呼び鈴分岐装置交換、接点式入力装置 (スイッチ) 交換、帯電式入力装置 (スイッチ) 交換、筋電式入力装置 (スイッチ) 交換、光電式入力装置 (スイッチ) 交換、呼吸式 (吸気式) 入力装置 (スイッチ) 交換、圧電素子式入力装置 (スイッチ) 交換、空気圧式入力装置 (スイッチ) 交換、視線検出式入力装置 (スイッチ) 交換及び遠隔制御装置交換

十一 別表の 3 の(5)の人工内耳の項中人工内耳用音声信号処理装置修理

5 国、地方公共団体、日本赤十字社、社会福祉法人又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する補装具製作施設が製作した補装具を購入又は修理する場合の第三項又は前項の費用の額の基準は、前二項の規定にかかわらず、それぞれ第三項又は前項に掲げる額の百分の九十五に相当する額とする。

別表

1 購入基準

(1) 義肢一般構造義肢

義肢とは、欠失した上肢若しくは下肢の全部若しくは一部の形態又は機能を代償するために装着及び使用する人工の手足をいう。

そのうち、殻構造義肢とは、義肢に働く外力を殻で負担し、同時に、この殻の外形が手足の外観を整える構造のものをいい、アの基本工作法により、エ及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。

価格は、イの採型区分によるウの基本価格にエ及びオのそれぞれ使用する材料・部品の価格を合算した額を上限とし、医師の採型技術料を含まないものであること。

名称	採型区分	定義	備考
肩義手	A-1	<p>肩義手とは、肩甲胸郭間切断、肩関節離断及び上腕骨頸部切断に用いるものであって、次に掲げるものをいう。</p> <p>(能動式)</p> <p>主として、上肢帯及び体幹の運動を義手の制御のための力源に利用し、コントロールケーブル等を介して、継手及び手先具を操作する構造のもの</p> <p>(電動式)</p> <p>継手及び手先具の操作を行うための力源に電気エネルギーを用いるもの。なお、電動式に加え、能動式又はその他を用いるハイブリッド式の場合は、電動式として算定する。</p> <p>(その他)</p> <p>能動式・電動式以外のもの。装飾用（外観の復元を第一義に考え、軽量化及び見かけの良さを図ったもの）及び作業用（就労又は教育上必要となる特定の目的に使用できるように、特定の機能を優先して製作したものであって、作業に応じて専用の手先具を交換して使用することが可能なもの）のものを含む。なお、幹部を使用する作業用義手は骨格構造とする。</p>	<p>作業用の手先具は、3個を限度として必要な数だけオの完成用部品を加えること。</p>
上腕義手	A-2	<p>上腕義手とは、上腕切断に用いるものであって、次に掲げるものをいう。</p> <p>(能動式)</p> <p>上肢帯、体幹及び切断側上肢の運動を義手の制御のための力源に利用し、コントロールケーブル等を介して、継手及び手先具を操作する構造のもの</p> <p>(電動式)</p> <p>継手及び手先具の操作を行うための力源に電気エネルギーを用いるもの。なお、電動式に加</p>	<p>作業用の手先具は、3個を限度として必要な数だけオの完成用部品を加えること。</p>

別表

1 購入基準

(1) 義肢一般構造義肢
(新設)

名称	型式	使用材料・部品及び工作法	価格	備考
上腕義手	装飾用	<p>アの基本工作法により、エ及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</p> <p>ソケットは、断端との適合に注意し、装着感を良くするとともに安定性の確保に留意し、残存運動力を有効に伝えなければならないこと。</p> <p>肩吊りバンドは、使用中容易に変形しない織物を用い、腋窩部に不快感、疼痛、皮膚の損傷を生じないように留意すること。</p>	イの採型区分によるウの基本価格にエ及びオのそれぞれ使用する材料・部品の価格を合算した額とすること。	
	作業用	<p>ソケット及び支持部の工作に際しては、作業中の繰返し荷重、振動荷重、衝撃に耐えられるよう留意し、信頼性を高めること。</p> <p>その他は装飾用と同じ。</p>		
	能動式	<p>ハンド型手部付</p> <p>アの基本工作法により、エ及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</p> <p>ソケットは、断端との適合に留意し、装着感の良さ、安定性、運動の伝達性を確保するとともに、トータルコンタクト（全面接触型）を原則とすること。</p> <p>コントロールケーブル（伝導索）は、可撓性の大きい滑らかな鋼製ケーブル又はナイロン単繊維をハウジング（ケーブル鞘）とともに用い、摩擦によるケーブルの損耗と力の伝達効率の低下を防ぐこと。</p> <p>肩吊りバンドは、肘継手、手部の作動力源で、その適合はコントロールケーブルのアライメントとともに義手</p>		

		え、能動式又はその他を用いるハイブリッド式の場合は、電動式として算定する。 (その他) 能動式・電動式以外のもの。装飾用（外観の復元を第一義に考え、軽量化及び見かけの良さを図ったもの）及び作業用（就労又は教育上必要となる特定の目的に使用できるように、特定の機能を優先して製作したものであって、作業に応じて専用の手先具を交換して使用することが可能なもの）のものを含む。なお、幹部を使用する作業用義手は骨格構造とする。	
肘義手	A-3	肘義手とは、肘関節離断に用いるものであって、次に掲げるものをいう。 (能動式) 上肢帯、体幹及び切断側上肢の運動を義手の制御のための力源に利用し、コントロールケーブルやリンク機構等を介して、継手及び手先具を操作する構造のもの (電動式) 継手及び手先具の操作を行うための力源に電気エネルギーを用いるもの (その他) 能動式・電動式以外のもの。装飾用（外観の復元を第一義に考え、軽量化及び見かけの良さを図ったもの）及び作業用（就労又は教育上必要となる特定の目的に使用できるように、特定の機能を優先して製作したものであって、作業に応じて専用の手先具を交換して使用することが可能なもの）のものを含む。なお、幹部を使用する作業用義手は骨格構造とする。	作業用の手先具は、3個を限度として必要な数だけオの完成用部品を加えること。
前腕義手	A-4	前腕義手とは、前腕切断に用いるものであって、次に掲げるものをいう。 (能動式) 上肢帯、体幹及び切断側上肢の運動を義手の制御のための力源に利用し、コントロールケーブル等を介して、継手及び手先具を操作する構造のもの。なお、電動式に加え、能動式又はその他を用いるハイブリッド式の場合は、電動式として算定する。	作業用の手先具は、3個を限度として必要な数だけオの完成用部品を加えること。

		の機能を左右することから適合と取付けに細心の注意を払い、また、腋窩部を過度に圧迫しないこと。 肘継手及び手首部は、繰返し使用に対し機能の低下を来たさず信頼性の高いものであること。	
	フック型手付	手首部は、使用中変形を来たさず信頼性の高いものであること。 その他はハンド型手付と同じ。	
	電動式	アの基本工作法により、エ及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。 ソケットは、断端との適合に留意し、装着感の良さ、安定性及び運動の伝達性を確保すること。 操作は、筋電電極又はスイッチを用い、モーターにより手先具や継手を制御するものであること。	
肩義手	装飾用	肩継手は、可動で外転式、屈曲一伸展式又は複合運動式とし、衣服の損耗を防ぐために突起部のないよう留意すること。 ハーネス（胸郭帯）は、義手を肩部によく落ち着かせるようその取付位置を注意して選び、着脱に便利な構造とすること。 その他は上腕義手表飾用と同じ。	
	作業用	肩継手は、必要に応じ固定できること。 その他は上腕義手表作業用と同じ。	
	能動式 普通用 手付	肩継手は、装飾用と同じ。 コントロールケーブルの取付けにはその位置に留意し、コントロールケーブルに引張力が働くとき肩継手が動かぬようにすること。 外観を良くするため、肩幅の復元に留意すること。 その他は上腕義手能動式と同じ。	

		<p>(電動式) 継手及び手先具の操作を行うための力源に電気エネルギーを用いるもの</p> <p>(その他) 能動式・電動式以外のもの。装飾用（外観の復元を第一義に考え、軽量化及び見かけの良さを図ったもの）及び作業用（就労又は教育上必要となる特定の目的に使用できるように、特定の機能を優先して製作したものであって、作業に応じて専用の手先具を交換して使用することが可能なもの）のものを含む。なお、幹部を使用する作業用義手は骨格構造とする。</p>	
手義手	A-5	<p>手義手とは、手関節離断に用いるものであって、次に掲げるものをいう。</p> <p>(電動式) 上肢帯、体幹及び切断側上肢の運動を義手の制御のための力源に利用し、コントロールケーブル等を介して、継手及び手先具を操作する構造のもの</p> <p>(電動式) 継手及び手先具の操作を行うための力源に電気エネルギーを用いるもの</p> <p>(その他) 能動式・電動式以外のもの。装飾用（外観の復元を第一義に考え、軽量化及び見かけの良さを図ったもの）及び作業用（就労又は教育上必要となる特定の目的に使用できるように、特定の機能を優先して製作したものであって、作業に応じて専用の手先具を交換して使用することが可能なもの）のものを含む。</p>	<p>作業用の手先具は、3個を限度として必要な数だけオの完成用部品を加えること。</p>
手部義手	A-6	<p>手部義手とは、手根中手切断に用いるものであって、次に掲げるものをいう。</p> <p>(電動式) 上肢帯、体幹及び切断側上肢の運動を義手の制御のための力源に利用し、コントロールケーブルやリンク機構等を介して、継手及び手先具を操作する構造のもの</p> <p>(電動式) 継手及び手先具の操作を行うための力源に電気エネルギーを用いるもの</p>	

	フック型手部付	<p>手部は、使用中変形を来たさず信頼性の高いものであること。</p> <p>その他はハンド型手部付と同じ。</p>	
	能動式肩甲鎖骨切除用	<p>ソケットの支持性を増すため、反対側の肩部までソケット後壁部を延長する等特別の配慮が必要であるとともに、疼痛、不快感のないよう適合に留意すること。</p> <p>肩吊りバンドの工作に際しては、反対側の肩運動を有効に利用するため運動量増幅機構等を用い、コントロールケーブルのアライメントに際しては、機能の向上に特に留意すること。</p> <p>その他は能動式普通用と同じ。</p>	
	フック型手部付	<p>手部は、使用中変形を来たさず信頼性の高いものであること。</p> <p>その他はハンド型手部付と同じ。</p>	
	電動式	上腕義手電動式と同じ。	
肘義手	装飾用	上腕義手表飾用と同じ。	
	作業用	<p>幹部は、作業種目を考慮したものとする。</p> <p>その他は上腕義手表作業用と同じ。</p>	
	能動式	上腕義手能動式と同じ。	
	電動式	上腕義手電動式と同じ。	
前腕義手	装飾用	<p>アの基本工作法により、エ及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</p> <p>ソケットは、断端との適合に注意し、装着感を良くするとともに残存運動力を有効に伝えるよう注意すること。</p> <p>切断面に回旋能力が残っていない場合には、手継手部で回旋できることが必要であること。</p>	
	作業用	<p>アの基本工作法により、エ及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</p>	

		(その他) 能動式・電動式以外のもの。装飾用（外観の復元を第一義に考え、軽量化及び見かけの良さを図ったもの）及び作業用（就労又は教育上必要となる特定の目的に使用できるように、特定の機能を優先して製作したものであって、作業に応じて専用の手先具を交換して使用することが可能なもの）のものを含む。	
手指義手	A-6 (多指切断) A-7 (1指切断)	手指義手とは、手指切断に用いるものであって、次に掲げるものをいい、キャップ式又は手袋型のいずれかによることとする。 (能動式) 切断側上肢の運動を義手の制御のための力源に利用し、リンク機構等を介して、継手及び手先具を操作する構造のもの (その他) 能動式以外のもの。装飾用（外観の復元を第一義に考え、軽量化及び見かけの良さを図ったもの）のものを含む。	
股義足	B-1	股義足とは、片側骨盤切断、股関節離断及び大腿 ^{たい} 切断極短断端に用いるものをいう。	
大腿 ^{たい} 義足	B-2	大腿義足とは、大腿切断に用いるものであって、次に掲げるものをいう。 (差込式) 断端とソケットとの間に余裕をもたせて適合させたソケットを用いて、懸垂装置によって懸垂するもの。ソケット底を開放した型式（オープンエンドソケット）のものを含む。 (ライナー式) ソケットとのインターフェイスにライナーを用いるもの。ライナーを用いるものは全て、機能にかかわらずライナー式に含める。 (吸着式) ソケットと断端表面との間に陰圧による吸着作用を生じさせ、もって自己懸垂機能を持たせたもの。ライナーを使用するものは含まない。	
膝義足	B-3	膝義足とは、膝関節離断に用いるものであって、次に掲げるものをいう。 (差込式) 断端とソケットとの間に余裕をもたせて適合させたソケットを有するもの	

		必要に応じて上腕カフ(縮革)にハーネスを付けること。 ソケット、支持部及び肘継手は、作業中の繰返し荷重、振動荷重、衝撃荷重に耐えられるよう材質及び工作法を十分吟味すること。	
能動式	長断端用ハンド型	アの基本工作法により、エ及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。 ソケットは、断端の運動を忠実に伝えるため及び装着感を良くするため、採型に細心の注意を払うこと。また、断端長の許す限り二重ソケットを原則とすること。 ・ 長断端用には、前腕の回内外運動をできるだけ良く伝えるようにソケット先端部の適合に留意すること。	
	長断端用フック型	・ 中断端用には、肘の屈曲一伸展運動を忠実に伝えるとともに、135°の屈曲を妨げることをないよう留意すること。 ・ 短断端用には、ソケット及び前腕部が別個に動く構造、いわゆるスプリットソケット構造とし、屈曲時に断端の脱落を防止するため、ソケットは肘頭まで包含する構造とすること。 コントロールケーブルは、可撓性の大きい平滑な鋼製ケーブル又はナイロン単繊維をハウジングとともに用い、ケーブルの摩擦を少なくするとともに、摩耗によるケーブルの損傷を極力少なくすること。	
	中断端用ハンド型	コントロールケーブルは、可撓性の大きい平滑な鋼製ケーブル又はナイロン単繊維をハウジングとともに用い、ケーブルの摩擦を少なくするとともに、摩耗によるケーブルの損傷を極力少なくすること。 肩吊りバンドの適合及びアライメントは、コントロールケーブルのアライメントとともに能動義手の機能を左右することから、適合と取付けには特に留意し、腋輪は、腋窩部の疼痛、不快感、皮膚の損傷を生じないよう適切な保護用被覆を行うこと。	
	中断端用フック型		
	短断端用ハンド型		
	短断端用フック型		

		(有窓式) ソケットに窓状の開口部を設けたもので、断端の出し入れを容易にし、果部による懸垂を可能にするもの	
足根中足義足	B-6	足根中足義足とは、足根中足切断（足根部から中足部までの切断で、ポイド切断及びピロゴフ切断を含む）に用いるものであって、次に掲げるものをいう。 (足袋式) 足袋式ソケットに足先（完成用部品含む）等を接合したもので、後方開きで紐やベルトで固定するもの (下腿部支持式) 下腿部に及ぶ構造を有するもので、断端部が不良等の理由により体重支持が困難な場合に使用されるもの	
足趾義足	B-7	足趾義足とは、足趾切断に用い、踵部にベルト等を引き掛け、又は足袋型にして装着するものをいう。	

		ソケットは、装着感を良くするとともに完全に適合し、かつ、腸骨稜まで収納することにより、義足を懸垂するようにすること。革ソケットの場合は、ソケットの内側を牛クロム革で内張りすること。 回転台付の場合、皮革絞りのソケットは、変形防止のため帯鋼で補強枠を組み、取り付けること。 大腿部及び下腿部は、木製内部の水分を一定に保つための配慮を必要とすること。 アルミニウム合金の場合には、防蝕処理を施すこと。 運動部分の継手については、防音と減摩に十分留意すること。	
	カナダ式	アの基本工作法により、エ及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。 ソケットは、義足の懸垂、体重支持及び運動性を確保すること。 歩容に重要な影響を及ぼすので、アライメントは特に精密に決定すること。 アライメントカップリング（軸位調整装置）を用いて必ず試歩行を行うこと。 両脚の歩長をそろえるため、股屈曲角制限装置を取り付けること。	
	作業用	耐水性及び防蝕性に留意すること。 その他は足部を除き、常用普通と同じ。	
大腿義足	常用	アの基本工作法により、エ及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。 ソケットは、装着感、体重支持及び運動性を良くするため、適合に留意し四辺型ソケットとすること。 ソフトインサートは、皮革、軟性発泡樹脂等のいずれでもよいこと。ただし、状況に応じてソフトインサートを省いてもよいこと。	

		アルミニウム合金を使用する場合は、防蝕処理を施すこと。	
	吸着式常用	<p>アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</p> <p>ソケットは、断端の解剖、生理学的特性に適合した最適形状と軽度の圧迫によって、体重支持、懸垂力を生じるので、適合には特に留意し、装着感、断端の変色、肉の盛り上がり、坐骨結節の位置等を、十分吟味すること。</p> <p>義足の組立てに際しては、試歩行により装着感、安定性及び運動性を確保するための歩行分析を行い、ソケット適合の場合の修正、アライメントの調整を行い、正常歩行に近づけるよう努めること。</p> <p>膝継手の運動を制御するためのブレーキ装置は、その機能が確実に信頼性のあるものを用い、使用中の緩み、かじりつきのないものを用いること。</p> <p>断端の状況に応じて、懸垂補助、歩容の改善のため、シレジアバンド（懸垂帯）を用いてもよいこと。</p> <p>SACH足部は、体重、健肢の足の寸法、常用する履物、装着者の活動性を考慮して、適切な寸法、性状で、かつ、信頼性の高いものを使用すること。</p> <p>断端の状況の許す限り、トータルコンタクトを原則とし、やむを得ない場合には断端末部に空気室を設けてもよいこと。</p>	差込吸着式を含む。
	作業用	<p>耐水性及び防蝕性を与えるよう留意するとともに、十分な強度をもたせること。</p> <p>その他は常用と同じ。</p>	
膝義足	常用	<p>アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</p> <p>ソケットの適合には綿密な注意を払い、装着感を良くするとともに運動性を確保すること。</p>	

			<p>ソフトインサートは、必ずしも必要としないが、断端末支持には断端末受を入れること。</p> <p>下腿部に強化プラスチックを用いる場合は、変形を防止するよう十分留意すること。</p> <p>膝継手が遊動式の場合には、膝関節の運動をコントロールする構造又は装置を必要とするほか、防音、運動部の減摩に留意すること。</p> <p>膝継手は、衣服の損耗を防止するため皮革で包むこと。</p>	
	作業用		<p>耐水性及び防蝕性に留意すること。 その他は足部を除き、常用に同じ。</p>	
下腿義足	常用	普通（ 軽便式 を含む ）	<p>アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</p> <p>ソケットは、体重支持と義足の運動性のため、採型に特に留意すること。</p> <p>膝継手軸の取付位置は、椅座時の快さ、歩行時のピストン運動及び遊脚時の義足の動きに重大な影響を与えるので、入念にその位置を決定すること。</p> <p>アルミニウム合金を使用する場合は、防蝕処理を施すこと。</p> <p>大腿もも縮めの筋金は、歩容、義足の懸垂及び安定性に影響があるので、筋金のくせとり、長さの決定並びにもも縮革の製作及び取付けには十分な配慮が必要であること。</p>	
		PTB 式	<p>アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</p> <p>ソケットは、体重支持、安定性及び運動性を良くするため、適合に留意し、アライメントカップリングを用いて試歩行を行った上で組み立てること。</p> <p>精密な適合によってソケットのみを用い、ソフトインサートを省いてもよいこと。その場合、断端末部はクッション材で支持すること。</p>	サイム 切断を 含む。

		<p>外装は、強化プラスチック仕上げとすること。</p> <p>膝カフを皮革で作る場合には、使用中に懸垂バンドが伸びるのを防止するため、表革と裏打との間に伸びのないベルト等をはさむこと。</p> <p>膝継手金具及び大腿もも締革は、用いないことを原則とするが、断端の状況によりやむを得ない場合は、膝継手金具又は大腿もも締革を用いてもよいこと。</p> <p>適合判定は、試歩行の段階及び義足完成時に行うこと。</p>
	<u>P T S</u> 式	<p>ソケット上部の適合には、細心の注意を払い、特に膝関節付近の解剖学的構造によく合わせることによつて義足を懸垂させること。</p> <p>採型後ギブソケットによつて適合をよく吟味、修正すること。</p> <p>その他はP T B式と同じ。</p>
	<u>K B M</u> 式	<p>義足の懸垂は、内顆部の解剖学的構造によく適合したくさび又はF A J A Lの方法によつて行われ、膝蓋骨部は露出するため、特に採型時及び仮合わせ時の適合は、綿密に吟味すること。</p> <p>膝蓋靭帯より上部のソケットは、左右方向に変形しやすいものとなる傾向があるので、ソケット形成に際しては、補強材の種類、量、樹脂の強度を十分吟味して、強度、剛性を減少させぬよう留意すること。</p> <p>その他はP T S式と同じ。</p>
	<u>T S B</u> 式	<p>ソケットは、精密な適合を行い全面が接触する形状になるよう製作すること。</p> <p>その他はP T B式と同じ。</p>
作業用		<p>耐水性及び防蝕性に留意すること。</p> <p>その他は常用普通と同じ。</p>

果義足		<p><u>アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</u></p> <p><u>義足の懸垂は、断端の形状を利用し、ソケットを断端に固定することによって行われるので、適合に十分留意すること。</u></p> <p><u>足部は、遊動足部又はSACH足部の構造特性を利用したものとすること。</u></p> <p><u>特にソケットと足部との結合部の強度を保つように留意すること。</u></p>
足根中足 義足	鋼板入り	<p><u>アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</u></p> <p><u>断端の骨突出部を損傷しないようソケットの適合とソケット構造に特に留意すること。</u></p> <p><u>足底は、鋼板、ゴムベルト等を挿入して弾性と強度をもたせること。</u></p> <p><u>足の形態の復元のため、スポンジで形成し、足底は牛なめし革を張り付けること。</u></p>
	足袋式	<p><u>アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</u></p> <p><u>足底は、ゴムベルトを入れ足部の変形を防止し、かつ、耐久性を増加するようにすること。</u></p> <p><u>断端から踵までを包み足袋型とすること。</u></p> <p><u>締付けは、前後いずれでもよいこと。</u></p> <p><u>足部は、牛なめし革を張り付けること。</u></p>
	下腿部支持式	<p><u>アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</u></p>

ピロゴフ切断を含む。

ア 基本工作法

工 程	作 業 の 内 容
(ア) 断端の観察	断端の表面の状況、関節の運動機能（ <u>屈曲、伸展、内転、外転</u> 等）の状況、肢位の観察及び特徴の把握並びに筋肉の走路及び筋電位出力の確認（電動式）
(イ)・(ウ) (略)	(略)
(エ) 適合のチェック	チェックソケットの製作、チェックソケットによる適合のチェック及び修正並びに <u>継手位置</u> の設定
(オ) (略)	(略)
(カ) ソケット製作	積層材の被覆、強化材の付加、PVAバッグの被覆、樹脂注型、取外し及びソケットトリミング並びに電極ダミーの設定（電動式）
(キ) 支持部材の外形の形成及び要素の結合	義手： <u>パラフィン、プラスチックフォーム、ギプス等</u> による支持部芯材外形の形成及び要素の結合並びに <u>バッテリー及びコントローラ収納場所</u> の確保（電動式） 義足：（略）

		義足の懸垂は、断端の形状を利用し、ソケットを断端に固定することによって行われるので、適合に十分留意すること。	
足指義足		アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。 踵部にゴムバンドで引き掛け、又は足袋型にし、足部を包んで装着できるようにすること。	

注

- 1 義手の作業用に付ける手先用具は、3個を範囲として必要な数だけオの完成用部品を加えること。
- 2 手先用具の取付部は、ピン固定法又は溝固定法により、太さは9mmとすること。
- 3 二重ソケットは、断端の表面を均等に受けるようにするものとし、支持部に取り付け、変形を防止するためにプラスチック等硬質の材料を使用すること。なお、皮膚接触面には、軟性の材料を付加することがあること。
- 4 障害者の殻構造義肢の耐用年数は、力の耐用年数によるものとする。
- 5 障害児の殻構造義肢の使用年数は、キの使用年数によるものとする。

ア 基本工作法

工 程	作 業 の 内 容
(ア) 断端の観察	断端の表面の状況、関節の運動機能（ <u>屈伸、内転、外転</u> 等）の状況、肢位の観察及び特徴の把握並びに筋肉の走路及び筋電位出力の確認（電動式）
(イ)・(ウ) (略)	(略)
(エ) 適合のチェック	チェックソケットの製作、チェックソケットによる適合のチェック及び修正並びに <u>継手の中心位置</u> の設定
(オ) (略)	(略)
(カ) ソケット製作	ストッキネットの被覆、強化材の付加、PVAバッグの被覆、樹脂注型、取外し及びソケットトリミング並びに電極ダミーの設定（電動式）
(キ) 支持部材の外形の形成及び要素の結合	義手： <u>パラフィン、プラスチックフォームギプス等</u> による支持部芯材外形の形成及び要素の結合並びに <u>バッテリー及びコントローラ収納場所</u> の確保（電動式） 義足：（略）

(ク) (略)	(略)
(ケ) 仮合わせ	義手：(略) 義足：アライメントの調整、適合の点検及び修正、各部の機能の点検並びに起立及び歩行の基本動作の指導
(コ) 外装及び仕上げ	義手：外形の研削、積層材の被覆及び樹脂注型並びに感度調整用窓加工（電動式） 義足：アライメントカップリングの取外し、外形の形成及び外装
(サ) 適合検査	適合、アライメント及び機能の最終点検並びに動作及び操作の確認

イ (略)

ウ 基本価格

名 称	採型区分	型 式	上限価格 円	備 考
義手用	A-1	(削る)	(削る)	全ての型式において、肩甲胸郭間切断用は、 <u>15,000円</u> 増しとすること。
		(削る)	(削る)	
		能動式	<u>50,900</u>	
		電動式	<u>90,800</u>	
		その他	<u>38,200</u>	
A-2	(削る)	(削る)	(削る)	全ての型式において、吸着式は、 <u>29,600円</u> 増しとすること。
		(削る)	(削る)	
		能動式	<u>47,800</u>	
		電動式	<u>84,000</u>	
		その他	<u>40,700</u>	
A-3	(削る)	(削る)	(削る)	全ての型式において、吸着式は、 <u>29,600円</u> 増しとすること。
		(削る)	(削る)	
		能動式	<u>43,000</u>	
		電動式	<u>75,900</u>	
		その他	<u>37,100</u>	
A-4	(削る)	(削る)	(削る)	全ての型式において、 [※] 顎上懸垂式は、 <u>14,800円</u> 増しとすること。 スプリットソケットは、 <u>22,200円</u> 増しとすること。
		(削る)	(削る)	
		能動式	<u>37,800</u>	
		電動式	<u>66,900</u>	
		その他	<u>36,000</u>	

(ク) (略)	(略)
(ケ) 仮合わせ	義手：(略) 義足：アライメントの修正、適合の点検及び修正、各部の機能の点検並びに起立及び歩行の基本動作の指導
(コ) 外装及び仕上げ	義手：外形の研削、ストックネットの被覆及びラミネーション並びに感度調整用窓加工（電動義手） 義足：アライメントカップリングの取外し、外形の形成、内部余肉の除去、外装並びにソケットの適合及び機能の最終点検
(サ) 適合検査	適合及びアライメントの点検並びに操作の指導

イ (略)

ウ 基本価格

名 称	採型区分	型 式	価 格 円	備 考
義手用	A-1	装飾用	<u>36,200</u>	肩甲胸郭間切断用は、 <u>14,200円</u> 増しとすること。
		作業用	<u>36,200</u>	
		能動式	<u>48,200</u>	
		電動式	<u>85,900</u>	
		(新設)	(新設)	
A-2	装飾用	作業用	<u>38,500</u>	吸着式は、 <u>28,000円</u> 増しとすること。
		能動式	<u>45,200</u>	
		電動式	<u>79,400</u>	
		(新設)	(新設)	
A-3	装飾用	作業用	<u>35,100</u>	吸着式は、 <u>28,000円</u> 増しとすること。
		能動式	<u>40,700</u>	
		電動式	<u>71,800</u>	
		(新設)	(新設)	
A-4	装飾用	作業用	<u>34,100</u>	顎上懸垂式は、 <u>14,000円</u> 増しとすること。 スプリットソケットは、 <u>21,000円</u> 増しとすること。
		能動式	<u>35,800</u>	
		電動式	<u>63,300</u>	
		(新設)	(新設)	

	A-5	(削る) (削る) 能動式 電動式 その他	(削る) (削る) <u>37,200</u> <u>65,400</u> <u>32,600</u>	
	A-6	(削る) (削る) 能動式 電動式 その他	(削る) (削る) <u>18,900</u> <u>33,400</u> <u>12,400</u>	
	A-7	能動式 その他	<u>14,600</u> <u>9,950</u>	
義足用	B-1	(削る) (削る)	<u>236,700</u> (削る)	片側骨盤切断用は、 <u>20,100円</u> 増しとすること。
	B-2	差込式 ライナー式 吸着式	<u>76,300</u> <u>126,500</u> <u>175,600</u>	短断端切断用キップシャフトは、 <u>56,800円</u> 増しとすること。 坐骨収納型ソケットは、 <u>53,200円</u> 増しとし、チェックソケット加算ができること。
	B-3	差込式 ライナー式 吸着式	<u>74,400</u> <u>97,500</u> <u>146,600</u>	大腿支柱付きは、 <u>27,200円</u> 増しとすること。
	B-4	差込式 PTB式 PTS式 KBM式 TSB式	<u>60,800</u> <u>86,500</u> <u>103,700</u> <u>106,700</u> <u>86,500</u>	大腿支柱付きは、 <u>27,200円</u> 増しとすること。
	B-5	差込式 有窓式	<u>49,400</u> <u>74,400</u>	
	B-6	足袋式 下腿部支持式	<u>25,900</u> <u>74,400</u>	
	B-7		<u>19,800</u>	

注)

- (略)
- ソフトインサートのシリコン又は完成用部品のライナーを使用して仮合わせ専用のチェックソケットを用いる場合に限り、50,600円加算できること。

	A-5	装飾用 作業用 能動式 電動式 (新設)	<u>30,900</u> <u>30,900</u> <u>35,200</u> <u>61,900</u> (新設)	
	A-6	装飾用 作業用 能動式 電動式 (新設)	<u>11,800</u> <u>11,800</u> <u>17,900</u> <u>31,600</u> (新設)	
	A-7	装飾用 作業用	<u>9,450</u> <u>13,800</u>	
義足用	B-1	受皿式 カナダ式	<u>110,500</u> <u>110,500</u>	片側骨盤切断用は、 <u>19,000円</u> 増しとすること。
	B-2	差込式 ライナー式 吸着式	<u>72,200</u> <u>119,600</u> <u>166,000</u>	短断端切断用キップシャフトは、 <u>53,700円</u> 増しとすること。 坐骨収納型ソケットは、 <u>58,700円</u> 増しとすること。
	B-3	差込式 ライナー式 吸着式	<u>70,400</u> <u>92,200</u> <u>138,600</u>	大腿支柱付きは、 <u>25,800円</u> 増しとすること。
	B-4	差込式 PTB式 PTS式 KBM式 TSB式	<u>57,500</u> <u>81,800</u> <u>98,100</u> <u>100,900</u> <u>81,800</u>	大腿支柱付きは、 <u>25,800円</u> 増しとすること。
	B-5	差込式 有窓式	<u>46,700</u> <u>70,400</u>	
	B-6	足袋式 下腿部支持式	<u>24,500</u> <u>70,400</u>	
	B-7		<u>18,800</u>	

注)

- (略)
- ソフトインサートのシリコン又は、完成用部品のライナーを使用して仮合わせ専用のチェックソケットを用いる場合に限り、47,900円加算できること。

3 吸着式、顎上懸垂式、スプリットソケット及び坐骨収納型ソケットのチェックソケットの材料に透明プラスチックを使用した場合は、8,700円加算できること。その他については、製作工程にチェックソケットを用いた場合であって、透明プラスチックを材料とした場合に限り、同様に加算できること。なお、上記2との併用加算はできないこと。

4 (略)

エ 製作要素価格

(ア) ソケット

名称	採型区分	使用材料	上限価格 円	備 考
義手用	A-1	(削る)	(削る)	<u>電動式は、520円増しとすること。</u>
		皮革	<u>10,100</u>	
		熱硬化性樹脂 (削る)	<u>22,600</u> (削る)	
		熱可塑性樹脂 (削る)	<u>5,750</u> (削る)	
A-2	(削る)	(削る)	(削る)	<u>電動式は、520円増しとすること。</u>
		皮革	<u>13,300</u>	
		熱硬化性樹脂 (削る)	<u>15,500</u> (削る)	
		熱可塑性樹脂 (削る)	<u>7,500</u> (削る)	
A-3	(削る)	(削る)	(削る)	<u>電動式は、520円増しとすること。</u>
		皮革	<u>14,300</u>	
		熱硬化性樹脂 (削る)	<u>15,500</u> (削る)	
		熱可塑性樹脂 (削る)	<u>5,300</u> (削る)	
A-4	(削る)	(削る)	(削る)	<u>電動式は、520円増しとすること。</u>
		皮革	<u>13,100</u>	

3 坐骨収納型ソケットを除く吸着式、顎上懸垂式、スプリットソケットのチェックソケットの材料に透明プラスチックを使用した場合は、8,250円加算できること。その他については、製作工程にチェックソケットを用いた場合であって、透明プラスチックを材料とした場合に限り、同様に加算できること。なお、上記2との併用加算はできないこと。

4 (略)

エ 製作要素価格

(ア) ソケット

名称	採型区分	使用材料	価 格 円	備 考
義手用	A-1	アルミニウム、 セルロイド	<u>11,700</u>	(新設)
		皮革	<u>9,550</u>	
		熱硬化性樹脂 熱硬化性樹脂 (電動式)	<u>21,400</u> <u>21,900</u>	
		熱可塑性樹脂 熱可塑性樹脂 (電動式)	<u>5,450</u> <u>6,000</u>	
A-2	アルミニウム、 セルロイド	皮革	<u>10,300</u>	(新設)
		熱硬化性樹脂 熱硬化性樹脂 (電動式)	<u>12,600</u> <u>14,700</u> <u>15,200</u>	
		熱可塑性樹脂 熱可塑性樹脂 (電動式)	<u>7,100</u> <u>7,550</u>	
		アルミニウム、 セルロイド	<u>10,300</u>	
A-3	皮革	熱硬化性樹脂 熱硬化性樹脂 (電動式)	<u>13,600</u> <u>14,700</u> <u>15,200</u>	(新設)
		熱可塑性樹脂 熱可塑性樹脂 (電動式)	<u>5,050</u> <u>5,550</u>	
		アルミニウム、 セルロイド	<u>9,100</u>	
		皮革	<u>12,400</u>	

		熱硬化性樹脂 (削る)	<u>15,200</u> (削る)	
		熱可塑性樹脂 (削る)	<u>5,200</u> (削る)	
	A-5	(削る)	(削る)	<u>電動式は、520円増しとすること。</u>
		皮革	<u>9,900</u>	
		熱硬化性樹脂 (削る)	<u>14,400</u> (削る)	
		熱可塑性樹脂 (削る)	<u>7,500</u> (削る)	
	A-6	(削る)	(削る)	<u>電動式は、520円増しとすること。</u>
		皮革	<u>9,650</u>	
		熱硬化性樹脂 (削る)	<u>11,700</u> (削る)	
		熱可塑性樹脂 (削る)	<u>7,350</u> (削る)	
	A-7	皮革	<u>4,300</u>	
		熱硬化性樹脂	<u>4,350</u>	
		熱可塑性樹脂	<u>3,750</u>	
義足用	B-1	(削る)	(削る)	
		熱硬化性樹脂	<u>40,000</u>	
		熱可塑性樹脂	<u>16,800</u>	
	B-2	木製 (削る)	<u>54,500</u> (削る)	エアクションソケットは、 <u>17,200円増しとすること。</u> 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>18,900円増しとすること。</u>
		皮革	<u>21,300</u>	
		熱硬化性樹脂	<u>31,100</u>	
		熱可塑性樹脂	<u>18,300</u>	

		熱硬化性樹脂	<u>14,400</u>	
		熱硬化性樹脂 (電動式)	<u>14,800</u>	
		熱可塑性樹脂	<u>4,950</u>	
		熱可塑性樹脂 (電動式)	<u>5,450</u>	
	A-5	アルミニウム、 セルロイド	<u>10,900</u>	(新設)
		皮革	<u>9,400</u>	
		熱硬化性樹脂	<u>13,700</u>	
		熱硬化性樹脂 (電動式)	<u>14,100</u>	
		熱可塑性樹脂	<u>7,100</u>	
		熱可塑性樹脂 (電動式)	<u>7,600</u>	
	A-6	セルロイド	<u>8,900</u>	(新設)
		皮革	<u>9,150</u>	
		熱硬化性樹脂	<u>11,100</u>	
		熱硬化性樹脂 (電動式)	<u>11,500</u>	
		熱可塑性樹脂	<u>6,950</u>	
		熱可塑性樹脂 (電動式)	<u>7,350</u>	
	A-7	皮革	<u>4,100</u>	
		熱硬化性樹脂	<u>4,150</u>	
		熱可塑性樹脂	<u>3,550</u>	
義足用	B-1	アルミニウム、 セルロイド	<u>23,100</u>	
		熱硬化性樹脂	<u>37,900</u>	
		熱可塑性樹脂	<u>15,900</u>	
	B-2	木製	<u>51,600</u>	エアクションソケットは、 <u>16,300円増しとすること。</u> 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>17,900円増しとすること。</u>
		アルミニウム、 セルロイド	<u>15,400</u>	
		皮革	<u>20,200</u>	
		熱硬化性樹脂	<u>29,400</u>	
		熱可塑性樹脂	<u>17,300</u>	

B-3	(削る) 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	(削る) <u>27,500</u> <u>46,000</u> <u>20,800</u>	エアクッションソケットは、 <u>17,200</u> 円増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>18,600</u> 円増しとすること。
B-4	(削る) 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	(削る) <u>19,300</u> <u>28,100</u> <u>14,700</u>	エアクッションソケットは、 <u>15,600</u> 円増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>7,350</u> 円増しとすること。
B-5	(削る) 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	(削る) <u>19,600</u> <u>26,700</u> <u>11,600</u>	エアクッションソケットは、 <u>14,300</u> 円増しとすること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>10,200</u> 円増しとすること。
B-6	(削る) 皮革 熱硬化性樹脂 (削る) 熱可塑性樹脂	(削る) <u>11,500</u> <u>24,600</u> (削る) <u>11,400</u>	エアクッションソケットは、 <u>13,500</u> 円増しとすること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>6,250</u> 円増しとすること。 下腿部支持式については、 <u>2,100</u> 円増しとすること。
B-7	皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>10,100</u> <u>22,400</u> <u>10,800</u>	
注 アルミニウム、セルロイドについては、皮革に準ずること。			

(イ) ソフトインサート

名称	採型区分	使用材料	上限価格 円	備考
義手用	A-1	皮革	<u>4,950</u>	
		軟性発泡樹脂	<u>5,050</u>	
		皮革・軟性発泡樹脂	<u>8,550</u>	

B-3	アルミニウム、 セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>15,700</u> <u>26,000</u> <u>43,500</u> <u>19,700</u>	エアクッションソケットは、 <u>16,300</u> 円増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>17,600</u> 円増しとすること。
B-4	アルミニウム、 セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>12,300</u> <u>18,300</u> <u>26,600</u> <u>13,900</u>	エアクッションソケットは、 <u>14,800</u> 円増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>6,950</u> 円増しとすること。
B-5	アルミニウム、 セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>12,800</u> <u>18,600</u> <u>25,300</u> <u>11,000</u>	エアクッションソケットは、 <u>13,600</u> 円増しとすること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>9,700</u> 円増しとすること。
B-6	セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱硬化性樹脂 (下腿部支持式) 熱可塑性樹脂	<u>12,700</u> <u>10,900</u> <u>23,300</u> <u>25,300</u> <u>10,800</u>	エアクッションソケットは、 <u>12,800</u> 円増しとすること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>5,950</u> 円増しとすること。 (新設)
B-7	皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>9,550</u> <u>21,200</u> <u>10,300</u>	
(新設)			

(イ) ソフトインサート

名称	採型区分	使用材料	価格 円	備考
義手用	A-1	皮革	<u>4,700</u>	
		軟性発泡樹脂	<u>4,800</u>	
		皮革・軟性発泡樹脂	<u>8,100</u>	

	A-2	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,350</u> <u>4,900</u> <u>8,150</u>	
	A-3	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,350</u> <u>4,900</u> <u>8,150</u>	
	A-4	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,250</u> <u>4,900</u> <u>7,900</u>	
	A-5	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,250</u> <u>4,900</u> <u>7,900</u>	
	義足用	B-1	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>7,400</u> <u>5,600</u> <u>11,200</u>
	B-2	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>5,700</u> <u>5,200</u> <u>7,400</u> <u>10,200</u> <u>46,500</u>	
	B-3	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>6,400</u> <u>5,350</u> <u>10,200</u> <u>11,300</u> <u>50,100</u>	
	B-4	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>4,700</u> <u>5,000</u> <u>7,600</u> <u>8,800</u> <u>40,000</u>	

	A-2	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,150</u> <u>4,650</u> <u>7,750</u>	
	A-3	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,150</u> <u>4,650</u> <u>7,750</u>	
	A-4	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,050</u> <u>4,650</u> <u>7,500</u>	
	A-5	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,050</u> <u>4,650</u> <u>7,500</u>	
	義足用	B-1	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>7,000</u> <u>5,300</u> <u>10,600</u>
	B-2	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>5,400</u> <u>4,950</u> <u>7,000</u> <u>9,700</u> <u>44,000</u>	
	B-3	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>6,050</u> <u>5,100</u> <u>9,650</u> <u>10,700</u> <u>47,400</u>	
	B-4	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>4,450</u> <u>4,750</u> <u>7,200</u> <u>8,350</u> <u>37,900</u>	

B-5	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,950</u> <u>8,000</u> <u>8,700</u>	
B-6	皮革 (削る) 軟性発泡樹脂 (削る) 皮革・軟性発泡樹脂 (削る)	<u>3,150</u> (削る) <u>3,550</u> (削る) <u>6,300</u> (削る)	<u>下腿部支持式については、4,450円増しとすること。</u>
B-7	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>2,400</u> <u>2,850</u> <u>4,900</u>	

注

- 1 軟性発泡樹脂とは、PEライト等のスポンジ材であること。
- 2 (略)

(ウ) 支持部

名称	型式	部位	使用材料	上限価格 円	備 考
義手用	(削る)	肩部		<u>9,500</u>	<u>肩義手で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は上腕部との接続のために修正を行う場合は、9,900円増しとすること。</u>
	能動式	上腕部	(削る)	(削る)	
	(削る)		熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>26,400</u> <u>8,500</u>	
		前腕部	(削る)	<u>21,700</u>	
			(削る)	(削る)	
		(削る)	(削る)	(削る)	
		(削る)	(削る)	(削る)	

B-5	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,700</u> <u>7,600</u> <u>8,250</u>	
B-6	皮革 皮革（下腿部支持式） 軟性発泡樹脂 軟性発泡樹脂（下腿部支持式） 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂（下腿部支持式）	<u>3,000</u> <u>4,700</u> <u>3,400</u> <u>7,600</u> <u>6,000</u> <u>8,250</u>	(新設)
B-7	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>2,300</u> <u>2,700</u> <u>4,650</u>	

注

- 1 軟性発泡樹脂とは、PEライト及びスポンジであること。
- 2 (略)

(ウ) 支持部

名称	型式	部位	使用材料	価格 円	備 考
義手用	装飾用	肩部		<u>9,000</u>	(新設)
	能動式	上腕部	アルミニウム、セルロイド	<u>8,050</u>	
			熱硬化性樹脂 (新設)	<u>25,000</u> (新設)	
	作業用	前腕部	アルミニウム、セルロイド	<u>10,200</u>	
			熱硬化性樹脂	<u>20,600</u>	
	作業用 (幹部 使用)	上腕部		<u>8,050</u>	<u>肩義手用及び上腕義手用に幹部を使用する場合に限ること。</u>
	前腕部		<u>10,200</u>	<u>前腕義手用に幹部を使用する場合に限ること。</u>	

電動式	肩部	(削る)	11,500		
	上腕部	(削る)	32,500		
	前腕部	(削る)	26,700		
	手部	(削る)	26,700		
	その他	肩部		9,500	
		上腕部	熱硬化性樹脂	26,400	
			熱可塑性樹脂	8,500	
		前腕部	熱硬化性樹脂	21,700	
	熱可塑性樹脂		10,700		
	義足用	(削る) (削る)	股部	11,600	<u>股義足で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は股継手の土台を積層するために大幅な修正を行う場合は、11,700円増しとすること。</u>
大腿部		木製 (削る)	34,500 (削る)	<u>膝義足の場合を含む。股義足用及び大腿義足用に鉄脚を使用する場合は、66,300円とすること。</u>	
		熱硬化性樹脂	36,100		
下腿部		木製 (削る)	30,100 (削る)	<u>サイム義足及び足根中足義足(下腿部支持式)の場合を含む。</u>	
		熱硬化性樹脂	35,500	<u>下腿義足用に鉄脚を使用する場合は、31,500円とすること。</u>	
足部		軟性発泡樹脂	16,100	<u>サイム義足、足根中足義足及び足趾義足の場合に限り加えることができること。</u>	
(削る)	(削る)		(削る)	(削る)	
	(削る)		(削る)	(削る)	

電動式	肩部	熱硬化性樹脂	10,900		
	上腕部	熱硬化性樹脂	30,800		
	前腕部	熱硬化性樹脂	25,300		
	手部	熱硬化性樹脂	25,300		
	(新設)	(新設)		(新設)	
		(新設)	(新設) (新設)	(新設) (新設)	
		(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
			(新設)	(新設)	(新設)
義足用	常用作業用	股部	11,000	(新設)	
		大腿部	木製 アルミニウム、セルロイド 熱硬化性樹脂	32,700 33,000 34,200	(新設)
	下腿部	木製 アルミニウム、セルロイド	28,500 29,900	(新設)	
		熱硬化性樹脂	33,600		
	足部	軟性発泡樹脂	15,300	(新設)	
	作業用(鉄脚使用)	大腿部		62,900	<u>股義足用及び大腿義足用に鉄脚を使用する場合に限ること。</u>
下腿部			29,900	<u>下腿義足用に鉄脚を使用する場合に限ること。</u>	

注)

- 1 (略)
- 2 アルミニウム、セルロイドについては、木製に準ずること。

(削る)

(削る)

(削る)

(エ) 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品並びに断端袋

区 分	名 称	使 用 部 品	上 限 価 格 円	備 考
義手用 ハーネ ス	肩義手用	胸郭バンド式肩ハーネス一 式	23,800	
		肩たすき一 式	11,900	
	上腕義手用 肘義手用	胸郭バンド式上腕ハーネス 一 式	23,500	
		肩たすき一 式	11,900	
		8字ハーネス一 式	10,800	
	前腕義手用 手義手用 手部義手用	胸郭バンド式前腕ハーネス 一 式	20,200	
		8字ハーネス一 式	8,750	
		9字ハーネス一 式	5,650	
		たわみ式肘継手 (一組)	2,750	
		Yストラップ	2,750	
上腕カフ (三頭筋パッド)		5,700		
義足懸 垂用部 品	股義足用	懸垂帯一 式	17,000	
	大腿義足用 膝義足用	シレジアバンド一 式	8,250	
		肩吊り帯	7,100	
		腰バンド	9,800	
		横吊帯	1,850	
		義足用股吊帯一 式	4,700	(削る)
下腿義足用 サイム義足 用	腰バンド	9,800	懸垂用膝カフは、PTB カフベルトに準ずるこ と。	
	横吊帯	2,500		
	大腿コルセット一 式	12,800		
	PTBカフベルト一 式	9,750		

注)

- 1 (略)
- 2 果義足用、足根中足義足用及び足指義足用の場合に限り、足部を加えることができること。
- 3 肩義手で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は上腕部との接続のために修正を行う場合は、9,400円増しとすること。
- 4 股義足で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は股継手の土台を積層するために大幅な修正を行う場合は、11,100円増しとすること。
- 5 熱可塑性樹脂については、セルロイドに準ずること。

(エ) 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品

区 分	名 称	使 用 部 品	価 格 円	備 考
義手用 ハーネ ス	肩義手用	胸郭バンド式肩ハーネス一 式	22,500	
		肩たすき一 式	11,300	
	上腕義手用 (新設)	胸郭バンド式上腕ハーネス 一 式	22,300	
		肩たすき一 式	11,300	
		8字ハーネス一 式	10,300	
	前腕義手用 (新設) (新設)	胸郭バンド式前腕ハーネス 一 式	19,100	
		8字ハーネス一 式	8,300	
		9字ハーネス一 式	5,350	
		たわみ式肘継手 (一組)	2,600	
		前方支持バンド	2,600	
上腕カフ (三頭筋パッド)		5,400		
義足懸 垂用部 品	股義足用	懸垂帯一 式	16,100	
	大腿義足用 (新設)	シレジアバンド一 式	7,800	
		肩吊り帯	6,750	
		腰バンド	9,300	
		横吊帯	1,750	
		義足用股吊帯	2,250	価格は、1本当たりのも のであること。
下腿義足用 (新設)	腰バンド	9,300	(新設)	
横吊帯	2,400			
大腿もも締め一 式	12,100			
PTBカフベルト一 式	9,250			

断端袋	上腕用 前腕用 大腿用 下腿用	3,350 3,550 5,600 5,900	年間の上限額であるため、特性、数量にかかわらず、当該額の範囲で一括支給することができること。
(削る)			

(オ) 外装

名称	外装部位	使用材料等	上限価格 円	備 考
義手用	肩部	皮革	6,200	
		プラスチック	17,100	
		塗装	2,200	
	上腕部	皮革	6,400	
		プラスチック 塗装	16,600 1,950	
	前腕部	皮革 プラスチック 塗装	6,200 13,000 2,050	
義足用	股部	皮革	11,400	
		プラスチック	18,800	
		塗装	3,650	
		合計	33,850	
	大腿部	皮革	9,350	
		プラスチック	16,800	
		塗装	3,250	
	下腿部	皮革	8,500	
		プラスチック	14,600	
		塗装	2,900	
	足部	表革	5,700	
		裏革	3,900	
塗装		3,750		
リアルソックス		1,150	(略)	

オ 完成用部品

完成用部品とは、殻構造義肢をオーダーメイドにより製作及び完成させるための部品をいい、部品の名称、使用部品、上限価格等については、別に定めるところによること。

(新設)	(新設) (新設) (新設) (新設)	(新設) (新設) (新設) (新設)	(新設)
注			
1 肘義手用は、上腕義手用に準ずること。			
2 手義手用及び手部義手用は、前腕義手用に準ずること。			
3 膝義足用は、大腿義足用に準ずること。			
4 サイム義足用は、下腿義足用に準ずること。			
5 下腿義足常用軽便式の懸垂用膝カフは、PTBカフベルトに準ずること。			

(オ) 外装

名称	外装部位	使用材料等	価 格 円	備 考
義手用	肩部	皮革	5,900	
		プラスチック	16,200	
		塗装	2,100	
	上腕部	皮革	6,050	
		プラスチック 塗装	15,700 1,850	
	前腕部	皮革 プラスチック 塗装	5,900 12,300 1,950	
義足用	股部	皮革	10,800	
		プラスチック	17,800	
		塗装	3,450	
		合計	32,050	
	大腿部	皮革	8,850	
		プラスチック	15,900	
		塗装	3,100	
	下腿部	皮革	8,050	
		プラスチック	13,800	
		塗装	2,750	
	足部	表革	5,400	
		裏革	3,700	
塗装		3,550		
リアルソックス		1,100	(略)	

オ 完成用部品

義手用部品及び義足用部品の名称、使用部品、価格等については、別に定めるところによること。

カ 耐用年数
(ア) 義肢本体

区 分	名 称	型 式	耐用年数 年	備 考		
義手	肩義手	(削る)	(削る)	耐用年数以内の破損 及び故障に際して は、原則として修理 又は調整を行うこ と。		
		(削る)	(削る)			
		能動式	3			
		電動式	3			
		その他(装飾用以外)	3			
		その他(装飾用)	4			
	上腕義手	(削る)	(削る)	耐用年数とは、通常 の使用状態において 当該補装具が修理不 能となるまでの予想 年数を示しているも のであるため、耐用 年数を一律に適用し ないこと。		
		(削る)	(削る)			
		能動式	3			
		電動式	3			
		その他(装飾用以外)	3			
		その他(装飾用)	4			
	肘義手			3		
		前腕義手		3		
			手義手		3	
				手部義手	(削る)	(削る)
	(削る)				(削る)	
	能動式	3				
	電動式	3				
		その他(装飾用以外)	2			
	その他(装飾用)	1				
手指義手	(削る)	(削る)				
	(削る)	(削る)				
	能動式	2				
	その他(装飾用以外)	2				
	その他(装飾用)	1				
				1		
義足	股義足		4			
		大腿義足	(削る)	(削る)		
			差込式	3		
			ライナー式	3		
	吸着式		5			
	膝義足	(削る)	(削る)			
		(削る)	(削る)			
		(削る)	(削る)			
(削る)		(削る)				

カ 耐用年数
(ア) 義肢本体

区 分	名 称	型 式	耐用年数 年	備 考		
義手	上腕義手	装飾用	4	耐用年数以内の破 損及び故障に際して は、原則として修理 又は調整を行うこ と。		
		作業用	3			
		能動式	3			
		電動式	3			
		(新設)	(新設)			
		(新設)	(新設)			
	肩義手	装飾用	4	(新設)		
		作業用	3			
		能動式	3			
		電動式	3			
		(新設)	(新設)			
		(新設)	(新設)			
	肘義手			3		
		前腕義手		3		
			手義手		3	
				手部義手	装飾用	1
	作業用				2	
	(新設)	(新設)				
	電動式	3				
		(新設)	(新設)			
	(新設)	(新設)				
手指義手	装飾用	1				
	作業用	2				
	(新設)	(新設)				
	(新設)	(新設)				
	(新設)	(新設)				
	(新設)	(新設)				
義足	股義足		4			
		大腿義足	常用	3		
			(新設)	(新設)		
			(新設)	(新設)		
	吸着式		5			
	膝義足	作業用	3			
		常用	3			
		作業用	2			
作業用		2				

	差込式	3	
	ライナー式	3	
	吸着式	5	
下腿義足		2	
サイム義足		2	
足根中足義足	(削る)	(削る)	
	足袋式	1	
	下腿部支持式	2	
足趾義足		1	

(イ) 完成用部品

材料・部品名	耐用年数 年	備 考
継手類 (削る)	3 (削る)	(略)
手部	1	
手袋	1	
足部	1	
その他の小部品 (消耗品)	1	

キ 使用年数

年 齢	使用年数	備 考
0 歳	4 月	使用年数は、年齢による児童の特殊性を考慮して定めたものであるが、使用年数以内の故障に際しては、原則として小部品の取替えにより修理又は調整を行うこと。
1～2 歳	6 月	
3～5 歳	10 月	
6～14 歳	1 年	
15～17 歳	1 年 6 月	(略) 1 義肢本体のうち「 <u>手部義手</u> 」及び「 <u>手指義手</u> 」の「 <u>その他(装飾用)</u> 」、 <u>「足根中足義足」</u> の「 <u>足袋式</u> 」及び「 <u>足趾義足</u> 」 2・3 (略)

(削る)

	(新設)	(新設)
	(新設)	(新設)
	(新設)	(新設)
下腿義足		2
果義足		2
足根中足義足	鋼板入り	2
	足袋式	1
	下腿部支持式	2
足指義足		1

(イ) 完成用部品

材料・部品名	耐用年数 年	備 考
継手類	3	(略)
リストメタル	3	
手部	1	
手袋	1	
足部	1	
その他の小部品 (消耗品)	1	

キ 使用年数

年 齢	使用年数	備 考
0 歳	4 月	使用年数は、年齢による児童の特殊性を考慮して定めたものであるが、使用年数以内の故障に際しては、原則として小部品の取替えにより修理又は調整を行うこと。
1～2 歳	6 月	
3～5 歳	10 月	
6～14 歳	1 年	
15～17 歳	1 年 6 月	(略) 1 義肢本体のうち「 <u>手部義手</u> 」の「 <u>装飾用</u> 」、 <u>「手指義手</u> 」の「 <u>装飾用</u> 」、 <u>「足根中足義足」</u> の「 <u>足袋式</u> 」及び「 <u>足指義足</u> 」 2・3 (略)

(新設)

備考

- 1 本表の価格は、医師の採型技術料を含まないものであること。
- 2 耐用年数は、通常の装用状態において、当該材料・部品が修理不能となるまでの予想年数を示したものであること。

(2) 義肢—骨格構造義肢

骨格構造義肢とは、義肢に働く外力を義肢の中心軸にあるパイプ、支柱等の骨格部で負担し、プラスチックフォームなどの軟材料の成型品をかぶせて外観を整える構造のものをいい、アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。

価格は、イの採型区分によるウの基本価格に工及びオのそれぞれ使用する材料・部品の価格を合算した額を上限とし、医師の採型技術料を含まないものであること。

名称	採型区分	定義	備考
肩義手	A-1	肩義手とは、肩甲胸郭間切断、肩関節離断、及び上腕骨頸部切断に用いるものであって、次に掲げるものをいう。 (能動式) 主として、上肢帯及び体幹の運動を義手の制御のための力源に利用し、コントロールケーブル等を介して、継手及び手先具を操作する構造のもの (その他) 能動式以外のもの。装飾用（外観の復元を第一義に考え、軽量化及び見かけの良さを図ったもの）、作業用（就労又は教育上必要となる特定の目的に使用できるように、特定の機能を優先して製作したもので、作業に応じて専用の手先具を交換して使用することが可能なもの）のものを含む。	作業用の手先具は、3個を限度として必要な数だけオの完成用部品を加えること。
上腕義手	A-2	上腕義手とは、上腕切断に用いるものであって、次に掲げるものをいう。 (能動式) 上肢帯、体幹及び切断側上肢の運動を義手の制御のための力源に利用し、コントロールケーブル等を介して、継手及び手先具を操作する構造のもの (その他) 能動式以外のもの。装飾用（外観の復元を第一義に考え、軽量化及び見かけの良さを図ったもの）、作業用（就労又は教育上必要となる特定の目的に使用できるように、特定の機能を優先して製作したもので、作業に応じて専用の手先具を交換して使用することが可能なもの）のものを含む。	作業用の手先具は、3個を限度として必要な数だけオの完成用部品を加えること。

(2) 義肢—骨格構造義肢
(新設)

名称	型式	使用材料・部品及び工作法	価格	備考
肩義手	装飾用	アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。 外形カバーは、容易に着脱できるように製作すること。	イの採型区分によるウの基本価格に工及びオのそれぞれ使用する材料・部品の価格を合算した額とする。	
上腕義手	装飾用	肩義手と同じ。		
前腕義手	装飾用	肩義手と同じ。		
股義足	カナダ式	アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。 外形カバーは、断端の状態、職業等を考慮して、一体的又は膝上下分離式及び軟性又は硬性の選択を行い、容易に着脱できるように製作すること。		片側骨盤切断用を含むものであること。
大腿義足	差込式	股義足と同じ。		キップシャフト（短断端切断用）を含むものであること。 吸着式には、差込吸着式を含むものであること。
	吸着式	股義足と同じ。		

肘義手	A-3	<p>肘義手とは、肘関節離断に用いるものであって、次に掲げるものをいう。</p> <p>(能動式)</p> <p>上肢帯、体幹及び切断側上肢の運動を義手の制御のための力源に利用し、コントロールケーブル等を介して、継手及び手先具を操作する構造のもの</p> <p>(その他)</p> <p>能動式以外のもの。装飾用（外観の復元を第一義に考え、軽量化及び見かけの良さを図ったもの）、作業用（就労又は教育上必要となる特定の目的に使用できるように、特定の機能を優先して製作したもので、作業に応じて専用の手先具を交換して使用することが可能なもの）のものを含む。</p>	<p>作業用の手先具は、3個を限度として必要な数だけオの完成用部品を加えること。</p>
前腕義手	A-4	<p>前腕義手とは、前腕切断に用いるものであって、次に掲げるものをいう。</p> <p>(能動式)</p> <p>上肢帯、体幹及び切断側上肢の運動を義手の制御のための力源に利用し、コントロールケーブル等を介して、継手及び手先具を操作する構造のもの</p> <p>(その他)</p> <p>能動式以外のもの。装飾用（外観の復元を第一義に考え、軽量化及び見かけの良さを図ったもの）、作業用（就労又は教育上必要となる特定の目的に使用できるように、特定の機能を優先して製作したもので、作業に応じて専用の手先具を交換して使用することが可能なもの）のものを含む。</p>	<p>作業用の手先具は、3個を限度として必要な数だけオの完成用部品を加えること。</p>
股義足	B-1	<p>股義足とは、片側骨盤切断、股関節離断及び大腿切断極短断端に用いる義足とする。</p>	
大腿義足	B-2	<p>大腿義足とは、大腿切断に用いるものであって、次に掲げるものをいう。</p> <p>(差込式)</p> <p>断端とソケットとの間に余裕をもたせて適合させたソケットを用いて、懸垂装置によって懸垂するもの。ソケット底を開放した型式（オープンエンドソケット）のものを含む。</p>	

膝義足	常用	<p>アの基本工作法により、エ及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</p> <p>外形カバーは、断端の状態、職業等を考慮して、軟性又は硬性の選択を行い、容易に着脱できるように製作すること。</p>	
下腿義足	PTB式	膝義足と同じ。	
	PTS式	膝義足と同じ。	
	KBM式	膝義足と同じ。	
	TSB式	膝義足と同じ。	
	長断端用	膝義足と同じ。	<p>サイム義足を含むものであること。ただし、この場合外形カバーは加算できないこと。</p>
<p>注</p> <p>1 二重ソケットは、断端の表面を均等に受けるようにするものとし、支持部に取り付け、変形を防止するためにプラスチック等硬質の材料を使用すること。なお、皮膚接触面には、軟性の材料を付加することがあること。</p> <p>2 障害者の骨格構造義肢の材料・部品の耐用年数は、力の耐用年数によるものとする。</p> <p>3 障害児の骨格構造義肢の材料・部品の使用年数は、キの使用年数によるものとする。</p> <p>4 肩義手、上腕義手及び前腕義手については、6歳以上を対象とするものに限ること。</p>			

		<p><u>(ライナー式)</u> ソケットとのインターフェイスにライナーを用いるもの。ライナーを用いるものは全て、機能にかかわらずライナー式に含める。</p> <p><u>(吸着式)</u> ソケットと断端表面との間に陰圧による吸着作用を生じさせ、もって自己懸垂機能を持たせたもの。ライナーを使用するものは含まない。</p>	
膝義足	B-3	<p>膝義足とは、膝関節離断に用いるものであって、次に掲げるものをいう。</p> <p><u>(差込式)</u> 断端とソケットとの間に余裕をもたせて適合させたソケットを有するもの</p> <p><u>(ライナー式)</u> ソケットとのインターフェイスにライナーを用いる義足。ライナーを用いるものは全て、機能にかかわらずライナー式に含める。</p> <p><u>(吸着式)</u> ソケットと断端表面との間に陰圧による吸着作用を生じさせ懸垂するもの。ライナーを使用するものは含まない。</p>	
下腿義足	B-4	<p>下腿義足とは、下腿切断に用いる以下の義足とし、ライナーの有無は問わない。</p> <p><u>(差込式)</u> 断端とソケットとの間に余裕をもたせて適合させたソケットを用いて、大腿コルセット等の懸垂装置によって懸垂するもの。ソケット底を開放した型式（オープンエンドソケット）のものを含む。</p> <p><u>(PTB式)</u> 膝蓋腱（靭帯）を主とし、脛骨内側顆部、腓骨骨幹部、軟部組織等により体重を支持するもので、PTBカフベルト等の懸垂装置を用いて懸垂するもの</p> <p><u>(PTS式)</u> 膝蓋骨及び大腿骨顆部を収納し、自己懸垂機能のあるもの。体重支持方式は問わない。</p> <p><u>(KBM式)</u> 膝蓋骨を露出させているもので、かつ大腿骨顆部の内外側を収納することにより、自己懸垂機能をもたせたもの。体重支持方式は問わない。</p>	

		(T S B式) 断端表面全体を体重支持面とする全面接触式ソケットを用いるもの。ただし、P T S式及びK B M式を除く。	
サイム義足	B-5	サイム義足とは、足関節離断（サイム切断）に用いるものであって、次に掲げるものをいう。 (差込式) 断端とソケットとの間に余裕をもたせて適合させたソケットを有するもの (有窓式) ソケットに窓状の開口部を設けたもので、断端の出し入れを容易にし、果部による懸垂を可能にするもの	

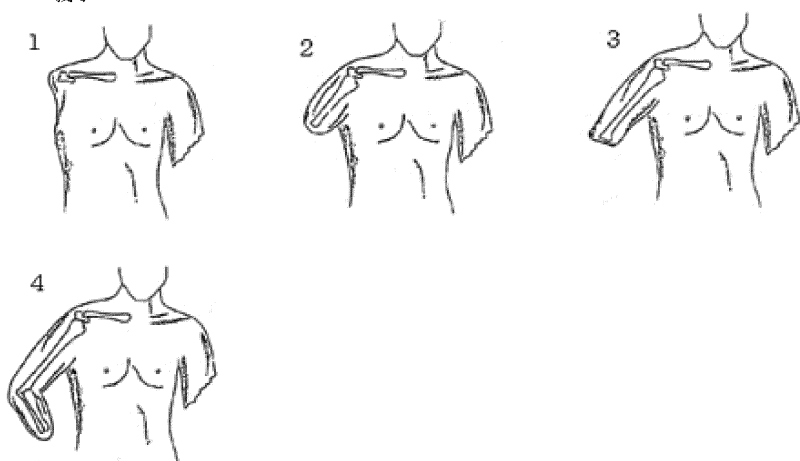
ア 基本工作法

工 程	作 業 の 内 容
(ア) 断端の観察	断端の表面の状況、関節の運動機能（屈曲、伸展、内転、外転等）の状況並びに肢位の観察及び特徴の把握
(イ)・(ウ) (略)	(略)
(エ) 適合のチェック	チェックソケットの製作、チェックソケットによる適合のチェック及び修正並びに継手位置の設定
(オ) (略)	(略)
(カ) ソケットの製作	積層材の被覆、強化材の付加、PVAバッグの被覆、樹脂注型、取外し及びソケットトリミング
(キ) 支持部材の外形の形成及び要素の結合	義手：パラフィン、プラスチックフォーム、ギブス等による支持部芯材外形の形成及び要素の結合 義足：股継手、膝継手、足部等の機能部品の支持部材による結合及び足部の調整
(ク) (略)	(略)
(ケ) 仮合わせ	義手：ソケットトリミングの修正、ハーネスの調整及び機能の点検、義手操作の基本の指導並びに適合の修正 義足：アライメントの調整、適合の点検及び修正、各部の機能の点検並びに起立及び歩行の基本動作の指導
(コ) 外装及び仕上げ	義手：フォームカバーの穴掘り及び外形の研削、積層材の被覆 義足：アライメントカップリングの取外し、外形の形成及び外装
(サ) 適合検査	適合、アライメント及び機能の最終点検並びに動作及び操作の確認

ア 基本工作法

工 程	作 業 の 内 容
(ア) 断端の観察	断端の表面の状況、関節の運動機能（屈伸、内転、外転等）の状況並びに肢位の観察及び特徴の把握
(イ)・(ウ) (略)	(略)
(エ) 適合のチェック	チェックソケットの製作、チェックソケットによる適合のチェック及び修正並びに継手の中心位置の設定
(オ) (略)	(略)
(カ) ソケットの製作	ストッキネットの被覆、強化材の付加、PVAバックの被覆、樹脂注型、取外し及びソケットトリミング
(キ) 支持部材の外形の形成及び要素の結合	義手：パラフィン、プラスチックフォームギブス等による支持部芯材外形の形成及び要素の結合 義足：股継手、膝継手、足部等の機能部品の支持部材による結合及び足部の調整
(ク) (略)	(略)
(ケ) 仮合わせ	義手：ソケットトリミングの修正、ハーネスの調整及び機能の点検、義手操作の基本の指導並びに適合の修正 義足：アライメントの修正、適合の点検及び修正、各部の機能の点検並びに起立及び歩行の基本動作の指導
(コ) 外装及び仕上げ	義手：フォームカバーの穴掘り及び外形の研削、ストッキネットの被覆 義足：アライメントカップリングの取外し、外形の形成、内部余肉の除去、外装並びにソケットの適合及び機能の最終点検
(サ) 適合検査	適合及びアライメントの点検並びに操作の指導

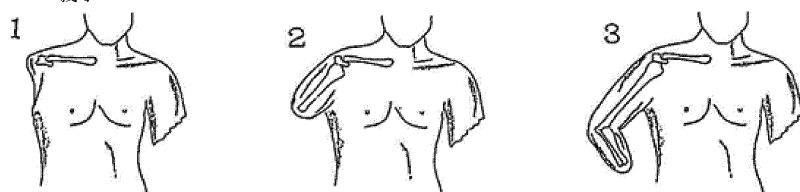
イ 採型区分
A 義手



B (略)
ウ 基本価格

名 称	採型区分	型 式	上限価格 円	備 考
義手用	A-1	(削る) 能動式 その他	(削る) 50,900 38,200	肩甲胸郭間切断用は、 <u>15,000円</u> 増しとすること。
	A-2	(削る) 能動式 その他	(削る) 47,800 40,700	吸着式は、 <u>29,600円</u> 増しとすること。
	A-3	(削る) 能動式 その他	(削る) 43,000 37,100	吸着式は、 <u>29,600円</u> 増しとすること。
	A-4	能動式 その他	37,800 36,000	顆上懸垂式は、 <u>14,800円</u> 増しとすること。 スプリットソケットは、 <u>22,200円</u> 増しとすること。
義足用	B-1	(削る)	236,700	片側骨盤切断用は、 <u>20,100円</u> 増しとすること。
	B-2	差込式 ライナー式 吸着式	76,300 126,500 175,600	短断端切断用キップシャフトは、 <u>56,800円</u> 増しとすること。 坐骨収納型ソケットは、 <u>53,200円</u> 増しとし、 <u>チェックソケット</u> 加算ができること。

イ 採型区分
A 義手



B (略)
ウ 基本価格

名 称	採型区分	型 式	価 格 円	備 考
義手用	A-1	装飾用 (新設) (新設)	36,200 (新設) (新設)	肩甲胸郭間切断用は、 <u>14,200円</u> 増しとすること。
	A-2	装飾用 (新設) (新設)	38,500 (新設) (新設)	吸着式は、 <u>28,000円</u> 増しとすること。
	A-3	装飾用 (新設) (新設)	34,100 (新設) (新設)	顆上懸垂式は、 <u>14,000円</u> 増しとすること。 スプリットソケットは、 <u>21,000円</u> 増しとすること。
	(新設)	(新設) (新設)	(新設) (新設)	(新設)
義足用	B-1	カナダ式	110,500	片側骨盤切断用は、 <u>19,000円</u> 増しとすること。
	B-2	差込式 ライナー式 吸着式	72,200 119,600 166,000	短断端切断用キップシャフトは、 <u>54,100円</u> 増しとすること。 坐骨収納型ソケットは、 <u>58,700円</u> 増しとすること。

B-3	差込式	<u>74,400</u>	
	ライナー式	<u>97,500</u>	
	吸着式	<u>146,600</u>	
B-4	差込式	<u>60,800</u>	大腿支柱付きは、 <u>27,200円</u> 増しとすること。
	P T B式	<u>86,500</u>	
	P T S式	<u>103,700</u>	
	K B M式	<u>106,700</u>	
	T S B式	<u>86,500</u>	
B-5	差込式	<u>49,400</u>	
	有窓式	<u>74,400</u>	

注)

- (略)
- ソフトインサートのシリコン又は、完成用部品のライナーを使用して仮合わせ専用のチェックソケットを用いる場合に限り、50,600円加算できること。
- 吸着式、顎上懸垂式、スプリットソケット及び坐骨収納型ソケットのチェックソケットの材料に透明プラスチックを使用した場合は、8,700円加算できること。その他については、製作工程にチェックソケットを用いた場合であって、透明プラスチックを材料とした場合に限り、同様に加算できること。なお、上記2との併用加算はできないこと。
- (略)

エ 製作要素価格

(ア) ソケット

名 称	採型区分	使用材料	上限価格 円	備 考
義手用	A-1	(削る)	(削る)	
		皮革	<u>10,100</u>	
		熱硬化性樹脂	<u>22,600</u>	
		熱可塑性樹脂	<u>5,750</u>	
	A-2	(削る)	(削る)	
		皮革	<u>13,300</u>	
		熱硬化性樹脂	<u>15,500</u>	
		熱可塑性樹脂	<u>7,500</u>	

B-3	差込式	<u>70,400</u>	
	ライナー式	<u>92,200</u>	
	吸着式	<u>138,600</u>	
B-4	差込式	<u>57,500</u>	大腿支柱付きは、 <u>25,800円</u> 増しとすること。
	P T B式	<u>81,800</u>	
	P T S式	<u>98,100</u>	
	K B M式	<u>100,900</u>	
	T S B式	<u>81,800</u>	
B-5	差込式	<u>46,700</u>	
	有窓式	<u>70,400</u>	

注)

- (略)
- ソフトインサートのシリコン又は、完成用部品のライナーを使用して仮合わせ専用のチェックソケットを用いる場合に限り、47,900円加算できること。
- 坐骨収納型ソケットを除く吸着式、顎上懸垂式、スプリットソケットのチェックソケットの材料に透明プラスチックを使用した場合は、8,250円加算できること。その他については、製作工程にチェックソケットを用いた場合であって、透明プラスチックを材料とした場合に限り、同様に加算できること。なお、上記2との併用加算はできないこと。
- (略)

エ 製作要素価格

(ア) ソケット

名 称	採型区分	使用材料	価 格 円	備 考
義手用	A-1	アルミニウム、 セルロイド	<u>11,700</u>	
		皮革	<u>9,550</u>	
		熱硬化性樹脂	<u>21,400</u>	
		熱可塑性樹脂	<u>5,450</u>	
	A-2	アルミニウム、 セルロイド	<u>10,300</u>	
		皮革	<u>12,600</u>	
		熱硬化性樹脂	<u>14,700</u>	
		熱可塑性樹脂	<u>7,100</u>	

	A-3	(削る) 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	(削る) <u>13,100</u> <u>15,200</u> 5,200	
	A-4	皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>13,100</u> <u>15,200</u> 5,200	
義足用	B-1	(削る) 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	(削る) <u>40,000</u> <u>16,800</u>	
	B-2	木製 (削る) 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>54,500</u> (削る) <u>21,300</u> <u>31,100</u> <u>18,300</u>	エアクッションソケットは、 <u>17,200</u> 円増しとすること。 (略) 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>18,900</u> 円増しとすること。
	B-3	(削る) 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	(削る) <u>27,500</u> <u>46,000</u> <u>20,800</u>	エアクッションソケットは、 <u>17,200</u> 円増しとすること。 (略) 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>18,600</u> 円増しとすること。
	B-4	(削る) 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	(削る) <u>19,300</u> <u>28,100</u> <u>14,700</u>	エアクッションソケットは、 <u>15,600</u> 円増しとすること。 (略) 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>7,350</u> 円増しとすること。
	B-5	(削る) 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	(削る) <u>19,600</u> <u>26,700</u> <u>11,600</u>	エアクッションソケットは、 <u>14,300</u> 円増しとすること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>10,200</u> 円増しとすること。
注 アルミニウム、セルロイドについては、皮革に準ずること。				

	A-3	アルミニウム、 セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>9,100</u> <u>12,400</u> <u>14,400</u> 4,950	
	(新設)	(新設) (新設) (新設)	(新設) (新設) (新設)	
義足用	B-1	アルミニウム、 セルロイド 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>23,100</u> <u>37,900</u> <u>15,900</u>	
	B-2	木製 アルミニウム、 セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>51,600</u> <u>15,400</u> <u>20,200</u> <u>29,400</u> <u>17,300</u>	エアクッションソケットは、 <u>16,300</u> 円増しとすること。 (略) 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>17,900</u> 円増しとすること。
	B-3	アルミニウム、 セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>15,700</u> <u>26,000</u> <u>43,500</u> <u>19,700</u>	エアクッションソケットは、 <u>16,300</u> 円増しとすること。 (略) 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>17,600</u> 円増しとすること。
	B-4	アルミニウム、 セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>12,300</u> <u>18,300</u> <u>26,600</u> <u>13,900</u>	エアクッションソケットは、 <u>14,800</u> 円増しとすること。 (略) 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>6,950</u> 円増しとすること。
	B-5	アルミニウム、 セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>12,800</u> <u>18,600</u> <u>25,300</u> <u>11,000</u>	エアクッションソケットは、 <u>13,600</u> 円増しとすること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>9,700</u> 円増しとすること。
(新設)				

(イ) ソフトインサート

名 称	採型区分	使用材料	上限価格 円	備 考	
義手用	A-1	皮革	4,950		
		軟性発泡樹脂	5,050		
		皮革・軟性発泡樹脂	8,550		
A-2	皮革	軟性発泡樹脂	4,350		
		皮革・軟性発泡樹脂	4,900		
			8,150		
A-3	皮革	軟性発泡樹脂	4,350		
		皮革・軟性発泡樹脂	4,900		
			8,150		
A-4	皮革	軟性発泡樹脂	4,250		
		皮革・軟性発泡樹脂	4,900		
			7,900		
義足用	B-1	皮革	7,400		
		軟性発泡樹脂	5,600		
		皮革・軟性発泡樹脂	11,200		
	B-2	皮革	軟性発泡樹脂		5,700
			皮革・軟性発泡樹脂		5,200
			皮革・フェルト		7,400
			シリコーン		10,200
	B-3	皮革	軟性発泡樹脂		10,200
			皮革・軟性発泡樹脂		6,400
			皮革・フェルト		5,350
			シリコーン		11,300
	B-4	皮革	軟性発泡樹脂		50,100
			皮革・軟性発泡樹脂		4,700
			皮革・フェルト		5,000
			シリコーン		7,600
B-4	皮革	軟性発泡樹脂	8,800		
		皮革・軟性発泡樹脂	4,000		
		皮革・フェルト			
		シリコーン			

(イ) ソフトインサート

名 称	採型区分	使用材料	価 格 円	備 考	
義手用	A-1	皮革	4,700		
		軟性発泡樹脂	4,800		
		皮革・軟性発泡樹脂	8,100		
	A-2	皮革	軟性発泡樹脂		4,150
			皮革・軟性発泡樹脂		4,650
					7,750
	A-3	皮革	軟性発泡樹脂		4,050
			皮革・軟性発泡樹脂		4,650
					7,500
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)		
義足用	B-1	皮革	7,000		
		軟性発泡樹脂	5,300		
		皮革・軟性発泡樹脂	10,600		
	B-2	皮革	軟性発泡樹脂	5,400	
			皮革・軟性発泡樹脂	4,950	
			皮革・フェルト	7,000	
			シリコーン	9,700	
	B-3	皮革	軟性発泡樹脂	44,000	
			皮革・軟性発泡樹脂	6,050	
			皮革・フェルト	5,100	
			シリコーン	9,650	
	B-4	皮革	軟性発泡樹脂	10,700	
			皮革・軟性発泡樹脂	4,450	
			皮革・フェルト	4,750	
			シリコーン	7,200	
B-4	皮革	軟性発泡樹脂	8,350		
		皮革・軟性発泡樹脂	4,000		
		皮革・フェルト			
		シリコーン			
B-4	皮革	軟性発泡樹脂	38,100		
		皮革・軟性発泡樹脂			
		皮革・フェルト			
		シリコーン			

	B-5	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡 樹脂	4,950 8,000 8,700
注)			
1 軟性発泡樹脂とは、PEライト等のスポンジ材であること。			
2 (略)			

(ウ) 支持部

名 称	上限価格 円	備 考
肩義手用	15,300	ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は上腕部との接続のために修正を行う場合は、9,850円増しとすること。
上腕義手用	12,100	幹部を使用する場合を含むこと。
肘義手用	12,100	幹部を使用する場合を含むこと。
前腕義手用	12,000	幹部を使用する場合を含むこと。
股義足用	18,300	ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は股継手の土台を積層するために大幅な修正を行う場合は、11,600円増しとすること。
大腿義足用	18,300	
膝義足用	18,300	
下腿義足用	12,000	サイム義足を含む。
(削る)		

(エ) 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品並びに断端袋

区 分	名 称	使 用 部 品	上限価格 円	備 考
義手用 ハーネ ス	肩義手用	胸郭バンド式肩ハーネス一 式	23,800	
		肩たすき一式	11,900	
	上腕義手用 肘義手用	胸郭バンド式上腕ハーネス 一式	23,500	
		肩たすき一式 8字ハーネス一式	11,900 10,800	

	B-5	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡 樹脂	4,700 7,550 8,200
注)			
1 軟性発泡樹脂とは、PEライト及びスポンジであること。			
2 (略)			

(ウ) 支持部

名 称	価 格 円	備 考
肩義手用	14,500	(新設)
上腕義手用	11,500	(新設)
(新設)	(新設)	(新設)
前腕義手用	11,400	(新設)
股義足用	17,300	(新設)
大腿義足用	17,300	
(新設)	(新設)	
下腿義足用	11,400	(新設)
注)		
1 肩義手で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は上腕部との接続のために修正を行う場合は、9,350円増しとすること。		
2 股義足で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は股継手の土台を積層するために大幅な修正を行う場合は、11,000円増しとすること。		

(エ) 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品

区 分	名 称	使 用 部 品	価 格 円	備 考
義手用 ハーネ ス	肩義手用	胸郭バンド式肩ハーネス一 式	22,500	
		肩たすき一式	11,300	
	上腕義手用 (新設)	胸郭バンド式上腕ハーネス 一式 肩たすき一式 8字ハーネス一式	22,300 11,300 10,300	

	前腕義手用	胸郭バンド式前腕ハーネス一式 8 字ハーネス一式 9 字ハーネス一式 上腕カフ (三頭筋パッド)	<u>20,100</u> <u>8,750</u> <u>5,650</u> <u>5,700</u>	
義足懸垂用部品	股義足用	懸垂帯一式	<u>16,900</u>	
	大腿義足用 膝義足用	シレジアバンド一式	<u>8,150</u>	(削る)
		肩吊り帯	<u>7,100</u>	
		腰バンド	<u>9,750</u>	
横吊り帯		<u>1,850</u>		
義足用股吊り帯一式		<u>4,700</u>		
下腿義足用 サイム義足用	腰バンド	<u>9,800</u>	懸垂用膝カフは、PTB カフベルトに準ずること。	
	横吊り帯	<u>2,500</u>		
	大腿コルセット一式 PTB カフベルト一式	<u>12,800</u> <u>9,750</u>		
断端袋	上腕用		<u>3,350</u>	年間の上限額であるため、特性、数量にかかわらず、当該額の範囲で一括支給することができること。
	前腕用		<u>3,550</u>	
	大腿用		<u>5,600</u>	
	下腿用		<u>5,900</u>	
(削る)				

(オ) 外装

名 称	上限価格 円	備 考
肩義手用	<u>12,100</u>	
上腕義手用	<u>9,600</u>	
肘義手用	<u>9,050</u>	
前腕義手用	<u>8,550</u>	
股義足用	<u>30,400</u>	
大腿義足用	<u>24,400</u>	

	前腕義手用	胸郭バンド式前腕ハーネス一式 8 字ハーネス一式 9 字ハーネス一式 上腕カフ (三頭筋パッド)	<u>19,000</u> <u>8,300</u> <u>5,350</u> <u>5,400</u>	
義足懸垂用部品	股義足用	懸垂帯一式	<u>16,000</u>	
	大腿義足用 (新設)	シレジアバンド一式	<u>7,750</u>	価格は 1 本当たりのものであること。
		肩吊り帯	<u>6,750</u>	
		腰バンド	<u>9,250</u>	
横吊り帯		<u>1,750</u>		
義足用股吊り帯		<u>2,250</u>		
下腿義足用 (新設)	腰バンド	<u>9,300</u>	(新設)	
	横吊り帯	<u>2,400</u>		
	大腿もも締め一式 PTB カフベルト一式	<u>12,100</u> <u>9,250</u>		
(新設)	(新設)		(新設)	(新設)
	(新設)		(新設)	(新設)
	(新設)		(新設)	(新設)
	(新設)		(新設)	(新設)

注

- 1 肘義手用は、上腕義手用に準ずること。
- 2 手義手用及び手部義手用は、前腕義手用に準ずること。
- 3 膝義足用は、大腿義足用に準ずること。
- 4 サイム義足用は、下腿義足用に準ずること。
- 5 差込式下腿義足用軽便式の懸垂用膝カフは、PTB カフベルトに準ずること。

(オ) 外装

名 称	価 格 円	備 考
肩義手用	<u>11,500</u>	
上腕義手用	<u>9,100</u>	
(新設)	(新設)	
前腕義手用	<u>8,100</u>	
股義足用	<u>28,800</u>	
大腿義足用	<u>23,100</u>	

膝義足用	21,700	
下腿義足用	19,200	サイム義足の場合は加算できないこと。
注) リアルソックスを必要とする場合は、オの完成用部品の価格を1,150円増しとすること。		

オ 完成用部品

完成用部品とは、骨格構造義肢をオーダーメイドにより製作及び完成させるための部品をいい、部品の名称、使用部品、上限価格等については、別に定めるところによること。

カ 耐用年数

材料・部品名	耐用年数 年	備 考
パイプ (チューブアダプター)	5	<u>耐用年数以内の故障に際しては、原則として小部品の取替えにより修理又は調整を行うこと。</u>
継手類 (削る)	3 (削る)	<u>耐用年数とは、通常の使用状態において当該補装具が修理不能となるまでの予想年数を示しているものであるため、耐用年数を一律に適用しないこと。</u>
手部	3	
ターンテーブル	3	
手袋	1.5	
足部	1.5	
フォームカバー (義手用)	1.5	
フォームカバー (義足用)	0.5	
その他小部品 (消耗品)	1	

キ 使用年数

年 齢	使用年数	備 考
0～14歳	1 年	(略)
15～17歳	1年6月	1・2 (略)

使用年数は、年齢による児童の特殊性を考慮して定めたものであるが、使用年数以内の故障に際しては、小部品の取替えにより修理又は調整を行うこと。
なお、使用年数については、成長速度や使用環境等も踏まえ、柔軟に対応すること。

膝義足用	20,600	
下腿義足用	18,200	(新設)
注) リアルソックスを必要とする場合は、オの完成用部品の価格を1,100円増しとすること。		

オ 完成用部品

義手用部品及び義足用部品の名称、使用部品、価格等については、別に定めるところによること。

カ 耐用年数

材料・部品名	耐用年数 年	備 考
パイプ (チューブアダプター)	5	<u>耐用年数以内の故障に際しては、原則として小部品の取替えにより修理又は調整を行うこと。</u>
継手類	3	(新設)
リストメタル	3	
手部	3	
ターンテーブル	3	
手袋	1.5	
足部	1.5	
フォームカバー (義手用)	1.5	
フォームカバー (義足用)	0.5	
その他小部品 (消耗品)	1	

キ 使用年数

年 齢	使用年数	備 考
0～14歳	1 年	(略)
15～17歳	1年6月	1・2 (略)

使用年数は、年齢による児童の特殊性を考慮して定めたものであるが、使用年数以内の故障に際しては、小部品の取替えにより修理又は調整を行うこと。
(新設)

(3) 装具（オーダーメイド）

装具とは、上肢、下肢又は体幹の機能障害の軽減を目的として体表に装着し、機能を補助する器具のことをいい、下肢装具、靴型装具、体幹装具、上肢装具に区分される。

そのうち、装具（オーダーメイド）とは、採型等により個別に製作される装具をいい、アの基本工作法により、工及びオによりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。

価格は、イの採型区分によるウの基本価格に工及びオのそれぞれ使用する材料・部品の価格を合算した額を上限とし、医師の採型技術料を含まないものであること。

区分	名称	定義	備考
下肢装具	股装具	<p>股関節の運動を制御する装具の総称で、原則として仙腸支持部から大腿部に及ぶもの</p> <p>A 硬性 陽性モデルによって成形されたもの。補強用の支柱等が使用されているものも含まれること。</p> <p>B フレーム 仙腸支持部が金属枠で作られており、大腿部は下肢の長軸に沿って内外の両側に支柱をもち、両支柱を結ぶ1つ以上の半月をもつもの</p> <p>C 軟性 軟性材料を主材料としたもので、仙腸支持部は板ばねで補強されているもの</p> <p>D ツイスター 仙腸支持部あるいは大腿部と足部を連結し、下肢の内外旋を制御するもの。</p>	<p>児童にあつては、<u>発育性股関節形成不全（先天性股関節脱臼）及びヘルテス病用の装具を含む。</u></p>
	長下肢装具	<p>大腿部から足底に及ぶ構造を持つもので、膝関節及び足関節の運動を制御し、若しくは大腿部への負荷を軽減あるいは免荷するもの。仙腸支持部が連結された骨盤帯長下肢装具を含む。なお、カーボンは、筋力が著しく低下した方に必要であると判断された場合にのみ用いることができること。</p> <p>A 硬性 陽性モデルを用いて成形されたもの。補強用の支柱等が使用されているものも含まれること。</p> <p>B 両側支柱付 下肢の長軸に沿って内外の両側に支柱をもち、大腿部と下腿部においてそれぞれ両支柱を結ぶ1つ以上の半月をもつもの</p> <p>C 片側支柱付 下肢の長軸に沿って内外のどちらか一方に支柱をもつもの</p>	

(3) 装具
(新設)

区分	名称	基本構造	使用材料・部品及び工作法	価格	備考
下肢装具	股装具	<p>骨盤から大腿下部に及ぶもの</p> <p>A 金属枠 骨盤部が金属枠で作られているもの。 S型支柱のものも含まれること。</p> <p>B 硬性 骨盤及び大腿部が陽性モデルによってモールドされたもの。補強用の支柱付きのものを基本とすること。</p> <p>1 不燃性セルロイド</p> <p>2 皮革</p> <p>3 プラスチック</p> <p>C 軟性 布を主材料としたもの</p>	<p>アの基本工作法により、工及びオによりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</p>	<p>イの採型区分によるウの基本価格に工及びオのそれぞれ使用する材料・部品の価格を合算した額とすること。</p>	
	先天股脱装具	<p>先天股脱に用いられる装具で、両側下肢に及ぶものを基本とすること。</p> <p>A リーメンビュージェル型(パブリック帯) 布又は皮革の帯によって股関節を屈曲位に保つもの</p> <p>B フォンローゼン型</p>			<p>障害児に限る。</p>

膝装具	<p>大腿部から下腿部に及ぶ構造を持つもので、<u>膝関節の運動を制御するもの</u></p> <p>A 硬性 陽性モデルを用いて成形されたもの。補強用の支柱等が使用されているものも含まれること。</p> <p>B 両側支柱付 下肢の長軸に沿って内外の両側に支柱をもち、大腿部と下腿部においてそれぞれ両支柱を結ぶ一つ以上の半月をもつもの</p> <p>C 片側支柱付 下肢の長軸に沿って内外のどちらか一方に支柱をもつもの</p> <p>D 軟性 軟性材料を主材料としたもの</p>			<p>三本の金属板の組合せで、<u>股関節を開排位に保つもの</u></p> <p>C <u>パチェラー型</u> 両大腿及び下腿コルセットを金属支柱でつなぎ、<u>股関節を外転、内旋、屈曲位に保つもの</u></p> <p>D <u>ローレンツ型</u> 股関節を開排位に<u>固定保持するもの</u></p> <p>E <u>ランゲ型</u> 股関節を外転位、<u>軽度屈曲位、強い内旋位に固定保持するもの</u></p>	
短下肢装具	<p>下腿部から足底に及ぶ構造を持つもので、<u>足関節の運動を制御し、若しくは下腿部あるいは足部への負荷を軽減あるいは免荷するもの</u>。なお、カーボン^は、筋力が著しく低下した方に必要であると判断された場合にのみ用いることができること。</p> <p>A 硬性 陽性モデルを用いて成形されたもの。補強用の支柱等が使用されているものも含まれること。</p> <p>B 両側支柱付 下肢の長軸に沿って内外の両側に支柱をもち、<u>両支柱を連結する一つ以上の半月をもつもの</u></p> <p>C 片側支柱付 下肢の長軸に沿って内外のどちらか一方に支柱をもつもの</p> <p>D 後方支柱付 下肢の長軸に沿って後方に支柱をもつもの</p> <p>E 軟性 軟性材料を主材料としたもの</p>		内反足装具	<p>A <u>短下肢装具型</u> 下腿の上部から足底に及ぶもの。 詳細は、<u>短下肢装具に準ずること</u>。</p> <p>B <u>靴型装具型</u> 詳細は、<u>靴型装具に準ずること</u>。</p> <p>C <u>デニスブラウン副子</u> 両側の足部を横棒によって結ぶもの</p> <p>1 <u>足底板型</u> アルミニウムにフェルトの内張りをしたものを基本とすること。</p> <p>2 <u>足部おおい型</u></p> <p>3 <u>靴型装具型</u></p>	障害児に限る。 外反足装具もこれに準ずること。
足装具	<p>足部に装着する装具であって、靴型装具を除く以下のものとする。</p> <p>A <u>足底装具</u> 足アーチの支持、足部変形の防止及び矯正等を目的とするもの。内側楔^{くまひ}及び外側楔に加え、除圧及び脚長差の補正のための補高も含まれること。</p> <p>B <u>Denis-Browne (デニスブラウン) 型</u> 両側の足部をバーによって連結した装具で、<u>内反足の児童に用いるもの</u></p>	靴型装具の一部として算定できないこと。	長下肢装具	<p>大腿上部より足底に及ぶもの</p> <p>A <u>両側支柱</u> 下肢の長軸に沿って内外の両側に金属の支柱をもち、大腿</p>	

靴型装具	<p>変形の矯正、圧力分散による疼痛除去等の特定の目的のために、足部に適合させた靴。靴型を基に製作し、アッパーの付いたもの。既製品の靴型（ラスト）を補正して製作されたものを整形靴、陽性モデルを基に製作されたものを特殊靴とする。腰革（側革）の高さにより以下の種類を定める。</p> <p>A 長靴 腰革（側革）の高さがおおむね下腿の2/3までかかるもの</p> <p>B 半長靴 腰革（側革）の高さが果部を完全に覆うもの</p> <p>C チャッカ靴 腰革（側革）の高さが果部に及ぶもの</p> <p>D 短靴 腰革（側革）の高さが果部より低いもの</p>	足底装具の価格は加算できないこと。			<p>部と下腿部においてそれぞれ両支柱を結ぶ一つ以上の金属の半月をもつもの</p> <p>1 高力アルミニウム合金</p> <p>2 鋼</p>				
体幹装具	<p>頸椎装具</p> <p>頸椎の運動を制御し又は頸部への負荷を軽減する以下のものとする。</p> <p>A 硬性 陽性モデルを用いて成形されたもの。補強用の支柱等が使用されているものも含まれること。ただし、頸椎カラーを除く。</p> <p>B フレーム 主に金属で作られているもの</p> <p>C カラー 頸部のみを全周覆うもの</p> <p>D 斜頸矯正用枕 斜頸の矯正に用いる枕で、児童に限ること。</p>				<p>B 片側支柱 下肢の長軸に沿って内外のどちらか一方に金属の支柱をもつもの</p> <p>1 高力アルミニウム合金</p> <p>2 鋼</p> <p>C 硬性 陽性モデルを用いてモールドされたもの。内外の両側に金属の支柱と両支柱を結ぶ金属の半月で補強されているものを基本とすること。</p> <p>1 不燃性セルロイド</p> <p>2 皮革</p> <p>3 プラスチック</p> <p>D X脚又はO脚（障害児に限る。）</p>				
	<p>胸腰仙椎装具</p> <p>骨盤から胸背部に及び、胸椎、腰椎、仙腸関節の運動を制御する以下のものとする。</p> <p>A 硬性 陽性モデルを用いて成形されたもの。補強用の支柱等が使用されているものも含まれること。</p> <p>B フレーム 主に金属で作られているもの</p> <p>C 軟性 軟性材料を主材料にし、板ばねで補強したもの</p>			膝装具	<p>大腿から下腿に及ぶもの</p> <p>A 両側支柱 内外側に金属支柱をもち、両支柱を結ぶ金属の半月を大腿部及び下腿部でそれぞれ一つ以上もつもの</p> <p>B 硬性 陽性モデルを用いてモールドされたもの。金属支柱付きの</p>				
	<p>腰仙椎装具</p> <p>骨盤から腰部に及び、腰椎、仙腸関節の運動を制御する以下のものとする。</p> <p>A 硬性 陽性モデルを用いて成形されたもの。補強用の支柱等が使用されているものも含まれること。</p>								

		<p><u>B フレーム</u> 主に金属で作られているもの</p> <p><u>C 軟性</u> 軟性材料を主材料にし、板ばねで補強したもの</p>	
<u>仙腸装具</u>		<p>骨盤を包み、仙腸関節の運動を制御する以下のものとする。</p> <p><u>A 硬性</u> 陽性モデルを用いて成形されたもの。補強用の支柱等が使用されているものも含まれること。</p> <p><u>B フレーム</u> 主に金属で作られているもの</p> <p><u>C 軟性</u> 軟性材料を主材料にし、板ばねで補強したもの</p> <p><u>D 骨盤帯</u> 骨盤を帯状に一周するもの</p>	
<u>側弯症装具</u>	<u>側弯症装具</u>	<p><u>脊柱側弯症の矯正に用いるもの</u></p> <p><u>A 硬性</u> 陽性モデルを用いて成形されたもの。補強用の支柱等が使用されているものも含まれること。</p> <p><u>B フレーム</u> 主に金属で作られているもの</p> <p><u>C 軟性</u> 軟性材料を主材料にし、板ばねで補強したもの</p>	
<u>上肢装具</u>	<u>肩装具</u>	<p>肩関節の運動を制御し又は肩甲上腕関節の脱臼を防止するもので、以下のものとする。</p> <p><u>A 硬性</u> 陽性モデルを用いて成形されたもの。補強用の支柱等が使用されているものも含まれること。</p> <p><u>B フレーム</u> 体幹の部分が主に金属で作られているもの</p> <p><u>C 軟性</u> 軟性材料を主材料にしたもの</p>	
	<u>肘装具</u>	<p><u>上腕部から前腕部に及び、肘関節の運動を制御する以下のものとする。なお、必要に応じて、手部を追加することができること。</u></p> <p><u>A 硬性</u> 陽性モデルを用いて成形されたもの。補強用の支柱等が使用されているものも含まれること。</p>	<p>前腕の回内外を制御するためのものを含む。</p>
	<u>短下肢装具</u>		<p>もの及び平ばねの入ったものも含まれること。</p> <p><u>1 不燃性セルロイド</u></p> <p><u>2 皮革</u></p> <p><u>3 プラスチック</u></p> <p><u>C スウェーデン式</u></p> <p><u>D 軟性</u> 布を主材料としたもの</p> <p><u>下肢上部より足底に及ぶもの</u></p> <p><u>A 両側支柱</u> 下腿の長軸に沿って内外の両側に金属の支柱をもち、両支柱を結ぶ一つ以上の金属の半月をもつもの</p> <p><u>1 高力アルミニウム合金</u></p> <p><u>2 鋼</u></p> <p><u>B 片側支柱</u> 下肢の長軸に沿って内外のどちらか一方に金属の支柱をもつもの</p> <p><u>1 高力アルミニウム合金</u></p> <p><u>2 鋼</u></p> <p><u>C S型支柱</u> 下腿の周囲をらせん状に走る金属の支柱をもつもの</p> <p><u>1 高力アルミニウム合金</u></p> <p><u>2 鋼</u></p> <p><u>D 鋼線支柱</u> 下腿の長軸に沿って走る鋼線の支柱と</p>
			<p>顛上部型プラスチック短下肢装具（NYU型）及びS型プラスチック短下肢装具は、硬性短下肢装具（支柱付き）に含まれること。</p>

	<p><u>B フレーム</u> 金属を主材料にしたもの</p> <p><u>C 軟性</u> 軟性材料を主材料にしたもの</p>	
<u>BFO</u>	<p>平衡をとった状態で前腕を支え、あるいは懸垂することで、わずかな力で水平面における上肢の運動を可能にしたもの</p>	

	<p><u>B 鋼製ケーブル</u> 鋼製ケーブルを用いたもの</p>			
<u>足底装具</u>	<p>足部に対する装具であって、靴型装具以外のもの</p> <p><u>A アーチサポート</u> (ふまず支え) 足の縦アーチを支えるもので、中足支えを含むものを基本とすること。</p> <p>1 <u>陽性モデル</u>を用いてモールドされたもの</p> <p>2 <u>採寸によって製作されたもの</u></p> <p><u>B メタターサルサポート</u> (中足支え) 足の中足アーチを支えるもの</p> <p><u>C 補高</u></p> <p>1 <u>2 cm未満</u></p> <p>2 <u>2 cm以上</u></p> <p><u>D 内側及び外側楔</u></p>			<p><u>踵骨棘用装具</u>は、補高に含まれること。</p> <p><u>スピッツイ及びトムゼンライン</u> (ふまず支え) は、A-2に含まれること。</p> <p><u>ランゲ</u> (ふまず支え) は、A-2に含まれること。</p>
<u>靴型装具</u>	<p>医師の処方に基づき、変形の矯正、圧力分散による疼痛除去等の特定の目的のために、足部に適合させた靴。靴型を基に製作し、アッパーの付いたもの</p> <p><u>A 長靴</u> 下腿の上部に及ぶもの</p> <p><u>B 半長靴</u> (編上靴) 側革が果部より高いもの</p>			<p><u>靴型装具の要素</u></p> <p>(<u>整形靴</u> (陽性モデル) から作成した特別製</p>

		<p>C <u>チャッカ靴</u> <u>側革が果部に及ぶもの</u></p> <p>D <u>短靴</u> <u>側革が果部より低いもの</u></p>		<p><u>の木型を用いるもの</u> <u>)</u> <u>・矯正靴</u> <u>(内・外反足の矯正用)</u></p>
体幹装具	頸椎装具	<p><u>肩甲骨から頭蓋に及ぶものを基本とすること。</u></p> <p>A <u>金属枠</u></p> <p>B <u>硬性</u> (スポンジラバーを含む。) <u>陽性モデルを用いてモールドされたもの</u></p> <p>1 <u>不燃性セルロイド</u></p> <p>2 <u>皮革</u></p> <p>3 <u>プラスチック</u></p> <p>C <u>カラー</u></p> <p>1 <u>あご受けのあるもの</u></p> <p>2 <u>あご受けのないもの</u></p> <p>D <u>斜頸矯正用枕</u> <u>(障害児に限る。)</u></p>		<p><u>高さ調整は、カラーの場合には適用しないこと。</u></p>
	胸椎装具	<p><u>骨盤から胸背部に及ぶもの</u></p> <p>A <u>金属枠</u></p> <p>B <u>硬性</u> (頸椎装具に準ずる。)</p> <p>C <u>軟性</u></p>		
	腰椎装具	<p><u>骨盤から腰部に及ぶもの</u></p> <p>A <u>金属枠</u></p> <p>B <u>硬性</u> (頸椎装具に準ずる。)</p> <p>C <u>軟性</u></p>		<p><u>ナイトブレイスは、金属枠腰椎装具に含まれること。</u> <u>ウイリアムブレイ</u></p>

			ス、前屈 ブレイス は、金属 棒腰椎装 具・腰部 継手付に 含まれる こと。
	仙腸装具	骨盤を含むもの A 金属棒 B 硬性（頸椎装具に 準ずる。） C 軟性 布を主材料にし、 板ばねで補強したも の D 骨盤帯 骨盤を带状に一周 するもの 1 芯のあるもの 2 芯のないもの	オスグッ ドブレイ ス、コー ルドウェ イトプレ スは、金 属棒仙腸 装具に含 まれるこ と。
	側弯症装具	脊柱側弯症の矯正に 用いるもの。原則とし て24時間の連続装着し うるものであること。 A ミルウォーキー型 骨盤から頭部に及 ぶもの B 頭部に及ばないも の 1 金属棒 2 硬性（仙腸装具 に準ずる。） 3 軟性（帯状のも のを含む。）	
上肢装具	肩装具	肩関節を外転位に保 持するもので、骨盤か ら前腕に及ぶものを基 本とすること。 A 金属棒 体幹の部分が金属 棒のもの	

	<p><u>B 硬性</u> 陽性モデルによつてモールドされたもの。金属支柱により補強されたものも含まれること。</p> <p>1 <u>不燃性セルロイド</u></p> <p>2 <u>皮革</u></p> <p>3 <u>プラスチック</u></p> <p><u>C 分娩麻痺用（障害児に限る。）</u></p>
<u>肘装具</u>	<p>上腕から前腕に及ぶもの</p> <p><u>A 両側支柱</u> 両側に金属支柱をもち、金属の半月をもつもの</p> <p><u>B 硬性</u> 陽性モデルを用いてモールドされたもの。金属支柱により補強されたものも含まれること。</p> <p>1 <u>不燃性セルロイド</u></p> <p>2 <u>皮革</u></p> <p>3 <u>プラスチック</u></p> <p><u>C 軟性</u></p>
<u>手関節背屈保持装具</u>	<p>前腕から手部に及ぶもので、手関節を背屈位に保持するもの</p> <p><u>A パネル型</u> 前腕部と手部を板ばねによって結ぶもの</p>

	<p><u>B トーマス型</u> <u>ゴムによって手関節を背屈位に、母指を外転位に保つもの</u></p> <p><u>C オッペンハイマー型</u> <u>鋼線を主材料として、手関節背屈、MP伸展、母指外転位をとらせるもの</u></p> <p><u>D 硬性</u></p> <p><u>1 不燃性セルロイド</u></p> <p><u>2 皮革</u></p> <p><u>3 プラスチック</u></p>
<u>長対立装具</u>	<p>前腕から手部に及ぶもので、手関節を背屈位に保持し、母指を対立位に保つもの。高力アルミニウム合金等にフェルトの内張りした構造を基本とすること。</p>
<u>短対立装具</u>	<p>母指を対立位に保つもの。高力アルミニウム合金等にフェルトの内張りした構造を基本とすること。</p>
<u>把持装具</u>	<p>前腕から手部に及ぶもので、母指と示中指間におけるつまみを可能にするもの。通常は高力アルミニウム合金等にフェルトの内張りしたものを基本とするが、プラスチックを主材料としたものも含まれること。</p>

ア 基本工作法

工 程	作 業 の 内 容
(ア) 患肢及び患部の観察	患部の表面の状況、関節の運動機能（ <u>屈曲、伸展</u> 、内転、外転等）の状況並びに肢位の観察及び特徴の把握
(イ) (略)	(略)
(ウ) 採型	ギプス包帯法及び印象材による陰性モデルの採型
(エ) (略)	(略)

ア 基本工作法

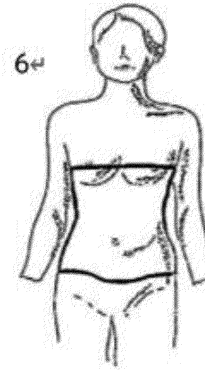
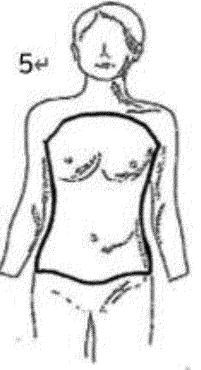
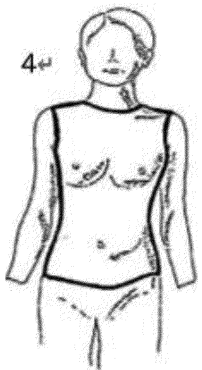
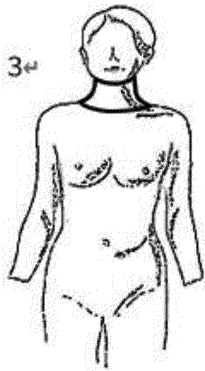
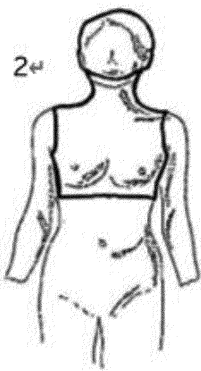
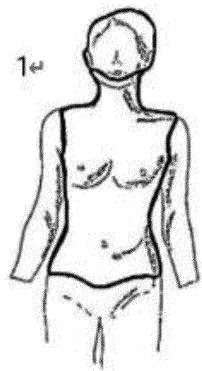
工 程	作 業 の 内 容
(ア) 患肢及び患部の観察	患部の表面の状況、関節の運動機能（ <u>屈伸</u> 、内転、外転等）の状況並びに肢位の観察及び特長の把握
(イ) (略)	(略)
(ウ) 採型	ギプス包帯法による陰性モデルの採型
(エ) (略)	(略)

	<p>A <u>手関節駆動式</u> <u>手関節の運動によつてつまみを可能にするもの</u></p> <p>B <u>ハーネス駆動式</u> <u>ハーネスを力源とするもの</u></p>		
MP 屈曲補助装具（ナックルベンダー）及びMP 伸展補助装具（逆ナックルベンダー）	<p>手部から示指より小指の基節に及ぶもので、MP 関節を屈曲又は伸展させるもの</p> <p>A <u>パネル型</u> <u>ゴムを用いるもの</u></p> <p>B <u>プラスチック</u></p> <p>C <u>軟性</u></p>		
指装具（指用ナックルベンダー及び指用逆ナックルベンダー）	<u>PIP 及び DIP 関節を伸展位又は屈曲位、あるいは内外反位に保持するもの</u>		
BFO（食事動作補助器）	<u>前腕を平衡をとった状態で支え、ボールベアリングを利用してわずかな力で運動を可能にしたもの</u>		<u>付属品として車いすを加えることができること。</u>

(オ) 組立て	陽性モデルへの装具形状 (アライメント) の記入 フレーム: (略) 硬 性: プラスチック板切断、加熱成形加工 (熱可塑性樹脂)、注型 (熱硬化性樹脂)、トリミング及び調整 支柱、支持部、継手、付属品等の仮止め及び各部の結合
(カ) 仮合わせ (中間適合検査)	支柱、支持部、継手、付属品等の調整及び試用
(キ) 仕上げ	支柱、支持部、継手、付属品等の取付け及び仕上げ
(ク) (略)	(略)

イ 採型区分

- A・B (略)
- C 体幹装具

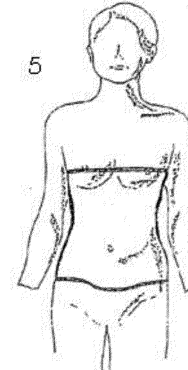
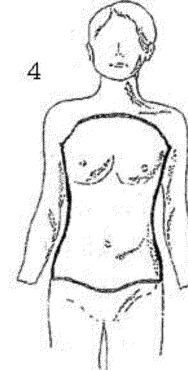
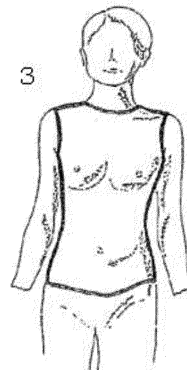
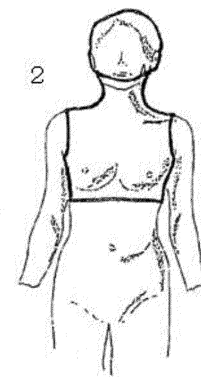
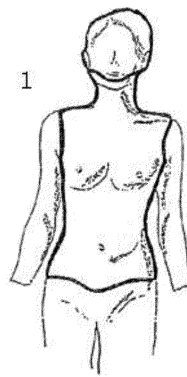


D (略)

(オ) 組立て	陽性モデルにデザインの記入 (アライメント) フレーム: (略) モールド: プラスチック板切断、加熱成形加工、トリミング及び調整 筋金、締め革、足部覆い、足底板、ネックリング、パッド、ベルト等の仮止め及び各部の結合
(カ) 仮合わせ (中間適合検査)	筋金、締め革、足部覆い、足底板、ネックリング、パッド、ベルト等の調整、試し使用及び仕上げ
(キ) 仕上げ	筋金、締め革、足部覆い、足底板、ネックリング、パッド、ベルト等の付属品の取付け及び仕上げ
(ク) (略)	(略)

イ 採型区分

- A・B (略)
- C 体幹装具



D (略)

ウ 基本価格

名 称	採 型 区 分	上 限 価 格		備 考
		採 型	採 寸	
下肢装具用	A-1	27,900	8,550	採型については、ギプス採型に限る。 印象材を用いた採型に限る。
	A-2	43,000	16,800	
	A-3	31,700	16,100	
	A-4	20,400	8,150	
	A-5	18,700	7,900	
	A-6	17,000	7,750	
	A-7 a	12,300	6,700	
	A-7 b	8,200	—	
	A-8	23,700	8,450	
	A-9	25,500	8,550	
A-10	54,000	15,700		
靴型装具用	B-1	17,000	7,750	長靴、半長靴、チャッカ靴に限る。
	B-2	12,300	6,700	短靴に限る。
体幹装具用	C-1	32,800	8,950	
	C-2	25,600	8,250	
	C-3	12,800	4,100	
	C-4			
	(硬性、フレーム)	25,100	7,750	
	(軟性)	7,750	7,750	
	C-5			
	(硬性、フレーム)	21,400	7,600	
	(軟性)	7,650	7,600	
	C-6			
(硬性、フレーム)	18,900	7,350		
(軟性、骨盤帯)	7,350	7,350		
上肢装具用	D-1	34,200	9,050	
	D-2	18,600	7,900	
	D-3	16,900	7,650	
	D-4	15,000	7,400	
	D-5	12,000	6,800	
	D-6	9,000	4,800	

ウ 基本価格

名 称	採 型 区 分	価 格		備 考
		採 型	採 寸	
下肢装具用	A-1	26,300	8,050	(新設)
	A-2	40,500	15,800	
	A-3	29,800	15,200	
	A-4	19,200	7,700	
	A-5	17,600	7,450	
	A-6	16,000	7,300	
	A-7	11,600	6,300	
	(新設)	(新設)	(新設)	
	A-8	22,300	7,950	
	A-9	24,000	8,050	
A-10	50,800	14,800		
靴型装具用	B-1	16,000	7,300	(新設)
	B-2	11,600	6,300	(新設)
体幹装具用	C-1	30,900	8,450	
	C-2	24,100	7,800	
	(新設)	(新設)	(新設)	
	C-3			
	(金属枠、硬性)	23,600	7,300	
	(軟性)	7,300	7,300	
	C-4			
	(金属枠、硬性)	20,200	7,150	
	(軟性)	7,200	7,150	
	C-5			
(金属枠、硬性)	17,800	6,950		
(軟性、骨盤帯)	6,950	6,950		
上肢装具用	D-1	32,200	8,550	
	D-2	17,500	7,450	
	D-3	15,900	7,200	
	D-4	14,100	7,000	
	D-5	11,300	6,400	
	D-6	8,500	4,550	

注)

1 2種類以上の装具を組み合わせた装具の場合は、個々の価格のうち、最も高い価格とすること。ただし、両長下肢装具に体幹装具（骨盤帯を除く。）を組み合わせる場合は、それぞれの基本価格を算定することができること。

2 補高足部（脚長差を補正するために使用する義足用足部をいう。以下同じ。）を使用する場合は、35,800円増しとし、完成用部品を用いる場合は、その価格を加算できること。エのイのbの付属品等の加算要素である補高は補高足部とは異なるため、その価格を加算することができないこと。補高足部は、健肢と大幅な脚長差が生じる場合にのみ加えることができること。

(削る)

(削る)

3 採型によりカーボン製装具の製作にチェック用装具を要する場合、次に掲げる額（複数に該当する場合、それらの合計額）を加算できること。

- (1) チェック用装具が「大腿部」を含む場合 18,100円
- (2) チェック用装具が「下腿部」を含む場合 16,900円
- (3) チェック用装具が「足部」を含む場合 9,900円

エ 製作要素価格

(ア) 下肢装具

a 継手

名称	種類	上限価格 円	備考
股継手	固定式	6,550	固定式継手とは、継手のない支柱を使用する場合にのみ用いることができること。 遊動式継手とは、継手のある支柱を使用する場合にのみ用いることができ、固定・遊動切替式のものも含まれること。
	遊動式	7,800	
膝継手（片側）	固定式	6,400	固定式継手とは、継手のない支柱を使用する場合にのみ用いることができること。 遊動式継手とは、継手のある支柱を使用する場合にのみ用いることができ、固定・遊動切替式のものも含まれること。
	遊動式	7,000	
	プラスチック継手	14,800	

注)

1 2種類以上の装具を組み合わせた装具の場合は、個々の価格のうち、最も高い価格とすること。

2 補高足部（脚長差を補正するために使用する義足用足部をいう。以下同じ。）を使用する場合は、33,700円増しとすること。

3 補高足部は、健肢とに大幅な脚長差が生じる場合にのみ加えることができること。

4 補高足部の場合は、エのイのbの付属品等の加算要素として補高の価格を加算することができないこと。

5 採型によりカーボン製装具の製作にチェック用装具を要する場合、用いたチェック用装具の形状に応じ、次に掲げる額（複数に該当する場合、それらの合計額）を加算できること。

- (1) チェック用装具が「大腿部」を含む場合 17,100円
- (2) チェック用装具が「下腿部」を含む場合 15,900円
- (3) チェック用装具が「足部」を含む場合 9,350円

エ 製作要素価格

(ア) 下肢装具

a 継手

名称	種類	価格 円	備考
股継手	固定式	6,200	(新設)
	遊動式	7,350	
膝継手（片側）	固定式	6,050	(新設)
	遊動式	6,600	
	プラスチック継手	14,000	

			<p>可撓性のプラスチック継手（完成用部品に指定されているものを除く。）の場合は、片側プラスチック継手として算定すること。ただし、ヒンジ継手の場合は、片側を1単位とすること。</p> <p>プラスチック継手は、オの完成用部品を加えることができないこと。</p>
足継手（片側）	固定式 遊動式 プラスチック継手	5,400 6,350 <u>11,000</u>	<p>固定式継手とは、継手のない支柱を使用する場合にのみ用いることができること。</p> <p>遊動式継手とは、継手のある支柱を使用する場合にのみ用いることができ、固定・遊動切替式のものも含まれること。</p> <p>鋼線支柱及び完成用部品に指定されているプラスチック製の継手は遊動式とし、片側を1単位とすること。</p> <p>後方支柱付の場合は、片側遊動式として算定すること。</p> <p>可撓性のプラスチック継手（完成用部品に指定されているものを除く。）の場合は、片側プラスチック継手として算定すること。ただし、ヒンジ継手の場合は、片側を1単位とすること。</p> <p>プラスチック継手は、オの完成用部品を加えることができないこと。</p>

足継手（片側）	固定式 遊動式 プラスチック継手	5,100 6,000 <u>10,400</u>	(新設)

(削る)

b 支持部

名称	種類	上限価格 円	備考
大腿支持部	A 半月 (1 か所)	4,800	カフベルトは、半月を使用する場合のみ算定できるとし、硬性と併用加算はできないこと。 大腿支持部の坐骨支持式は、22,500円増しとすること。 カーボンを使用した場合は、大腿支持部の総額を57,400円とすること。
	B 皮革等		
	1 カフベルト (1 か所)	8,400	
	2 大腿コルセット	16,700	
	C 硬性		
1 熱硬化性樹脂	27,300		
2 熱可塑性樹脂	11,200		
下腿支持部	A 半月 (1 か所)	4,600	カフベルトは、硬性と併用できないこと。 下腿支持部のPTB式、PTS式及びKBM式は、15,400円増しとすること。 カーボンを使用した場合は、下腿支持部の総額を57,500円とすること。
	B 皮革等		
	1 カフベルト (1 か所)	7,100	
	2 下腿コルセット	12,900	
	C 硬性		
1 熱硬化性樹脂	25,400		
2 熱可塑性樹脂	9,550		
足部	A あぶみ	2,600	歩行用あぶみは、あぶみに準ずること。 足板の補強を行った場合は、10,200円増しとすること。 足部には、足底裏革(すべり止め用)を加えることができること。 補高、ヒールの補正及び足底の補正を必要とする場合は、(イ)の靴型装具に準ずること。
	B 足部		
	1 足部覆い	14,400	
	2 標準靴	22,300	
	3 硬性(熱硬化性樹脂)	15,000	
	4 硬性(熱可塑性樹脂)	8,250	
	C 足底装具		
	1 MP関節遠位	8,250	
2 MP関節近位	7,550		

注

- 1 固定式継手は、継手のない支柱を使用する場合にのみ用いることができること。
- 2 遊動式継手は、継手のある支柱を使用する場合にのみ用いることができ、固定・遊動切替式のものも含まれること。
- 3 鋼線支柱は、遊動式の価格とし、片側を1単位とすること。
- 4 短下肢装具用の板バネ支柱は、足継手の遊動式の価格とすること。
- 5 可撓性のプラスチック継手(継手部分として独立した形状を有するものに限る。)の場合は、プラスチック継手の価格とすること。ただし、ヒンジ継手の場合は、片側を1単位とすること。

b 支持部

名称	種類	価格 円	備考
大腿支持部	A 半月	4,550	(新設)
	B 皮革等		
	1 カフバンド	7,900	
	2 大腿コルセット	15,700	
	C モールド		
1 熱硬化性樹脂	25,700		
2 熱可塑性樹脂	10,600		
下腿支持部	A 半月	4,350	(新設)
	B 皮革等		
	1 カフバンド	6,700	
	2 下腿コルセット	12,200	
	C モールド		
1 熱硬化性樹脂	23,900		
2 熱可塑性樹脂	9,000		
足部	A あぶみ	2,450	歩行用あぶみは、あぶみに準ずること。 足底装具は、Bの足部に準ずること。
	B 足部		
	1 皮革等	13,600	
	大	7,100	
	小	7,100	
	2 モールド(熱硬化性樹脂)	14,100	
	3 モールド(熱可塑性樹脂)	7,800	
C 標準靴	830	標準靴は、完成用部品を加えることができること。	

			<p>カーボンを使用した場合は、足部の総額を41,800円とすること。 除圧のためにMP関節部を含むものはMP関節遠位で算定すること。</p>
<p>注)</p> <p>1 硬性にはベルトの価格が含まれていること。ただし、短下肢装具（硬性）において3本を超えるベルトを使用する場合は、1本当たり1,550円を加算することができること。</p> <p>2 支持部（「足部Aあぶみ」を除く。）について、オの完成用部品を使用する場合は、上限価格の40%の範囲内で算定すること。</p> <p>(削る)</p> <p>(削る)</p> <p>(削る)</p> <p>(削る)</p>			

c その他の加算要素

名 称	種 類	上限価格 円	備 考
膝サポーター	支柱付き	17,100	膝サポーターはオーダーメイドに限ること。
	支柱なし	7,850	
キャリパー ツイスター	硬性 軟性	19,700	キャリパー及びツイスターを使用する場合は、オの完成用部品を加えることができないこと。 鋼製ケーブル及びエラストマーを使用する場合は硬性とすること。
		3,450	
		5,650	
Denis-Browne (デニスブラウン) 型		2,700	
膝当て		4,650	
T・Yストラップ		5,350	硬性の装具に使用する場合は1,550円減じた額とすること。

<p>注)</p> <p>1 半月及び皮革の価格は、1か所当たりのものであること。</p> <p>2 補高、ヒールの補正及び足底の補正を必要とする場合は、(イ)の靴型装具に準ずること。</p> <p>3 大腿支持部の坐骨支持式は、21,200円増しとすること。</p> <p>4 下腿支持部のPTB式、PTS式及びKBM式は、14,500円増しとすること。</p> <p>5 足板の補強を行った場合は、9,600円増しとすること。</p> <p>6 カーボンは、筋力が著しく低下した方に必要であると判断された場合に用いることができることとし、カーボンを使用した場合は、それぞれ以下の額とすること。</p> <p>(1) 大腿支持部 54,000円</p> <p>(2) 下腿支持部 54,100円</p> <p>(3) 足部のモールド 39,300円</p>			

c その他の加算要素

名 称	種 類	価 格 円	備 考
膝サポーター	軟性（支柱付き）	16,100	(新設)
	軟性（支柱なし）	7,400	
キャリパー ツイスター	軟性 鋼製ケーブル	18,600	(新設)
		5,350	
		3,250	
デニスブラウン		2,550	(新設)
膝当て		4,400	
T・Yストラップ		5,050	(新設)

スタビライザー		18,300	
ターンバックル		6,050	
ダイヤルロック		8,750	(削る)
アウトリガー (1か所)		2,750	
伸展・屈曲補助装置		4,700	(略)
補高足部		51,800	完成用部品を加算することができること。
足底裏革 (すべり止め用)		1,950	
高さ調整 (1か所)		3,800	
内張り	大腿部	2,150	内張りは、足底装具を除き、
	下腿部	1,750	硬性の場合に限ること。
	足部	1,300	
	足底装具	1,300	
足底装具屋内用ベルト		2,300	足底装具を皮革で覆い、皮革ベルトを取り付けた場合は、上限価格の2倍の範囲内の額とすること。

注

(削る)

(削る)

1 骨盤帯を使用する場合は、(ウ)の体幹装具に準ずること。

2 懸垂帯を使用する場合は、(1)のエの(エ)の義足懸垂用部品に準ずること。

(削る)

(削る)

(削る)

(削る)

(削る)

d 発育性股関節形成不全用装具の加算要素

名称	種類	上限価格 円	備考
リーメンビューゲル		10,600	
フォンローゼン型		15,100	
パチエラー型		31,700	

スタビライザー		17,200	
ターンバックル		5,700	
ダイヤルロック		8,250	ファンロックは、ダイヤルロックに含まれること。
(新設)		(新設)	
伸展・屈曲補助装置		4,450	(略)
補高足部		48,700	(新設)
足底裏革 (すべり止め用)		1,850	
高さ調整		3,600	
内張り	大腿部	2,050	(新設)
	下腿部	1,650	
	足部	1,250	
	(新設)	(新設)	
(新設)		(新設)	(新設)

注

1 キャリバー及びツイスターを使用する場合は、オの完成用部品を加えることができないこと。

2 ヒールの補正及び足底の補正を必要とする場合は、(イ)の靴型装具に準ずること。

3 骨盤帯を使用する場合は、(ウ)の体幹装具に準ずること。

4 懸垂帯を使用する場合は、(1)のエの(エ)の義足懸垂用部品に準ずること。

5 補高足部とは、健肢とに大幅な脚長差が生じる場合にのみ加えることができること。

6 補高足部は、完成用部品を加算することができること。

7 高さ調整の価格は、1か所当たりのものであること。

8 内張りは、モールドの場合に限ること。

9 デニスブラウンは、6歳未満を対象とするものに限ること。

d 先天股脱装具用の加算要素

名称	種類	価格 円	備考
リーメンビューゲル		10,000	
フォンローゼン型		14,200	
パチエラー型		29,800	

ローレンツ型	硬性	
	1 支柱なし	17,100
	2 支柱付き(固定式)	26,000
	3 支柱付き(調節式)	27,900
ランゲ型		38,600

注) 継手を使用した場合は、aの継手及びオの完成用部品の上限価格の範囲内で加算できること。

- (イ) 靴型装具
a 製作要素
(a) 患足

名称	種類	上限価格 円	備考
短靴	整形靴	44,100	
	特殊靴	54,600	
チャッカ靴	整形靴	45,600	
	特殊靴	56,900	
半長靴	整形靴	47,000	
	特殊靴	59,000	
長靴	整形靴	50,000	
	特殊靴	65,200	

注)
1 (略)
(削る)

(削る)
2 グッドイヤー式及びマッケイ式の価格は、2割増しとすること。
(削る)

- (b) 健足

名称	上限価格 円	備考
短靴	27,300	
チャッカ靴	28,300	

ローレンツ型	A モールド	16,100
	B モールドフレーム	
	1 固定式	24,500
	2 調節式	26,300
ランゲ型		36,300

注) 継手を使用した場合は、aの継手及びオの完成用部品の価格を加算できること。

- (イ) 靴型装具
a 製作要素
(a) 患足

名称	種類	価格 円	備考
短靴	整形靴	41,500	
	特殊靴	51,400	
チャッカ靴	整形靴	42,900	
	特殊靴	53,500	
半長靴	整形靴	44,200	
	特殊靴	55,500	
長靴	整形靴	47,000	
	特殊靴	61,300	

注)
1 (略)
2 整形靴は、標準木型に皮革、フェルト等を張って、補正して作られるものとすること。
3 特殊靴は、陽性モデルから作成した特殊木型を用いて作られるものとすること。
4 グッドイヤー式及びマッケイ式の価格は、2割増しとすること。
5 靴型装具に支柱を必要とする場合は、(ア)の下肢装具の製作要素とオの完成用部品の加えることができること。

- (b) 健足

名称	価格 円	備考
短靴	25,700	
チャッカ靴	26,600	

半長靴	29,300	
長靴	31,300	
注) 1～3 (略)		

b 付属品等の加算要素

名 称	種 類	上限価格 円	備 考
月型の延長		4,500	価格は、1個当たりのものであること。
スチールバネ入り		5,650	(略)
トウボックス補強		2,750	
鉛板の挿入		2,850	
足背ベルト		2,300	せん 尖足等がある足部を靴型 装具に収納する必要がある 場合に限ること。 下肢装具の支持部(硬性) には算定できないこと。
ベルト(裏付き)の追加		1,550	(略)
補高	敷き革式	8,000	補高が2cmを超える場合は、超える部分につき2cm単位で1,700円を加算すること。
	靴の補高	3,700	補高が2cmを超える場合は、超える部分につき2cm単位で1,100円を加算すること。 補高足部を使用する場合は加算できないこと。
ヒールの補正	トルクヒール	6,300	
	ヒールウェッジ カットオフヒール キールヒール	3,700	

半長靴	27,600	
長靴	29,500	
注) 1～3 (略)		

b 付属品等の加算要素

名 称	種 類	価 格 円	備 考
月型の延長		4,250	(新設)
スチールバネ入り		5,350	(略)
トウボックス補強		2,600	
鉛板の挿入		2,700	
足背バンド		2,200	(新設)
マジックバンド(裏付き)		1,500	(略)
補高	敷き革式	7,550	補高が2cmを超える場合は、超える部分につき2cm単位で1,600円を加算すること。
	靴の補高	3,500	補高が2cmを超える場合は、超える部分につき2cm単位で1,050円を加算すること。 (新設)
ヒールの補正	トルクヒール	5,950	
	ウェッジヒール カットオフヒール キールヒール	3,500	

	サッチヒール トーマスヒール 逆トーマスヒール フレアヒール 階段状ヒール		
足底の補正	内側ソール・ウェッジ 外側ソール・ウェッジ	<u>4,800</u>	
	デンバーパー トーマスパー メイヨー半月パー メタターサルパー ハウザーパー ロッカーパー 蝶型踏み返し	<u>3,700</u>	

(ウ) 体幹装具
a 支持部

名 称	種 類	上限価格 円	備 考
頸椎支持部	A 硬性		硬性のサンドイッチ構造は、 <u>19,600円</u> 増しとすること。
	1 支柱付き	<u>42,300</u>	
	2 支柱なし	<u>32,600</u>	
	B フレーム	<u>31,600</u>	
	C カラー		
	1 あご受けあり	<u>15,200</u>	
2 あご受けなし	<u>12,200</u>		
胸腰仙椎支持部	A 硬性		硬性のサンドイッチ構造は、 <u>15,900円</u> 増しとすること。
	1 支柱付き	<u>42,700</u>	
	2 支柱なし	<u>31,100</u>	
	B フレーム	<u>44,300</u>	
C 軟性	<u>26,000</u>		
腰仙椎支持部	A 硬性		硬性のサンドイッチ構造は、 <u>12,000円</u> 増しとすること。
	1 支柱付き	<u>28,600</u>	
	2 支柱なし	<u>21,100</u>	
	B フレーム	<u>35,800</u>	
	C 軟性	<u>20,300</u>	

	サッチヒール トーマスヒール 逆トーマスヒール フレアヒール 階段状ヒール		
足底の補正	内側ソール・ウェッジ 外側ソール・ウェッジ	<u>4,550</u>	
	デンバーパー トーマスパー メイトー半月パー メタターサルパー ハウザーパー ロッカーパー 蝶型踏み返し	<u>3,500</u>	

(ウ) 体幹装具
a 支持部

名 称	種 類	価 格 円	備 考
頸椎支持部	A モールド(熱可塑性樹脂)		モールドのサンドイッチ構造 は、 <u>18,500円</u> 増しとすること。
	1 支柱付き	<u>39,800</u>	
	2 支柱なし	<u>30,700</u>	
	B フレーム	<u>29,700</u>	
	C カラー		
	1 あご受けあり	<u>14,300</u>	
2 あご受けなし	<u>11,500</u>		
胸椎支持部	A モールド(熱可塑性樹脂)		モールドのサンドイッチ構造 は、 <u>15,000円</u> 増しとすること。
	1 支柱付き	<u>40,200</u>	
	2 支柱なし	<u>29,300</u>	
	B フレーム	<u>41,700</u>	
C 軟性	<u>24,500</u>		
腰椎支持部	A モールド(熱可塑性樹脂)		モールドのサンドイッチ構造 は、 <u>11,300円</u> 増しとすること。
	1 支柱付き	<u>26,900</u>	
	2 支柱なし	<u>19,900</u>	
	B フレーム	<u>33,700</u>	
	C 軟性	<u>19,100</u>	

仙腸支持部	A 硬性		硬性のサンドイッチ構造は、 10,300円増しとすること。
	1 支柱付き	23,000	
	2 支柱なし	16,900	
	B フレーム	31,200	
	C 軟性	18,100	
	D 骨盤帯		
1 芯のあるもの	17,600		
2 芯のないもの	11,500		
骨盤支持部	A 皮革（補強材を含む。）	45,900	(略)
	B 硬性	32,900	硬性のサンドイッチ構造は、 22,700円増しとすること。
	ペルビックガードル		
注			
1 支持部にはベルトの価格が含まれていること。			
2 支持部について、オの完成用部品を使用する場合は、上限価格の40%の範囲内で算定すること。			

b その他の加算要素

名 称	種 類	上限価格 円	備 考
体幹装具付属品	高さ調整（1か所）	3,800	高さ調整は、頸椎装 具についてのみ加算 することができるこ と。 カラーの場合には適 用しないこと。
	ターンバックル	6,000	
	腰部継手（片側）	6,500	
	バタフライ	10,300	
	肩ベルト	3,250	
	会陰ひも	2,350	
	腹部エプロン	3,250	
	斜頸枕 ^{けい}	25,000	
側弯症装具付属品	ミルウォーキー型付属品一式	66,400	ミルウォーキー型付 付属品一式は胸椎 パッド、腰椎パッド、 腋窩パッド、ネック リング、アウトリ ガー（2個）、前方 支柱及び後方支柱 （2個）を含むもの であること。なお、 ショルダーリングを 用いた場合には、 12,000円を加算でき ること。
	胸椎パッド	5,900	
	腰椎パッド	5,350	
	ショルダーリング	16,300	
	腋窩 ^{えきか} パッド	4,300	
	ネックリング	2,350	
	胸郭バンド（プラスチック製）	19,000	
	アウトリガー	3,150	
	前方支柱	13,000	
	後方支柱	14,600	
	側方支柱	5,850	

仙腸支持部	A モールド（熱可塑性樹脂）		モールドのサンドイッチ構造 は、9,750円増しとすること。
	1 支柱付き	21,700	
	2 支柱なし	15,900	
	B フレーム	29,400	
	C 軟性	17,100	
	D 骨盤帯		
1 芯のあるもの	16,600		
2 芯のないもの	10,900		
骨盤支持部	A 皮革（補強材を含む。）	43,200	(略)
	B モールド（熱可塑性樹脂）	31,000	モールドのサンドイッチ構造 は、21,400円増しとすること。
	ペルビックガードル		
(新設)			

b その他の加算要素

名 称	種 類	価 格 円	備 考
体幹装具付属品	高さ調整	3,600	(新設)
	ターンバックル式	5,650	
	腰部継手	6,150	
	バタフライ	9,750	
	肩バンド	3,100	
	会陰ひも	2,250	
	腹圧強化バンド	3,100	
	(新設)	(新設)	
側弯症装具付属品	(新設)	(新設)	(新設)
	胸椎パッド	5,550	
	腰椎パッド	5,050	
	ショルダーリング	15,400	
	腋窩パッド	4,050	
	アウトリガー	3,000	
	前方支柱	12,300	
	後方支柱	13,800	
	側方支柱	5,500	
	ネックリング	2,250	
胸郭バンド（プラスチック製）	17,900		

			アウトリガー、支柱 については完成用部 品を加算できるこ と。
内張り	頸椎支持部	3,500	
	胸腰仙椎支持部	4,350	
	腰仙椎支持部	3,900	
	仙腸支持部	2,300	
注) <ol style="list-style-type: none"> 体幹装具付属品については、腰部継手を除き、完成用部品を加算することができないこと。 パタフライについては、<u>硬性</u>又はフレームの場合にのみ加えることができること。 			

(エ) 上肢装具

a 継手

名 称	種 類	上限価格 円	備 考
肩継手	A 固定式 (片側)	6,450	固定式継手は、継手のない 支柱を使用する場合にのみ 用いることができること。 遊動式継手は、継手のある 支柱を使用する場合にのみ 用いることができ、固定・ 遊動切替式のものも含まれ ること。
	B 遊動式 (片側)	10,100	
	C 肩回旋装置	22,800	
肘継手 (片側)	A 固定式	4,600	固定式継手は、継手のない 支柱を使用する場合にのみ 用いることができること。 遊動式継手は、継手のある 支柱を使用する場合にのみ 用いることができ、固定・ 遊動切替式のものも含まれ ること。 プラスチック継手は、オの 完成用部品を加えることが できないこと。
	B 遊動式	4,600	
	C プラスチック継手	12,000	

内張り	頸椎支持部	3,300	
	胸椎支持部	4,100	
	腰椎支持部	3,700	
	仙腸支持部	2,200	
注) <ol style="list-style-type: none"> 高さ調整の価格は、1か所当たりのものであり、頸椎装具についてのみ加算することができること。 パタフライについては、<u>モールド</u>又はフレームの場合にのみ加えることができること。 			

(エ) 上肢装具

a 継手

名 称	種 類	価 格 円	備 考
肩継手	A 固定式 (片側)	6,100	(新設)
	B 遊動式 (片側)	9,550	
	C 肩回旋装置	21,500	
肘継手 (片側)	A 固定式	4,350	(新設)
	B 遊動式	4,350	
	C プラスチック継手	11,300	

			鋼線支柱及び完成用部品に指定されているプラスチック製の継手は遊動式とし、片側を1単位とすること。
手継手 (片側)	A 固定式 B 遊動式 C プラスチック継手 (削る)	3,800 7,600 10,600 (削る)	固定式継手は、継手のない支柱を使用する場合にのみ用いることができること。 遊動式継手は、継手のある支柱を使用する場合にのみ用いることができ、固定・遊動切替式のものも含まれること。 プラスチック継手は、オの完成用部品を加えることができないこと。 鋼線支柱及び完成用部品に指定されているプラスチック製の継手は遊動式とし、片側を1単位とすること。
MP継手	A 固定式 B 遊動式	4,650 5,150	固定式継手は、継手のない支柱を使用する場合にのみ用いることができること。 遊動式継手は、継手のある支柱を使用する場合にのみ用いることができ、固定・遊動切替式のものも含まれること。 鋼線支柱は遊動式とすること。
IP継手	A 固定式 1 硬性 2 フレーム B 遊動式 C 鋼線支柱	2,250 2,850 3,850 2,000	固定式継手は、継手のない支柱を使用する場合にのみ用いることができること。 遊動式継手は、継手のある支柱を使用する場合にのみ用いることができ、固定・遊動切替式のものも含まれること。

手継手 (片側)	A 固定式 B 遊動式 C プラスチック継手 D 鋼線支柱	3,600 7,150 10,000 6,750	(新設)
MP継手	A 固定式 B 遊動式	4,400 4,850	(新設)
IP継手	A 固定式 1 金属 (アルミニウム) 2 モールド (熱可塑性樹脂) B 遊動式 C 鋼線支柱	2,700 2,150 3,650 1,900	(新設)

(削る)

b 支持部

名 称	種 類	上限価格 円	備 考
胸郭支持部 (半身)	A 硬性	15,500	
	B フレーム	10,400	
骨盤支持部 (半身)	A 硬性	17,100	
	B フレーム	16,900	
上腕支持部	A 半月 (1か所)	4,300	
	B 皮革等		
	1 カフベルト (1か所)	6,050	カフベルトは、硬性と併用できないこと。
	2 上腕コルセット	9,900	
	C 硬性	9,350	硬性のサンドイッチ構造は、7,400円増しとすること。
前腕支持部	A 半月	4,450	
	B 皮革等 (1か所)		
	1 カフベルト (1か所)	6,150	カフベルトは、硬性と併用できないこと。
	2 前腕コルセット	7,950	
	C 硬性	8,900	硬性のサンドイッチ構造は、7,700円増しとすること。
手部背側 パッド	A 硬性	2,650	
	B フレーム	2,550	
手掌パッド	A 硬性	4,100	
	B フレーム	4,800	

注

- 1 硬性にはベルトの価格が含まれていること。
- 2 支持部について、オの完成用部品を使用する場合は、上限価格の40%の範囲内で算定すること。

注

- 1 固定式継手は、継手のない支柱を使用する場合にのみ用いることができること。
- 2 遊動式継手は、継手のある支柱を使用する場合にのみ用いることができ、固定・遊動切替式のものも含まれること。
- 3 プラスチック継手は、オの完成用部品を加えることができないこと。

b 支持部

名 称	種 類	価 格 円	備 考
胸郭支持部 (半身)	A モールド (熱可塑性樹脂)	14,600	
	B フレーム	9,800	
骨盤支持部 (半身)	A モールド (熱可塑性樹脂)	16,100	
	B フレーム	15,900	
上腕支持部	A 半月	4,050	
	B 皮革等		
	1 カフバンド	5,700	(新設)
	2 上腕コルセット	9,350	
	C モールド (熱可塑性樹脂)	8,800	モールドのサンドイッチ構造は、7,000円増しとすること。
前腕支持部	A 半月	4,200	
	B 皮革等		
	1 カフバンド	5,800	(新設)
	2 前腕コルセット	7,500	
	C モールド (熱可塑性樹脂)	8,400	モールドのサンドイッチ構造は、7,250円増しとすること。
手部背側 パッド	A モールド	2,500	
	B フレーム	2,400	
手掌パッド	A モールド	3,900	
	B フレーム	4,550	

注

- 半月及び皮革の価格は、1か所当たりのものであること。
(新設)

c その他の加算要素

名 称	種 類	上限価格 円	備 考
肘サポーター	支柱付き	16,850	オーダーメイドに限ること。
	支柱なし	10,300	
基節骨パッド	硬性	2,900	(略)
	フレーム	4,250	
中・末節骨パッド	硬性	2,500	(略)
	フレーム	1,950	
対立バー		5,650	
Cバー		4,350	
アウトリガー (1か所)		2,750	
伸展・屈曲補助パネ		2,800	価格は、1本当たりとすること。 輪ゴムを用いる場合は、本数にかかわらず、 300円とすること。
肘当て		3,700	
ターンバックル		6,050	
ダイヤルロック		8,750	
フレクサーヒンジ		50,400	
内張り	上腕部	1,300	硬性の場合に限ること。
	前腕部	1,150	
	手部	1,000	
注)			
(削る)			
1 懸垂帯を使用する場合は、(1)のエの(エ)の義手用ハーネス及び義足懸垂用部品に準ずること。			
2 完成用部品を加算することができないこと。			

オ 完成用部品

完成用部品とは、装具をオーダーメイドにより製作及び完成させるための部品をいい、
部品の名称、使用部品、上限価格等については、別に定めるところによること。

c その他の加算要素

名 称	種 類	価 格 円	備 考
(新設)	(新設) (新設)	(新設) (新設)	(新設)
基節骨パッド	モールド	2,750	(略)
	フレーム	4,000	
中・末節骨パッド	モールド	2,350	(略)
	フレーム	1,850	
対立バー		5,350	
Cバー		4,100	
アウトリガー		2,600	
伸展・屈曲補助パネ		2,650	価格は、1か所当たりとすること。 (新設)
肘当て		3,500	
ターンバックル		5,700	
ダイヤルロック		8,250	
(新設)		(新設)	
内張り	上腕部	1,250	(新設)
	前腕部	1,100	
	手部	970	
注)			
1 肘伸展・屈曲補助パネ又は肘伸展・屈曲補助ゴムを使用する場合は、(ア)の下肢装具に準ずること。			
2 懸垂帯を使用する場合は、(1)のエの(エ)の義手用ハーネス及び義足懸垂用部品に準ずること。			
3 内張りは、モールドの場合に限ること。			

オ 完成用部品

部品の名称、使用部品、価格等については、別に定めるところによること。

カ 耐用年数
(ア) 装具本体

区 分	名 称	型 式	耐用年数 年	備 考	
下肢装具	股装具	(削る)	(削る)	耐用年数以内の破損及び故障に際しては、原則として修理又は調整を行うこと。	
		硬性	3		
		<u>フレーム</u>	<u>3</u>		
	長下肢装具 膝装具	軟性	2		
		(削る)	(削る)		耐用年数とは、通常
		硬性	3		の使用状態において
	短下肢装具	<u>支柱付き</u>	<u>3</u>		当該補装具が修理不
		(削る)	(削る)		能となるまでの予想
		軟性	2		年数を示しているも
		(削る)	(削る)		のであるため、耐用
		(削る)	(削る)		年数を一律に適用し
		(削る)	(削る)		ないこと。
		(削る)	(削る)		
		硬性(支柱あり)	3		
硬性(支柱なし)		1.5			
<u>支柱付き</u>		<u>3</u>			
軟性	2				
(削る)	(削る)				
(削る)	(削る)				
足装具		1.5			
靴型装具			1.5		
体幹装具	<u>頸椎装具</u>	(削る)	(削る)		
		硬性	2		
		<u>フレーム</u>	<u>3</u>		
	<u>胸腰仙椎装具</u>	カラー	2		
		(削る)	(削る)		
		硬性	2		
	<u>腰仙椎装具</u>	<u>フレーム</u>	<u>3</u>		
		軟性	1.5		
		(削る)	(削る)		
	仙腸装具	硬性	2		
		<u>フレーム</u>	<u>3</u>		
		軟性	1.5		
		(削る)	(削る)		
				2	
			3		

カ 耐用年数
(ア) 装具本体

区 分	名 称	型 式	耐用年数 年	備 考	
下肢装具	股装具	<u>金属枠</u>	<u>3</u>	耐用年数以内の破損及び故障に際しては、原則として修理又は調整を行うこと。	
		硬性	3		
		(新設)	(新設)		
	長下肢装具 膝装具	軟性	2		
		(削る)	(削る)		耐用年数とは、通常
		硬性	3		の使用状態において
	短下肢装具	<u>両側支柱</u>	<u>3</u>		当該補装具が修理不
		(新設)	(新設)		能となるまでの予想
		<u>スウェーデン式</u>	<u>2</u>		年数を示しているも
		軟性	2		のであるため、耐用
		<u>両側支柱</u>	<u>3</u>		年数を一律に適用し
		<u>片側支柱</u>	<u>3</u>		ないこと。
		<u>S型支柱</u>	<u>3</u>		
		<u>鋼線支柱</u>	<u>3</u>		
<u>板ばね</u>		<u>3</u>			
硬性(支柱あり)		3			
硬性(支柱なし)	1.5				
(新設)	(新設)				
軟性	2				
<u>ツイスター</u>		2			
軟性	2				
<u>鋼索</u>		3			
鋼索		1.5			
靴型装具			1.5		
体幹装具	<u>頸椎装具</u>	<u>金属枠</u>	<u>3</u>	耐用年数以内の破損及び故障に際しては、原則として修理又は調整を行うこと。	
		硬性	2		
		(新設)	(新設)		
	<u>胸椎装具</u>	カラー	2		
		<u>金属枠</u>	<u>3</u>		
		硬性	2		
	<u>腰椎装具</u>	(新設)	(新設)		
		軟性	1.5		
		<u>金属枠</u>	<u>3</u>		
	仙腸装具	硬性	2		
		(新設)	(新設)		
		軟性	1.5		
		<u>金属枠</u>	<u>3</u>		
					2
			(新設)	(新設)	

	側弯症装具	軟性 骨盤帯 ミルウォーキー型 (削る) 硬性 フレーム 軟性	1.5 2 2 (削る) 1 2 1
上肢装具	肩装具 肘装具	(削る) 硬性 支柱付き 軟性	3 (削る) 3 3 2
	手関節装具 対立装具 (削る) 把持装具 手装具 (削る) 指装具 BFO		3 3 (削る) 3 3 (削る) 3 3

(イ) 完成用部品

材料・部品名	耐用年数 年	備 考
継手類 (削る) (削る) その他の小部品 (消耗品)	1.5 (削る) (削る) 1	耐用年数以内の故障に際しては、原則として小部品の取替えにより修理又は調整を行うこと。

キ 使用年数

年 齢	使用年数	備 考
0 歳 1～2 歳 3～5 歳 6～14 歳	4 月 6 月 10 月 1 年	使用年数は、年齢による児童の特殊性を考慮して定められたものであるが、使用年数以内の故障に際しては、原則として小部品の取替えにより修理又は調整を行うこと。 なお、使用年数については、成長速度や使用環境等も踏まえ、柔軟に対応すること。
15～17 歳	1 年 6 月 (略) 1～3 (略)	

	側弯症装具	軟性 骨盤帯 ミルウォーキー型 金属枠 硬性 (新設) 軟性	1.5 2 2 2 1 (新設) 1
上肢装具	肩装具 肘装具	両側支柱 硬性 (新設) 軟性	3 3 (新設) 2
	手関節背屈保持装具 長対立装具 短対立装具 把持装具 MP 屈曲補助装具 MP 伸展補助装具 指装具 BFO		3 3 3 3 3 3 3 3 3

(イ) 完成用部品

材料・部品名	耐用年数 年	備 考
継手類 手部 足部 その他の小部品 (消耗品)	1.5 1.5 1 1	耐用年数以内の故障に際しては、原則として小部品の取替えにより修理又は調整を行うこと。

キ 使用年数

年 齢	使用年数	備 考
0 歳 1～2 歳 3～5 歳 6～14 歳	4 月 6 月 10 月 1 年	使用年数は、年齢による児童の特殊性を考慮して定められたものであるが、使用年数以内の故障に際しては、原則として小部品の取替えにより修理又は調整を行うこと。 (新設)
15～17 歳	1 年 6 月 (略) 1～3 (略)	

(削る)

(4) 装具（レディメイド）

装具（レディメイド）とは、装具として完成しており、調整を必須としないものをいう。
加工の必要がない部品を組立てる等して完成させるものを含み、軟性装具におけるベルト調整後の固定のための縫製は加工に含まないこと。

価格は、基本価格に本体価格を合算した価格を上限額とし、医師の採型技術料を含まないものであること。

ア 基本価格

採寸及び適合にかかる全ての作業（使用方法の説明及び加工を含む。）についての技術料とする。

身 体 部 位	上限価格 円	備 考
共通	2,500	装具の種類にかかわらず一律の価格とすること。

イ 本体価格

装具（レディメイド）の本体価格は、装具（レディメイド）の製造又は輸入に要する原価に、一般管理販売費等、営業利益及び流通経費を加えた額の範囲内の額とし、一般管理販売費等、営業利益及び流通経費については、別に定める係数を基に算出すること。ただし、本体価格は、完成用部品として指定されているものを除き、オーダーメイドで算定した額の75%の範囲内の額とすること。

ウ 耐用年数及び使用年数

(3)の装具（オーダーメイド）に準ずること。

(5) 姿勢保持装置

姿勢保持装置とは、アの基本工作法により、エ及びオよりそれぞれ必要な要素・部品を組み合わせて製作すること。

価格は、イの身体部位区分に従いウにより算定した基本価格に、エ及びオのそれぞれ使用する要素・部品の価格を合算した額を上限とし、医師の採型技術料を含まないものであること。

備 考

- 1 本表の価格は、医師の採型技術料を含まないものであること。
- 2 耐用年数は、通常の装用状態において、当該材料・部品が修理不能となるまでの予想年数を示したものであること。

(新設)

(4) 座位保持装置

(新設)

定 義	備 考
機能障害の状況に適合させるため、体幹、股関節等を固定するためのパッド等の付属装置を装備し、安定した座位、立位、 ^が 臥位等の保持を可能にする機能を有するもの	

ア 基本工作法

工 程	作 業 の 内 容
(ア) 身体状況の観察と評価	身体変形の状況及び ^{けい} 痙縮、緊張、不随意運動等の観察並びにこれらの特徴の把握並びに姿勢の決定及び使用目的の確認
(イ)～(ケ) (略)	(略)

イ (略)

ウ 基本価格

身 体 部 位	上 限 価 格		備 考
	採 寸	採 型	
頭・頸部	3,550	6,000	
上肢 (片側)	1,750	4,200	
体幹部	15,400	28,500	
骨盤・大腿部	15,400	28,500	
下腿・足部 (片側)	2,050		
注 (略)			

種 目	使用要素・部品及び工作法	価 格	耐用年数	備 考
			年	
座位保持装置	座位保持装置として製作されるものについては、機能障害の状況により、座位に類似した姿勢を保持する機能を有する装置を含むものであること。 アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な要素・部品を組み合わせることで製作すること。 成長、発達及び姿勢保持能力の状況に適合させること。 過度の圧迫等による不快感を生じさせないこと。	イの身体部位区分に従いにより算定した基本価格に、工及びオのそれぞれ使用する要素・部品の価格を合算した価格とすること。	3	耐用年数以内の破損及び故障に際しては、原則として修理又は調整を行うこと。

ア 基本工作法

工 程	作 業 の 内 容
(ア) 身体状況の観察と評価	身体変形の状況及び ^{けい} 痙直、緊張、不随意運動等の観察並びにこれらの特徴の把握並びに姿勢の決定及び使用目的の確認
(イ)～(ケ) (略)	(略)

イ (略)

ウ 基本価格

身 体 部 位	価 格		備 考
	採 寸	採 型	
頭・頸部	3,350	5,600	
上肢 (片側)	1,650	3,950	
体幹部	14,400	26,600	
骨盤・大腿部	14,400	26,600	
下腿・足部 (片側)	1,950		
注 (略)			

エ 製作要素価格
(ア) 支持部

部 位	名 称	上限価格 円	備 考
頭部	頭部支え	9,700	
上肢	上腕支え (片側)	3,750	
	前腕・手部支え (片側)	4,150	
体幹部	平面形状型	7,550	
	モールド型	53,400	(略)
	張り調整型	15,500	
骨盤・大腿部	平面形状型	7,550	
	モールド型	53,400	(略)
	張り調整型	15,500	
下腿部	下腿支え (片側)	2,750	
足部	足台 (片側)	2,800	
注) フレックス構造を持たせる場合は、1か所につき6,700円加算できること。			

(イ) 支持部の連結

名 称	種 類	上限価格 円	備 考
固定	頸部	3,550	
	腰部 (片側)	2,650	
	膝部 (片側)		
	足部 (片側)		
遊動	腰部 (片側)	3,850	
	膝部 (片側)		
	足部 (片側)		
角度調整用部品	機械式	10,000	
	ガス圧式	11,400	
	電動式	77,300	
注) 1～4 (略)			

エ 製作要素価格
(ア) 支持部

部 位	名 称	価 格 円	備 考
頭部	頭部支え	9,050	
上肢	上肢支え (片側)	3,500	
	前腕・手部支え (片側)	3,900	
体幹部	平面形状型	7,050	
	モールド型	49,900	(略)
	シート張り調節型	14,500	
骨盤・大腿部	平面形状型	7,050	
	モールド型	49,900	(略)
	シート張り調節型	14,500	
下腿部	下腿支え (片側)	2,600	
足部	足台 (片側)	2,650	
注) フレックス構造を持たせる場合は、1か所につき6,250円加算できること。			

(イ) 支持部の連結

名 称	種 類	価 格 円	備 考
固定	頸部	3,350	
	腰部 (片側)	2,500	
	膝部 (片側)		
	足部 (片側)		
遊動	腰部 (片側)	3,600	
	膝部 (片側)		
	足部 (片側)		
角度調整用部品	機械式	9,350	
	ガス圧式	10,700	
	電動式	72,200	
注) 1～4 (略)			

(ウ) 構造フレーム

使用材料	上限価格 円	備 考
木材・金属	57,200	
注		
<p>1 ティルト機構を付加する場合は、<u>6,150円</u>加算し、必要数の角度調整用部品を加算できること。</p> <p>2 昇降機構を付加する場合は、<u>8,500円</u>加算し、必要数の角度調整用部品を加算できること。</p> <p>3 完成用部品の構造フレームを使用する場合は、当該完成用部品の価格を<u>上限価格</u>とすること。</p> <p>4 車椅子及び電動車椅子としての機能を付加する場合は、1の(6)及び(7)に定める価格を<u>上限価格</u>とすること。ただし、<u>姿勢保持装置</u>として製作する部分と重複することとなる部分については、3の(6)及び(7)に定める各部位の交換価格の95%に相当する価格とみなし、これを控除すること。また、<u>リクライニング</u>、<u>ティルト</u>、<u>ティルト・リクライニング</u>に限り車椅子及び電動車椅子側の機構を優先することとし、<u>姿勢保持装置側</u>の機構の製作要素加算は行わないこと。</p>		

(エ) 付属品

名 称	種 類	上限価格 円	備 考
カットアウト テーブル	テーブル	<u>21,000</u>	表面クッション張りは <u>4,500円</u> 加算できること。
	テーブル取付部品 (片側)	<u>5,000</u>	
上肢保持部品	アームサポート (片側)	<u>4,500</u>	
	肘パッド (片側)	<u>2,850</u>	
	縦型グリップ (片側)	<u>3,500</u>	
	横型グリップ (片側)		
体幹保持部品	頭頸部パッド	<u>5,050</u>	
	肩パッド (片側)	<u>4,550</u>	
	胸パッド	<u>5,050</u>	
	胸受けロール	<u>6,950</u>	
	体幹パッド (片側)	<u>3,900</u>	
	腰部パッド	<u>4,600</u>	
骨盤保持部品	骨盤パッド (片側)	<u>2,800</u>	
	殿部パッド	<u>4,700</u>	

(ウ) 構造フレーム

使用材料	基本価格 円	備 考
木材・金属	53,400	
注		
<p>1 ティルト機構を付加する場合は、<u>5,750円</u>加算し、必要数の角度調整用部品を加算できること。</p> <p>2 昇降機構を付加する場合は、<u>7,950円</u>加算し、必要数の角度調整用部品を加算できること。</p> <p>3 完成用部品の構造フレームを使用する場合は、当該完成用部品の価格を<u>基本価格</u>とすること。</p> <p>4 車椅子及び電動車椅子としての機能を付加する場合は、1の(5)に定める車椅子及び電動車椅子の価格を<u>基本価格</u>とすること。ただし、<u>座位保持装置</u>として製作する部分と重複することとなる部分については、3の(5)に定める車椅子及び電動車椅子の各部位の交換価格の95%に相当する価格とみなし、これを控除すること。また、<u>リクライニング</u>、<u>ティルト</u>、<u>リクライニング・ティルト</u>に限り車椅子及び電動車椅子側の機構を優先することとし、<u>座位保持装置側</u>の機構の製作要素加算は行わないこと。</p>		

(エ) 付属品

名 称	種 類	価 格 円	備 考
カットアウト テーブル	(新設)	<u>14,000</u>	表面クッション張りは <u>4,200円</u> 加算できること。
	(新設)	(新設)	
上肢保持部品	アームレスト (片側)	<u>4,200</u>	
	肘パッド (片側)	<u>2,700</u>	
	縦型グリップ (片側)	<u>3,300</u>	
	横型グリップ (片側)		
体幹保持部品	(新設)	(新設)	
	肩パッド (片側)	<u>4,250</u>	
	胸パッド	<u>4,750</u>	
	胸受けロール	<u>6,500</u>	
	体幹パッド (片側)	<u>3,650</u>	
	腰部パッド	<u>4,300</u>	
骨盤保持部品	骨盤パッド (片側)	<u>2,650</u>	
	臀部パッド	<u>4,400</u>	

下肢保持部品	内転防止パッド	5,050		
	外転防止パッド (片側)	2,850		
	膝パッド (片側)	4,300		
	下腿保持パッド (片側)			
	足部保持パッド (片側)	3,250		
ベルト部品	肩ベルト (片側)	2,500		
	腕ベルト (片側)	2,100		
	手首ベルト (片側)			
	胸ベルト 骨盤ベルト	4,350		
	股ベルト	4,700		
	大腿ベルト (片側) 膝ベルト (片側) 下腿ベルト (片側) 足首ベルト (片側)	2,350		
支持部カバー	頭部	3,050	脱着式は3,500円加算できること。 防水加工を追加する場合は1台につき、8,100円加算できること。	
	上肢 (片側)	1,650		
	体幹部	平面形状型		3,450
		モールド型		10,300
		張り調整型		4,150
	骨盤・ 大腿部	平面形状型		3,450
		モールド型		10,300
		張り調整型		4,150
	下腿部 (片側)	1,650		
	足部 (片側)	1,650		
内張り	アームサポート (片側)	1,850		
	テーブル	4,500		
体圧分散補助 素材	頭部	4,050		
	上肢 (片側)	2,000		
	体幹部	9,350		

下肢保持部品	内転防止パッド	4,750		
	外転防止パッド (片側)	2,700		
	膝パッド (片側)	4,050		
	下腿保持パッド (片側)			
	足部保持パッド (片側)	3,050		
ベルト部品	肩ベルト (片側)	2,350		
	腕ベルト (片側)	2,000		
	手首ベルト (片側)			
	胸ベルト 骨盤ベルト	4,100		
	股ベルト	4,400		
	大腿ベルト (片側) 膝ベルト (片側) 下腿ベルト (片側) 足首ベルト (片側)	2,200		
支持部カバー	頭部	2,850	脱着式は3,300円加算できること。 (新設)	
	上肢 (片側)	1,550		
	体幹部	平面形状型		3,250
		モールド型		9,700
		シート張り調節型		3,900
	骨盤・ 大腿部	平面形状型		3,250
		モールド型		9,700
		シート張り調節型		3,900
	下腿部 (片側)	1,550		
	足部 (片側)	1,550		
内張り	アームレスト (片側)	1,750		
	テーブル	4,200		
体圧分散補助 素材	頭部	3,800		
	上肢 (片側)	1,900		
	体幹部	8,750		

	骨盤・大腿部	9,350	
	下腿部 (片側) 足部 (片側)	2,000	
キャスト		1,650	多機能キャストは990円加算で できること。
その他	介助用グリップ (片側)	3,250	
	ストッパー	4,750	
	高さ調整用台座	20,500	
注)			
1 (略)			
2 取付けに当たって面ファスナーを使用する場合は、その価格を含むものとする。			

(オ) 調節機構

名称	種 類	上限価格 円	備 考
高さ調節	頭部支持部 体幹支持部 骨盤・大腿支持部	3,450	
	足部支持部 (片側) アームサポート (片側)	2,150	
前後調節	頭部支持部 骨盤・大腿支持部	3,500	
	足部支持部 (片側)	2,100	
角度調節	頭部支持部	4,050	
	テーブル	8,600	
脱着機構	体幹パッド (片側) 骨盤パッド (片側) 膝パッド (片側) アームサポート (片側)	2,700	
	内転防止パッド	7,600	
	アームサポート (片側) 足部支持部 (片側)	2,700	

	骨盤・大腿部	8,750	
	下腿部 (片側) 足部 (片側)	1,900	
キャスト		1,550	多機能キャストは930円加算 できること。
その他	介助用グリップ (片側)	3,050	
	ストッパー	4,450	
	高さ調整用台座	19,200	
注)			
1 (略)			
2 取付けに当たってマジックバンドを使用する場合は、その価格を含むものとする。			

(オ) 調節機構

名称	種 類	価 格 円	備 考
高さ調節	頭部支持部 体幹支持部 骨盤・大腿支持部	3,250	
	足部支持部 (片側) アームレスト (片側)	2,050	
前後調節	頭部支持部 骨盤・大腿支持部	3,300	
	足部支持部 (片側)	2,000	
角度調節	頭部支持部	3,800	
	テーブル	8,050	
脱着機構	体幹パッド (片側) 骨盤パッド (片側) 膝パッド (片側) アームレスト (片側)	2,550	
	内転防止パッド	7,100	
	アームレスト (片側) 足部支持部 (片側)	2,550	

注)

- 1 (略)
- 2 脱着・開閉機構で、蝶番のみや面ファスナーなどの簡便な方法によるものは、加算できないこと。

オ 完成用部品

完成用部品とは、姿勢保持装置をオーダーメイドにより製作及び完成させるための部品をいい、部品の名称、使用部品、上限価格等については、別に定めるところによること。

カ 耐用年数

耐用年数 年	備 考
3	<p>耐用年数以内の破損及び故障に際しては、原則として修理又は調整を行うこと。</p> <p>耐用年数とは、通常の使用状態において当該補装具が修理不能となるまでの予想年数を示しているものであるため、耐用年数を一律に適用しないこと。</p> <p>なお、児童については、成長速度や使用環境等も踏まえ、柔軟に対応すること。</p>

注)

構造フレームに車椅子及び電動車椅子としての機能を付加する場合は、耐用年数を6年とすること。

(削る)

(6) 車椅子

車椅子とは、使用者自身又は介助者が駆動する移動用の車輪付機器であって、JIS T 9201—2016に定める構造を有するもの（パワーアシスト式を除く。）をいい、アの基本工作方法により、ウ及びエよりそれぞれ必要な要素・機構・部品を選択し、組み合わせて製作されたモジュラー式を基本とする。ただし、モジュラー式で対応できない場合はオーダーメイド式とし、アの基本工作方法のうち、(ウ)、(エ)及び(オ)を必要としないものについてはレディメイド式とすること。

価格は、イの基本価格にウの本体価格及び必要に応じてエの加算要素価格を合算した額を上限とし、医師の採型技術料を含まないものであること。

ア 基本工作方法

工 程	作 業 の 内 容
(ア) 身体状況の観察等	身体状況の観察、座位姿勢の評価及び使用目的の確認
(イ) 採寸	製作に必要な採寸、車椅子の装備等についての選択及び記録

注)

- 1 (略)
- 2 脱着・開閉機構で、蝶番のみやマジックバンドなどの簡便な方法によるものは、加算できないこと。

オ 完成用部品

座位保持装置用部品の名称、使用部品、価格等については、別に定めるところによること。

(新設)

備 考

- 1 本表の価格は、医師の採型技術料を含まないものであること。
- 2 耐用年数は、通常の使用状態において、当該装置が修理不能となるまでの予想年数を示したものであること。

(新設)

(ウ) 製作、加工及び組立て	フレーム及び付属品の製作、加工並びに組立て
(エ) 仮合わせ（必要に応じて）	身体への適合並びにフレーム及び付属品の検査及び修正
(オ) 仕上げ	各部品の取付け、仕上げ等
(カ) 適合検査	最終的な身体への適合及び車椅子の各機能の検査

イ 基本価格

身体部位	上限価格 円	備 考
標準（上肢・体幹部・骨盤大腿部・下肢・足部）	17,900	
頭頸部	3,550	ヘッドサポートが必要な場合のみ加えることができること。

注

レディメイド式、2台同時支給及び再支給の場合については、1台当たりの基本価格を上限価格の半額とすること。

ウ 本体価格

名 称	上限価格 円	備 考
自走用	90,000	自らが駆動及び操作して使用することを主目的とした車椅子であること。
介助用	85,000	自らは駆動せず、介助者が操作することを主目的とした車椅子であること。

注

オーダーメイド式は上限価格の125%の範囲内の額とし、レディメイド式は上限価格の75%の範囲内の額とすること。

エ 加算要素価格

(ア) 機構加算

名 称	上限価格 円	備 考
リクライニング機構	30,500	
ティルト機構	61,000	

ティルト・リクライニング機構	88,200
リフト機構	152,400
<p>注</p> <p>リクライニング機構のうち、回転軸が2か所以上設けられている場合で、うち1つが座面の中に設けられているものはティルト・リクライニング機構に準ずること。</p>	

(イ) 構造部品加算

本体部位	名 称	上限価格 円	備 考
基本構造	後方大車輪 (標準)	0	6輪構造とは、駆動輪が4輪構造に比して前方に位置するものとし、単に後方にキャストを取り付けたものは後方大車輪とすること。 幅止めの構造を有する場合は1本当たり6,000円増しとすること。
	前方大車輪	8,800	
	6輪構造	37,700	
シート	スリング式 (標準)	0	奥行調整の構造を有する場合は18,500円増しとすること。 板張り式の構造を有する場合は、付属品の座板を加えることができないこと。
	張り調整式	8,650	
	板張り式	6,800	
バックサポート	スリング式 (標準)	0	ワイドフレームの場合は14,000円、バックサポート延長(頭頸部まで)の場合は10,000円、高さ調整の構造を有する場合は13,100円、背座角度調整の構造を有する場合は17,600円、背折れの構造を有する場合は8,500円増しとすること。
	張り調整式	8,650	
フット・レッグサポート(片側)	固定式 (標準)	0	レッグベルトで全面張りの場合は4,000円増しとすること。
	挙上式	8,550	
	着脱式	6,250	
	開閉着脱式	7,350	
	挙上・開閉着脱式	11,100	

フットサポート	セパレート式 (標準)		0	前後調整、角度調整及び左右調整の各構造を有する場合は各1,600円増しとし、片側を1単位とすること。
	セパレート式 (二重折込式)		4,300	
	中折式		5,000	
アームサポート (片側)	フレーム一体型	固定式 (標準)	0	高さ調整の構造を有する場合は3,600円、角度調整の構造を有する場合は7,650円、アームサポート幅広、アームサポート延長の各構造を有する場合はそれぞれ3,900円増しとし、片側を1単位とすること。
		跳ね上げ式	6,750	
	独立型	着脱式	6,550	
		固定式	5,000	
	跳ね上げ式	6,750		
	着脱式	6,550		
ブレーキ	駐車ブレーキ (標準)		0	介助用ブレーキを加える場合は17,400円、フットブレーキを加える場合は17,300円増しとすること。
駆動輪・主輪	固定式 (標準)		0	車軸位置調整の構造を有する場合は17,500円、キャンバー角度を変更する場合は11,000円増しとすること。 片手駆動の構造を有する場合は37,200円、レバー駆動の構造を有する場合は60,000円増しとすること。
	着脱式		10,800	
タイヤ	エア (標準)		0	
	ノーバンク		9,100	
キャスト	ソリッド (標準)		0	
	衝撃吸収タイプ		15,000	
ハンドリム (片側)	プラスチック (標準)		0	ピッチ30mmを超える場合は5,000円増しとし、片側を1単位とすること。片手駆動の構造を有する場合は3,300円増しとすること。
	ステンレス		6,000	
	アルミ		5,000	
注				
1 名称に「(標準)」と記載のあるものは、本体価格に価格が含まれる標準構造部品であること。				
2 各構造部品はそれぞれの本体部位において他の構造部品と併用加算できないこと。				

(ウ) 付属品

名 称	種 類	上限価格 円	備 考
クッション (カバー付き)	平面形状型 モールド型	14,500 56,500	姿勢保持装置の完成用部品を使用する場合は算定することができないこと。 ゲル素材を使用する場合は9,850円、多層構造又は立体編物を使用する場合は3,000円増しとすること。滑り止め加工を追加する場合は2,050円、防水加工を追加する場合は8,100円増しとすること。
座板		5,000	クッション一体型の場合は3,000円増しとし、クッション (カバー付き) と併用加算できないこと。
背クッション		14,500	滑り止め加工を追加する場合は2,050円増しとすること。
ヘッドサポート	着脱式 (枕含む) マルチタイプ (枕含む) 枕 (オーダーメイド) 枕 (レディメイド)	17,300 29,500 11,200 6,300	着脱式及びマルチタイプはヘッドサポートとして独立した構造を有するものとし、枕をオーダーメイドで製作する場合には4,900円増しとすること (バックサポート一体型には加えることができないこと)。
フットサポート	ヒールループ アングルストラップ ステップカバー	3,600 3,600 4,000	価格は、1個当たりのものであること。
テーブル	テーブル テーブル取付部品 (片側)	11,800 5,000	
転倒防止装置	パイプ キャスタ付き	4,050 6,400	価格は、1個当たりのものであること。 キャスタ付きのうち、折りたたみの構造を有する場合は3,000円増しとし、片側を1単位とすること。

搭載台		32,600	搭載台とは呼吸器搭載台、 ^{たん} 痰吸引機搭載台、携帯用会話補助装置搭載台を含むものであること。 価格は、各搭載台1個当たりのものであること。
車載固定部品		3,250	価格は、1個当たりのものであること。
杖たて	一本杖 多脚つえ	3,250 6,000	
酸素ボンベ固定装置		14,100	
栄養バック取付用ガードル架		11,000	
点滴ポール		11,300	
日よけ		15,000	
雨よけ		15,000	
泥よけ		6,550	
スポークカバー		4,450	
リフレクタ		720	
高さ調整式手押しハンドル		4,250	
ブレーキ	延長レバー	1,750	
ハンドリム	滑り止め ノブ付き	6,000 4,850	価格は、1個当たりのものであること。 ノブ付きのうち、垂直ノブの場合は3,000円増しとし、片側を1単位とすること。
<p>注</p> <p>1 クッションについて、姿勢保持装置の完成用部品を使用する場合は、1の(5)の姿勢保持装置の価格を加えることができること。</p> <p>2 カットアウトテーブル、姿勢保持部品及びベルトが必要な場合は、1の(5)の姿勢保持装置の価格を加えることができること。</p>			

オ 耐用年数

耐用年数 年	備 考
6	耐用年数以内の破損及び故障に際しては、原則として修理又は調整を行うこと。 耐用年数とは、通常の使用状態において当該補装具が修理不能となるまでの予想年数を示しているものであるため、耐用年数を一律に適用しないこと。 なお、児童については、成長速度や使用環境等も踏まえ、柔軟に対応すること。

(7) 電動車椅子

電動車椅子とは、使用者自身が移動のために操作し、動力によって推進する車輪付機器であって、JIS T 9201-2016に定める構造を有するもの（パワーアシスト式に限る。）及びJIS T 9203-2016に定める構造を有するものをいい、アの基本工作法により、ウ及びエよりそれぞれ必要な要素・機構・部品を選択し、組み合わせて製作されたモジュラー式を基本とする。ただし、モジュラー式で対応できない場合はオーダーメイド式とし、アの基本工作法のうち、(ウ)、(エ)及び(オ)を必要としないものについてはレディメイド式とすること。

価格は、イの基本価格にウの本体価格及び必要に応じてエの加算要素価格を合算した額を上限とし、医師の採型技術料を含まないものであること。

(新設)

名 称	定 義	備 考
標準形	JIS T 9203-2016に定める以下の電動車椅子とする。 (低速用) 最高速度4.5km/h以下の電動車椅子 (中速用) 最高速度6.0km/h以下の電動車椅子	
簡易形	車椅子に電動駆動装置又は制御装置を取り付けた簡便な電動車椅子で、使用者が操作して使用する以下のものとする。 (切替式) 電動力行・手動力行を切り替え可能なもの (アシスト式) 駆動人力を電動力で補助することが可能なもの	

ア 基本工作法

工 程	作 業 の 内 容
(ア) 身体状況の観察等	身体状況の観察、座位姿勢の評価及び使用目的の確認

(イ) 採寸	製作に必要な採寸、車椅子の装備等についての選択及び記録
(ウ) 製作、加工及び組立て	フレーム及び付属品の製作、加工並びに組立て
(エ) 仮合わせ（必要に応じて）	身体への適合並びにフレーム及び付属品の検査及び修正
(オ) 仕上げ	各部位の取付け、仕上げ等
(カ) 適合検査	最終的な身体への適合及び車椅子の各機能の検査

イ 基本価格

身 体 部 位	上限価格 円	備 考
標準（上肢・体幹部・骨盤大腿部・下肢・足部）	20,400	
頭頸部	3,550	ヘッドサポートが必要な場合のみ加えることができること。
注 レディメイド式、2台同時支給及び再支給の場合については、1台当たりの基本価格を上限価格の半額とすること。		

ウ 本体価格

名 称	区 分	上限価格 円	備 考
標準形	低速用	486,300	駆動モーター、充電器及び転倒防止装置を含むものであること。 オーダーメイド式は上限価格の125%の範囲内の額とし、レディメイド式は上限価格の75%の範囲内の額とすること。
	中速用	502,300	
簡易形	切替式	393,900	車椅子部分は、1の(6)の車椅子の価格を加えることができること。 駆動モーター、充電器及び転倒防止装置（折りたたみの有無は問わない）を含むものであること。
	アシスト式	412,600	

エ 加算要素価格

(ア) 機構加算

名 称	上限価格 円	備 考
手動リクライニング機構	32,500	標準形にのみ加えることができること。
電動リクライニング機構	134,000	
電動ティルト機構	281,000	
電動ティルト・リクライニング機構	732,400	
電動リフト機構	433,000	

(イ) 構造部品加算

本体部位	名 称	上限価格 円	備 考
操作ボックス	標準操作ボックス(標準)	0	
操作レバー	感度調整ジョイスティック(標準)	0	標準ばねのばね圧を変更した場合は7,950円増しとすること。
スイッチ	標準スイッチ(標準)	0	スイッチ延長の場合は1本当たり1,050円増しとすること。
バッテリ	標準形 シールドバッテリー(標準) リチウムイオンバッテリー	0 62,300	ニッケル水素バッテリーの場合は37,000円減じた額とすること。
	簡易形 リチウムイオンバッテリー(標準)	0	
基本構造	後方大車輪(標準)	0	
シート	板張り式(標準)	0	奥行調整の構造を有する場合は18,500円増しとすること。 板張り式の構造を有する場合は、付属品の座板を加えることができないこと。
	スリング式 張り調整式	4,200 12,900	
バックサポート	スリング式(標準) 張り調整式	0 8,650	ワイドフレームの場合は14,000円、バックサポート延長(頭頸部まで)の場合は10,000円、高さ調整の構造を有する場合は13,100円、背座角度調整の構造を有する場合は17,600円、背折れの構造を有する場合は8,500円増しとすること。

フット・レッグ サポート(片側)	固定式 (標準)		0	レッグベルトで全面張りの場合 は4,000円増しとすること。
	挙上式		8,550	
	着脱式		6,250	
	開閉着脱式		7,350	
	挙上・開閉着脱式		11,100	
フットサポート	セパレート式 (標準)		0	前後調整、角度調整及び左右調 整の各構造を有する場合は各 1,600円増しとし、片側を1単 位とすること。 強度を高めるために、金属製の フットサポートを使用する場合 は15,000円増しとすること。
	セパレート式 (二重折込 式)		4,300	
アームサポート (片側)	フレーム 一体 型	固定式 (標準)	0	高さ調整の構造を有する場合は 3,600円、角度調整の構造を有 する場合は7,650円、アームサ ポート幅広、アームサポート延 長の各構造を有する場合はそれ ぞれ3,900円増しとし、片側を 1単位とすること。
		跳ね上げ式	6,750	
		着脱式	6,550	
	独立型	固定式	5,000	
		跳ね上げ式	6,750	
		着脱式	6,550	
ブレーキ	電動又は電磁ブレーキ (標準)		0	
タイヤ	エア (標準)		0	
	ノーバンク		12,000	
キャスト	エア (標準)		0	
	ノーバンク		12,000	

注

- 1 名称に「(標準)」と記載のあるものは、本体価格に価格が含まれる標準構造部品であること。
- 2 各構造部品はそれぞれの本体部位において他の構造部品と併用加算できないこと。

(ウ) 付属品

名 称	種 類	上限価格 円	備 考
パワーステア リング		54,300	

クライマーセッ ト		19,100	
手動スイング アーム		10,600	
電動チンコント ローラー式	(内訳) パワースイングチン アーム チン操作ボックス セレクタ 液晶モニタ 頭部スイッチ・取付金 具	259,400 72,700 16,200 93,800 55,400 21,300	
手動チンコント ローラー式	(内訳) 手動スイングチンア ーム チン操作ボックス	37,200 21,000 16,200	
多様入力コント ローラ	非常停止スイッチボック ス 4方向スイッチボード 8方向スイッチボード 小型ジョイスティック ボックス フォースセンサ 足用ボックス	51,100 31,900 53,300 42,600 93,800 42,600	
簡易1入力		95,900	
ジョイスティッ クノブ	レバーノブ各種形状(小 ノブ、球ノブ、こけしノ ブ) レバーノブ各種形状(U ノブ、十字ノブ、ペンノ ブ、太長ノブ、T字ノブ、 極小ノブ)	7,500 10,500	
フットサポート	ヒールループ アングルストラップ ステップカバー	3,600 3,600 4,000	価格は、1個当たりのものであ ること。
注	上記のほか、1の(6)のエの(ウ)の付属品を加えることができること。		

オ 耐用年数

耐用年数 年	備 考
6	耐用年数以内の破損及び故障に際しては、原則として修理又は調整を行うこと。 耐用年数とは、通常の使用状態において当該補装具が修理不能となるまでの予想年数を示しているものであるため、耐用年数を一律に適用しないこと。 なお、児童については、成長速度や使用環境等も踏まえ、柔軟に対応すること。

(8) その他

種目	名 称	定 義	付属品	上限価格 円	耐用 年数 年	備 考
視覚障害 者安全つ え	障害物を探知するために使用するもので、シャフトを白色又は黄色に塗装若しくは加工したもので、普通用、携帯用、身体支持併用に分類される。					
	普通用	携帯用、身体支持併用以外のもの 主体一繊維複合材料 (削る)	夜光装置 ベル ゴムグリップ	4,200	2	1 夜光装置 (1) 夜光材付とした場合は 460 円増しとすること。 (2) 全面夜光材付とした場合は 1,400 円増しとすること。 (3) フラッシュライト付とした場合は 860 円増しとすること。
		(削る)				
		(削る)				
		主体一木材 (削る)	上と同じ。	2,700		
	主体一軽金属 (削る)	上と同じ。	2,800	5		
	携帯用	折りたたみ又はスライド等により鞆等に収納して持ち運びができるもの 主体一繊維複合材料	上と同じ。	5,200	2	

(5) その他

種目	名 称	基本構造	付属品	価 格 円	耐用 年数 年	備 考
視覚障害 者安全つ え	(新設)					
	普通用	(新設) 主体一繊維複合材料 石突一耐摩耗性合成樹脂又は高力アルミニウム合金 外装一白色又は黄色の塗装若しくは加工 形状一直式	夜光装置 ベル ゴムグリップ	3,550	2	1 夜光装置 (1) 夜光材付とした場合は 410 円増しとすること。 (2) 全面夜光材付とした場合は 1,200 円増しとすること。 (3) フラッシュライト付とした場合は 1,650 円増しとすること。
		主体一木材 その他は上と同じ。	上と同じ。	1,650		
		主体一軽金属 その他は上と同じ。	上と同じ。	2,200	5	
	携帯用	(新設) 主体一繊維複合材料	上と同じ。	4,400	2	

		(削る)				2 ベル付とした場合は450円増しとすること。
		(削る)				3 主体木材でポリカーボネート樹脂被覆付とした場合は1,650円増しとすること。
		主体一木材 (削る)	上と同じ。	3,400		
		主体一軽金属 (削る)	上と同じ。	3,300	4	
	身体支持 併用	1本の脚部と1つの握り部からなり、前腕支持部がないもので、身体の支持やバランス保持の目的を含むもの	上と同じ。	4,600	4	4 ゴムグリップ付とした場合は750円増しとすること。
義眼	欠失した眼球の一部又は全部の外観を整え、眼窩等の形態を保持するために装着する人工の眼をいう。					
	レディメイド	虹彩や強膜の色、サイズ等が統一された既製のもの		17,900	2	
	オーダーメイド	採型等により、健常眼に合わせて、形状、色等を細密に合わせて製作されるもの		86,900		
眼鏡	矯正用	屈折異常を矯正する目的で、眼球に接触せずに、レンズ等を眼の前方に掛ける構造を有するもの	6D未満	16,900	4	上限価格はレンズ2枚1組のものとし、枠を含むものであること。乱視を含む場合は片眼又は両眼にかかわらず、4,350円増しとすること。
			6D以上10D未満	20,200		
			10D以上20D未満	24,000		
			20D以上	24,000		

		石突及び外装一普通用と同じ。				2 ベル付とした場合は1,650円増しとすること。
		形状一折たたみ式若しくはスライド式。				3 主体木材でポリカーボネート樹脂被覆付とした場合は1,450円増しとすること。
		主体一木材 その他は上と同じ。	上と同じ。	3,700		
		主体一軽金属 その他は上と同じ。	上と同じ。	3,550	4	
	身体支持 併用	主体一軽金属 石突一ゴム又は普通用と同じ。 外装一普通用と同じ。 形状一直式又は折りたたみ式若しくはスライド式。	上と同じ。	3,800	4	4 ゴムグリップ付とした場合は660円増しとすること。
義眼	(新設)					
	レディメイド	主材料一プラスチック又はガラス既製品		17,000	2	
	オーダーメイド	主材料一上と同じ。 特殊加工を施したものの。		82,500		
眼鏡	矯正用	レンズ一プラスチック又はガラス	6D未満	17,600	4	価格はレンズ2枚1組のものとし、枠を含むものであること。乱視を含む場合は片眼又は両眼にかかわらず、4,200円増しとすること。
			6D以上10D未満	20,200		
			10D以上20D未満	24,000		
			20D以上	24,000		

						遮光用としての機能が必要な場合は、 <u>31,200円</u> とすること。
遮光用	差明を軽減する目的で、可視光のうちの一部の透過を抑制するものであって、分光透過率曲線が公表されているもの	前掛式 掛けめがね式	<u>22,400</u> <u>31,200</u>			上限価格はレンズ2枚1組のものとし、枠を含むものであること。
コンタクトレンズ	屈折異常を矯正し、又は差明を軽減する目的で、角膜の表面に装着して使用するもの		<u>13,000</u>	<u>2</u>	上限価格はレンズ1枚のものであること。 多段階レンズについては、 <u>7,150円</u> 、虹彩付レンズについては、 <u>5,150円</u> 増しとすること。	
弱視用	対象物の眼への入射角を拡大(又は縮小)して見る器械で、通常、焦点非結像系の光学系を持つもの。 眼鏡フレームに固定された「掛けめがね式」と手に持って使用する「焦点調整式」の2種類がある。 A <u>掛けめがね式</u> B <u>焦点調整式</u>		<u>A</u> <u>38,200</u> <u>B</u> <u>18,600</u>	<u>4</u>	高倍率(3倍率以上)の主鏡を必要とする場合は、焦点調整式の上 限価格の範囲内で必要な額を加算すること。	

						遮光用としての機能が必要な場合は、 <u>30,000円</u> とすること。 (新設)
遮光用	主材料は上と同じ。	前掛式 掛けめがね式	<u>21,500</u> <u>30,000</u>			
コンタクトレンズ	主材料—プラスチック		<u>15,400</u>			(新設) 価格はレンズ1枚のものであること。 (新設)
弱視用	(新設)					(新設) 高倍率(3倍率以上)の主鏡を必要とする場合は、 <u>21,800円</u> 増しとする。
	掛けめがね式		<u>36,700</u>			
	焦点調整式		<u>17,900</u>			

補聴器	高度難聴用ポケット型	次のいずれかを満たすもの ① JIS C 5512—2000による。 90デシベル最大出力音圧のピーク値の表示値が140デシベル未満のもの。 90デシベル最大出力音圧のピーク値が125デシベル以上に及ぶ場合は出力制限装置を付けること。 ② JIS C 5512—2015による。 90デシベル入力最大出力音圧レベルの最大値（ピーク）の公称値が130デシベル未満のもの。 90デシベル入力最大出力音圧レベルの最大値（ピーク）の公称値が120デシベル以上に及ぶ場合は出力制限装置をつけること。	電池 イヤモールド	44,000	5	上限価格は電池、骨導レシーバー又はヘッドバンドを含むものであること。ただし、電池については補聴器購入時のみの付属品であり、修理による支給は認められないこと。 身体の障害の状況により、イヤモールドを必要とする場合は、修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を加算すること。 ダンパー入りフックとした場合は、250円増しとすること。 平面レンズを必要とする場合は、修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を、また、
	高度難聴用耳かけ型			46,400		
	重度難聴用ポケット型	次のいずれかを満たすもの ① JIS C 5512—2000による90デシベル最大出力音圧のピーク値の表示値が140デシベル以上のもの。その他は高度難聴用ポケット型及	電池 イヤモールド	59,000		
	重度難聴用耳かけ型			71,200		
補聴器	高度難聴用ポケット型	次のいずれかを満たすもの。 ① JIS C 5512—2000による。 90デシベル最大出力音圧のピーク値の表示値が140デシベル未満のもの。 90デシベル最大出力音圧のピーク値が125デシベル以上に及ぶ場合は出力制限装置を付けること。 ② JIS C 5512—2015による。 90デシベル入力最大出力音圧レベルの最大値（ピーク）の公称値が130デシベル未満のもの。 90デシベル入力最大出力音圧レベルの最大値（ピーク）の公称値が120デシベル以上に及ぶ場合は出力制限装置をつけること。	電池 イヤモールド	41,600	5	価格は電池、骨導レシーバー又はヘッドバンドを含むものであること。身体の障害の状況により、イヤモールドを必要とする場合は、修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を加算すること。 ダンパー入りフックとした場合は、240円増しとすること。 平面レンズを必要とする場合は、修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を、また、矯正用レンズ又は遮光矯正用レンズを必要とする場合は、眼鏡の修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で
	高度難聴用耳かけ型			43,900		
	重度難聴用ポケット型	次のいずれかを満たすもの。 ① JIS C 5512—2000による90デシベル最大出力音圧のピーク値の表示値が140デシベル以上のもの。その他は高度難聴用ポケット	電池 イヤモールド	55,800		
	重度難聴用耳かけ型			67,300		

		び高度難聴用耳かけ型の①に準ずる。 ② JIS C 5512—2015による90デシベル入力最大出力音圧レベルの最大値（ピーク）の公称値が130デシベル以上のもの。その他は高度難聴用ポケット型及び高度難聴用耳かけ型の②に準ずる。				矯正用レンズ又は遮光矯正用レンズを必要とする場合は、眼鏡の修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を加算すること。重度難聴用耳かけ型で受信機、オーディオシュー、ワイヤレスマイクを必要とする場合は、修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を加算すること。デジタル式補聴器で、補聴器の装用に關し専門的な知識・技能を有する者による調整が必要な場合は、2,000円を加算すること。
	耳あな型（レディメイド）	高度難聴用ポケット型及び高度難聴用耳かけ型に準ずる。ただし、オーダーメイドの出力制限装置は内蔵型を含むこと。	電池 イヤモールド	92,000		
	耳あな型（オーダーメイド）		電池	144,900		
	骨導式ポケット型	IEC 60118 — 9 (1985) による。90デシベル最大フォースレベルの表示値が110デシベル以上のもの。	電池 骨導レシーバーヘッドバンド	74,100		
	骨導式眼鏡型		電池 平面レンズ	126,900		
(削る)	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)

		型及び高度難聴用耳かけ型の①に準ずる。 ② JIS C 5512—2015による90デシベル入力最大出力音圧レベルの最大値（ピーク）の公称値が130デシベル以上のもの。その他は高度難聴用ポケット型及び高度難聴用耳かけ型の②に準ずる。				必要な額を加算すること。重度難聴用耳かけ型で受信機、オーディオシュー、ワイヤレスマイクを必要とする場合は、修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を加算すること。デジタル式補聴器で、補聴器の装用に關し専門的な知識・技能を有する者による調整が必要な場合は、2,000円を加算すること。	
	耳あな型（レディメイド）	高度難聴用ポケット型及び高度難聴用耳かけ型に準ずる。ただし、オーダーメイドの出力制限装置は内蔵型を含むこと。	電池 イヤモールド	87,000			
	耳あな型（オーダーメイド）		電池	137,000			
	骨導式ポケット型	IEC 60118 — 9 (1985) による。90デシベル最大フォースレベルの表示値が110デシベル以上のもの。	電池 骨導レシーバーヘッドバンド	70,100			
	骨導式眼鏡型		電池 平面レンズ	120,000			
	車椅子	普通型	原則として折りたたみ式で大車輪が後方にあるもの。 JIS T 9201—2006 又はJIS T 9201—2016による。	身体の障害の状況により、クッション、その他の付属品を必要とする場合は、修理基準の表に掲	100,000	6	価格は、オーダーメイドによる製品及びモジュール方式による製品（モジュールを組み立てることにより製作でき、完成

(削る)	(削る)	(削る)	(削る)
(削る)	(削る)	(削る)	(削る)
(削る)	(削る)	(削る)	(削る)
(削る)	(削る)	(削る)	(削る)
(削る)	(削る)	(削る)	(削る)
(削る)	(削る)	(削る)	(削る)

		げるものを 付属品とす る。	
リクライ ニング式 普通型	バックサポートの角 度を変えることがで きるもの。その他は 普通型と同じ。	上と同じ。	120,000
ティルト 式普通型	座席とバックサポー トが一定の角度を維 持した状態で角度を 変えることができる もの。その他は普通 型と同じ。	上と同じ。	148,000
リクライ ニング・ ティルト 式普通型	バックサポートの角 度を変えることがで き、座席とバックサ ポートが一定の角度 を維持した状態で角 度を変えることがで きるもの。その他は 普通型と同じ。	上と同じ。	173,000
手動リフ ト式普通 型	座席の高さを変える ことができるもの。 その他は普通型と同 じ。	上と同じ。	232,000
前方大車 輪型	原則として折りたた み式で前方に大車輪 のあるもの。	上と同じ。	100,000
リクライ ニング式 前方大車 輪型	バックサポートの角 度を変えることがで きるもの。その他は 前方大車輪型と同 じ。	上と同じ。	120,000
片手駆動 型	原則として折りたた み式で片側にハンド リムを二重に装着し て、片側上肢障害者 等が使用できるも の。	上と同じ。	117,000

後の微調整機能
を有するもの。
。)に適用する
ものとし、レ
ディメイドに
よる製品につ
いては、価格
欄の額の75
%の範囲内の
額とすること。
褥瘡^{じよくそう}のある
者、褥瘡^{じよくそう}の
発生^{じふく}の危険性
のある者等が
クッションを
必要とする場
合は、修理基
準の表に掲げ
るクッション
等の額の範囲
内で必要な
額を加算する
こと。
体幹筋力の低
下等により、
座位保持装置
の完成用部品
(支持4部(骨
盤・大腿部))
をクッション
として用いる
必要がある場
合には、別に
定めるところ
によるものを
加算すること。
身体^{しんたい}の障害
の状況により、
その他の付属
品を必要とす

(削る)	(削る)	(削る)	(削る)
(削る)	(削る)	(削る)	(削る)
(削る)	(削る)	(削る)	(削る) (削る) (削る) (削る)
(削る)	(削る)	(削る)	(削る)
(削る)	(削る)	(削る)	(削る)
(削る)	(削る)	(削る)	(削る)

リクライニング式片手駆動型	バックサポートの角度を変えることができるもの。その他は片手駆動型と同じ。	上と同じ。	133,600	る場合は、修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を加算すること。
レバー駆動型	レバー1本で駆動操舵ができ、片側上肢障害者等が使用できるもの。	上と同じ。	160,500	
手押し型	原則として介助者が押して駆動するもの。(折りたたみ式又は非折りたたみ式) A 大車輪のあるもの B 小車輪だけのもの	上と同じ。	A 82,700 B 81,000	
リクライニング式手押し型	バックサポートの角度を変えることができるもの。その他は手押し型Aと同じ。	上と同じ。	114,000	
ティルト式手押し型	座席とバックサポートが一定の角度を維持した状態で角度を変えることができるもの。その他は手押し型Aと同じ。	上と同じ。	128,000	
リクライニング・ティルト式手押し型	バックサポートの角度を変えることができ、座席とバックサポートが一定の角度を維持した状態で角度を変えることができるもの。その他は手押し型Aと同じ。	上と同じ。	153,000	

(削る)	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)
	(削る)			(削る)		
(削る)	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)
(削る)	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)
(削る)	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)

電動車椅子	普通型 (4.5km/h)	JIS T 9203—2006、JIS T 9203—2010又はJIS T 9203—2016による。	外部充電器 バッテリー 身体の障害 の状況によ り、クッ ション、そ の他の付属 品を必要と する場 合は、修理基 準の表に掲 げるものを 付属品とす る。	314,000	6	<p>じやくそう 褥瘡のある 者、褥瘡の発 生の危険性 のある者等 がクッション を必要とする 場合は、車椅子 の修理基準の 表に掲げる クッション等 及びクッショ ンカバーの交 換の額の範囲 内で必要な額 を加算するこ と。</p> <p>体幹筋力の低 下等により、 座位保持装置 の完成用部品 (支持部(骨 盤・大腿部)) をクッション として用いる 必要がある場 合には、別に 定めるところ によるものを 加算するこ と。</p> <p>外部充電器を 必要とせず当 該機能を内蔵 する場合は 30,000円を、 外部充電器を 必要とする場 合は修理基準</p>
	普通型 (6 km/h)			329,000		
	簡易型	車椅子に電動駆動装置や制御装置を取り付けた簡便なもの。 A 切替式 電動力行・手動力行を切り替え可能なもの。 B アシスト式 駆動人力を電動力で補助することが可能なもの。 その他は車椅子の普通型に準ずる。	電動装置以外の車椅子部分は購入基準に掲げる額の範囲内で必要な額を加算すること。 外部充電器バッテリー電動装置以外は、車椅子の普通型に準ずる。	A 157,500 B 212,500		
	リクライニング式普通型	バックサポートの角度を変えられることができるもの。その他は普通型と同じ。	普通型と同じ。	343,500		
電動リクライニング式普通型	電気でバックサポートの角度を変えられることができるもの。その他は普通型と同じ。	上と同じ。	444,400			

	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)		
	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)		
	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)		
座位保持椅子		機能障害の状況に適合させるため、体幹、股関節等を固定するためのパッド等を装備し、座位を保持することを可能にする機能を有する椅子で、車載用のものも含むこと。		26,100	3	児童に限る。机上用の盤を取り付ける場合は6,000円増しとすること。座面に軟性の内張りを付した場合は

	電動リフト式普通型	電気で座席の高さを変えることができるもの。その他は普通型と同じ。	上と同じ。	725,100		の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を加算すること。
	電動ティルト式普通型	電気で座席とバックサポートが一定の角度を維持した状態で角度を変えることができるもの。その他は普通型と同じ。	上と同じ	582,600		バッテリーの価格は、修理基準の表に掲げるバッテリー交換（マイコン内蔵型に係るものを含む。）の額の範囲内で必要な額を加算すること。また、ACサーボモーター式を必要とする場合は20,000円増しとすること。
	電動リクライニング・ティルト式普通型	電気でバックサポートの角度を変えることができ、座席とバックサポートが一定の角度を維持した状態で角度を変えることができるもの。その他は普通型と同じ。	上と同じ。	1,016,100		身体の障害の状況により、その他の付属品を必要とする場合は、電動車椅子の修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を加算すること。
座位保持椅子		機能障害の状況に適合させること。 主材料—木材 アルミニウム管 スポンジ又はウレタン 人工皮革又は布製のカバー		24,300	3	障害児に限る。机上用の盤を取り付ける場合は5,600円増しとすること。座面に軟性の内張りを付し

						5,350円増しとすること。 車載用のものは、オーダーメイド又はレディメイドにかかわらず、43,800円増しとすること。
起立保持具		下肢及び上肢、体幹の発達を補助する目的で、立位姿勢を保持するもの		31,700	3	児童に限る。
歩行器	JIS T 9264—2012又はJIS T 9265—2019による。					
	六輪型	前二輪、中二輪、後二輪の六輪車とし、前輪を自在車輪とすること。		70,000	5	
	四輪型（腰掛付）	前二輪、後二輪の四輪車とし、前輪を自在車輪とすること。		43,900		腰掛付とは、休息用のシートが付いたものをいう。
	四輪型（腰掛なし）	上と同じ。		43,900		サドル（歩行中に体重を支える座）・テーブル付きのもの又はスリング・胸郭支持具若しくは骨盤支持具付きのものは67,700円増しとすること。後方支持型のもの23,300円増しとすること。
	三輪型	前一輪、後二輪の三輪車とし、前輪を自在車輪とすること。		37,700		

		外装—ニス塗装				た場合は5,000円増しとすること。車載用のものは40,700円増しとすること。
起立保持具		機能障害の状況に適合させること。 箱形とすること。 主材料—木材 外装—ニス塗装		27,400	3	障害児に限る。
歩行器	(新設)					
	六輪型	前二輪、中二輪、後二輪の六輪車とし、前輪を自在車輪とすること。		63,100	5	
	四輪型（腰掛つき）	前二輪、後二輪の四輪車とし、前輪を自在車輪とすること。		39,600		(新設)
	四輪型（腰掛なし）	上と同じ。		39,600		サドル・テーブル付きのもの又は胸郭支持具若しくは骨盤支持具付きのものは61,000円増しとすること。後方支持型のもの21,000円増しとすること。
	三輪型	前一輪、後二輪の三輪車とし、前輪を自在車輪とすること。		34,000		

	二輪型	前二輪、後固定式の脚を有すること。		<u>29,900</u>		
	固定型	四脚を有し、使用時に持ち上げて移動させるもの		<u>24,400</u>		
	交互型	四脚を有し、両二脚を交互に移動させるもの		<u>33,300</u>		
頭部保持具		座位保持椅子等に装着して用いるもので、頭部を固定する機能を有するもの		<u>7,550</u>	3	児童に限る。
排便補助具		排便を補助するものであって、パッド等を装着することにより、又は背もたれ及び腰掛を有する椅子状のものであることにより、座位を保持しつつ、排便をすることを可能にする機能を有するもので、持ち運びが可能なものに限ること。		10,000	2	児童に限る。
歩行補助つえ	松葉づえ	1本の脚部と脇当て及び2本の側弓の間に一つの握り部を有するもの 主体一木材（十分な強度を有するもの） (削る) (削る) A 普通型 B 伸縮型	夜光材	A <u>3,800</u> B <u>3,800</u>	2	夜光材付とした場合は、 <u>470円</u> （全面夜光材付とした場合1,350円）増しとすること。 価格は1本当たりのものであること。 外装に白色又は黄色ラッカーを使用した場合は <u>300円</u> 増しとすること。

	二輪型	前二輪、後固定式の脚を有すること。		<u>27,000</u>		
	固定型	四脚を有し、使用時に持ち上げて移動させるもの。		<u>22,000</u>		
	交互型	四脚を有し、両二脚を交互に移動させるもの。		<u>30,000</u>		
頭部保持具		座位保持椅子等に装着して用いるもので、頭部を固定する機能を有するもの。		<u>7,100</u>	3	障害児に限る。
排便補助具		普通便所で排便が困難な場合に用い、座位排便が容易となるよう機能障害の状況に適合させること。 主材料一木材 外装一ベンキ塗装		10,000	2	障害児に限る。
歩行補助つえ	松葉づえ	(新設) 主体一木材（十分な強度を有するもの） 脇当ースポンジ又はウレタン製の枕 皮革、人工皮革又は布製のカバー 外装一ニス塗装 A 普通型 B 伸縮型	夜光材	A <u>3,300</u> B <u>3,300</u>	2	夜光材付とした場合は、 <u>410円</u> （全面夜光材付とした場合1,200円）増しとすること。 価格は1本当たりのものであること。 外装に白色又は黄色ラッカーを使用した場合は <u>260円</u> 増しとすること。

	1本の脚部と脇当て及び2本の側弓の間に一つの握り部を有するもの 主体—軽金属 (削る) (削る) (削る) A 普通型 B 伸縮型		A 4,600 B 5,150	4
カナディアン・クラッチ	1本の脚部と一つの握り部、上腕カフ及び肘当てを有するもの	夜光材	10,000	4
ロフストランド・クラッチ	1本の脚部と一つの握り部、前腕カフを有するもの	夜光材	10,000	4
多脚つえ	3本以上の脚と握りとを有するもの JIS T 9267—2020による。	夜光材	7,600	4
プラットホーム杖	1本の脚部と一つの特殊な形の握り部、水平の前腕支持部を有するもの	夜光材	27,600	4

	(新設) 主体—軽金属 脇当—合成軟質樹脂 握り部分—合成軟質樹脂 外装—塗装なし A 普通型 B 伸縮型		A 4,000 B 4,500	4
カナディアン・クラッチ	主体—アルミニウム、鋼管 上部4段間隔以上、下部9段間隔以上の調節装置を付けるものとする。 腕支持器—アルミニウム铸件及びステンレス鋼板 握り部分—アルミニウム铸件及びゴム 外装—塗装なし	夜光材	8,700	4
ロフストランド・クラッチ	カナディアン・クラッチに準ずる。	夜光材	8,700	4
多脚つえ	つえの下部に三本以上の脚を有するもの。 JIS T 9267—2020による。	夜光材	6,600	4
プラットホーム杖	カナディアン・クラッチに準ずる。	夜光材	24,000	4

重度障害者用意思伝達装置	文字等走査入力方式	意思伝達機能を有するソフトウェアが組み込まれた専用機器であること。文字盤又はシンボル等の選択による意思の表示等の機能を有する <u>簡易なもの</u>	プリンタ（必要に応じて）身体の障害の状況により、その他の付属品を必要とする場合は、修理基準の表に掲げるものを付属品とする。	152,700	5	プリンタを必要としない場合は、15,000円減じた額とすること。（略）	重度障害者用意思伝達装置	文字等走査入力方式	意思伝達機能を有するソフトウェアが組み込まれた専用機器であること。文字盤又はシンボル等の選択による意思の表示等の機能を有する <u>簡易なもの</u> 。	プリンタ（必要に応じて）身体の障害の状況により、その他の付属品を必要とする場合は、修理基準の表に掲げるものを付属品とする。	143,000	5	プリンタを必要としない場合は、15,000円減じた価格とすること。（略）
		簡易な環境制御機能が付加されたもの	プリンタ（必要に応じて）身体の障害の状況により、その他の付属品を必要とする場合は、修理基準の表に掲げるものを付属品とする。	203,900					簡易な環境制御機能が付加されたもの	上と同じ。	191,000		
		高度な環境制御機能が付加されたもの	遠隔制御装置プリンタ（必要に応じて）身体の障害の状況により、その他の付属品を必要とする場合は、修理基準の表に掲げるものを付属品とする。	480,600					高度な環境制御機能が付加されたもの	遠隔制御装置その他は上と同じ。	450,000		

		通信機能が付加されたもの	プリンタ (必要に応じて) 身体 の障害の状 況により、 その他の付 属品を必要 とする場合 は、修理基 準の表に掲 げるものを 付属品とす る。		
生体現象 方式	生体信号の検出装置 及び解析装置	身体の障害 の状況によ り、付属品 を必要とす る場合は、 修理基準の 表に掲げる ものを付属 品とする。	480,600		

備考

- 1 本表の上限価格は、医師の採型技術料を含まないものであること。
- 2 耐用年数とは、通常の使用状態において当該補装具が修理不能となるまでの予想年数を示しているものであるため、耐用年数を一律に適用しないこと。

2 借受け基準

(1) 義肢、装具及び姿勢保持装置の完成用部品

義手用部品、義足用部品、装具用部品及び姿勢保持装置用部品の基準額については、当該完成用部品の耐用年数の3分の2を償却期間として設定し、別に定める上限価格を当該償却期間の月数で除した額を一月あたりの基準額とすること。

(2) その他

種目	名 称	定 義	付属品	上限価格 円	備 考
座位保持椅子		機能障害の状況に適合させるため、体幹、股関節等を固定するためのパッド等を装備し、座位を保持す		1,050	児童に限る。 机上用の盤を取り付ける場合は、250円

		通信機能が付加されたもの	上と同じ。		
生体現象 方式	生体信号の検出装置 及び解析装置	プリンタ及 び遠隔制御 装置を除き 上と同じ。	450,000		

備 考

- 1 本表の価格は、医師の採型技術料を含まないものであること。
- 2 耐用年数は、通常の装用状態において、当該補装具が修理不能となるまでの予想年数を示したものであること。

2 借受け基準

(1) 義肢、装具及び座位保持装置の完成用部品

義手用部品、義足用部品、装具用部品及び座位保持装置用部品の基準額については、当該完成用部品の耐用年数の3分の2を償却期間として設定し、別に定める価格を当該償却期間の月数で除した額を一月あたりの基準額とすること。

(2) その他

種目	名 称	基本構造	付属品	価 格 円	備 考
座位保持椅子		機能障害の状況に適合させること。 主材料—木材 アルミニウム管		1,010	障害児に限る。 机上用の盤を取り付ける場合は、170円

		<u>ることを可能にする機能を有する椅子で、車載用のものも含むこと。</u>			増しとすること。 座面に軟性の内張りを付した場合は、 <u>220円増しとすること。</u> <u>車載用のものは、オーダーメイド又はレディメイドにかかわらず、1,800円増しとすること。</u>
歩行器	<u>JIS T 9264—2012又はJIS T 9265—2019による。</u>				
	六輪型	前二輪、中二輪、後二輪の六輪車とし、前輪を自在車輪とすること。		<u>1,750</u>	
	<u>四輪型（腰掛付）</u>	前二輪、後二輪の四輪車とし、前輪を自在車輪とすること。		<u>1,050</u>	<u>腰掛付きとは、休息用のシートが付いたものをいう。</u>
	<u>四輪型（腰掛なし）</u>	上と同じ。		<u>1,050</u>	<u>サドル（歩行中に体重を支える座）・テーブル付きのもの又はスリング・胸郭支持具若しくは骨盤支持具付きのものは、1,650円増しとすること。</u>

		<u>スポンジ又はウレタン人工皮革又は布製のカバー</u> <u>外装—ニス塗装</u>			増しとすること。 座面に軟性の内張りを付した場合は、 <u>120円増しとすること。</u> <u>車載用のものは840円増しとすること。</u>
歩行器	<u>（新設）</u>				
	六輪型	前二輪、中二輪、後二輪の六輪車とし、前輪を自在車輪とすること。		<u>1,570</u>	
	<u>四輪型（腰掛け付き）</u>	前二輪、後二輪の四輪車とし、前輪を自在車輪とすること。		<u>990</u>	<u>（新設）</u>
	<u>四輪型（腰掛けなし）</u>	上と同じ。		<u>990</u>	<u>サドル・テーブル付きのもの又は胸郭支持具若しくは骨盤支持具付きのものは、1,520円増しとすること。</u>

					後方支持型のものは、 <u>580円増し</u> とすること。
	三輪型	前一輪、後二輪の三輪車とし、前輪を自在車輪とすること。		<u>940</u>	
	二輪型	前二輪、後固定式の脚を有すること。		<u>740</u>	
	固定型	四脚を有し、使用時に持ち上げて <u>移動させるもの</u>		<u>610</u>	
	交互型	四脚を有し、両二脚を交互に <u>移動させるもの</u>		<u>830</u>	
<u>重度障害者用意思伝達装置</u>	文字等走査入力方式	意思伝達機能を有するソフトウェアが組み込まれた専用機器であること。文字盤又はシンボル等の選択による意思の表示等の機能を有する <u>簡易なもの</u>	プリンタ (必要に応じて) 身体の障害の状況により、その他の付属品を必要とする場合は、修理基準の表に掲げるものを付属品とする。	<u>3,800</u>	プリンタを必要としない場合は、 <u>370円減じた額とすること。</u> ひらがな等の文字綴り選択による文章の表示や発声、要求項目やシンボル等の選択による伝言の表示や発声等を行うソフトウェアが組み込まれた専用機器及びプリンタ（必要に応じて）により構成されたものであること。
			<u>プリンタ（必要に応じて）</u> <u>身体の障害の状況により、その他の付属品を必要とする場合は、修</u>	<u>5,050</u>	

					後方支持型のものは、 <u>520円増し</u> とすること。
	三輪型	前一輪、後二輪の三輪車とし、前輪を自在車輪とすること。		<u>850</u>	
	二輪型	前二輪、後固定式の脚を有すること。		<u>670</u>	
	固定型	四脚を有し、使用時に持ち上げて <u>移動させるもの。</u>		<u>550</u>	
	交互型	四脚を有し、両二脚を交互に <u>移動させるもの。</u>		<u>750</u>	
<u>重度障害者用意思伝達装置</u>	文字等走査入力方式	意思伝達機能を有するソフトウェアが組み込まれた専用機器であること。文字盤又はシンボル等の選択による意思の表示等の機能を有する <u>簡易なもの。</u>	プリンタ (必要に応じて) 身体の障害の状況により、その他の付属品を必要とする場合は、修理基準の表に掲げるものを付属品とする。	<u>3,570</u>	プリンタを必要としない場合は、 <u>370円減じた価格とすること。</u> ひらがな等の文字綴り選択による文章の表示や発声、要求項目やシンボル等の選択による伝言の表示や発声等を行うソフトウェアが組み込まれた専用機器及びプリンタ（必要に応じて）により構成されたものであること。
			<u>上と同じ。</u>	<u>4,770</u>	

		<u>理基準の表に掲げるものを付属品とする。</u>		
	<u>高度な環境制御機能が付加されたもの</u>	<u>遠隔制御装置 プリンタ (必要に応じて) 身体の障害の状況により、その他の付属品を必要とする場合は、修理基準の表に掲げるものを付属品とする。</u>	<u>12,000</u>	簡易な環境制御機能が付加されたものとは、1つの機器操作に関する要求項目を、インタフェースを通して機器に送信することで、当該機器を自ら操作できるソフトウェアをハードウェアに組み込んでいるものであること。 高度な環境制御機能が付加されたものとは、複数の機器操作に関する要求項目を、インタフェースを通して機器に送信することで、当該機器を自ら操作することができるソフトウェアをハードウェアに組み込んでいるものであること。
	<u>通信機能が付加されたもの</u>	<u>プリンタ (必要に応じて) 身体の障害の状況により、その他の付属品を必要とする場合は、修理基準の表に掲げるものを付属品とする。</u>		
生体現象方式	生体信号の検出装置及び解析装置	<u>身体の障害の状況により、付属品を必要とす</u>	<u>12,000</u>	

	<u>高度な環境制御機能が付加されたもの</u>	<u>遠隔制御装置 その他は上と同じ。</u>	<u>11,250</u>	簡易な環境制御機能が付加されたものとは、1つの機器操作に関する要求項目を、インタフェースを通して機器に送信することで、当該機器を自ら操作できるソフトウェアをハードウェアに組み込んでいるものであること。 高度な環境制御機能が付加されたものとは、複数の機器操作に関する要求項目を、インタフェースを通して機器に送信することで、当該機器を自ら操作できるソフトウェアをハードウェアに組み込んでいるものであること。
	<u>通信機能が付加されたもの</u>	<u>遠隔制御装置 その他は上と同じ。</u>		
生体現象方式	生体信号の検出装置及び解析装置	<u>プリンタ及び遠隔制御装置を除き上と同じ。</u>	<u>11,250</u>	

				る場合は、 <u>修理基準の表に掲げるものを付属品とする。</u>	通信機能が付加されたものとは、文章表示欄が多く、定型句、各種設定等の機能が豊富な特徴を持ち、生成した伝言を、メール等を用いて、遠隔地の相手に対して伝達することができる専用ソフトウェアをハードウェアに組み込んでいるものであること。 生体现象方式とは、生体现象（脳波や脳の血液量等）を利用して「はい・いいえ」を判定するものであること。
--	--	--	--	--------------------------------------	--

備考

本表の上限価格は、医師の採型技術料を含まないものであること。

3 修理基準

(1) 義肢一般構造義肢

修理項目	上限価格
ア ソケットの交換	<u>ソケットを新たに製作する場合は、1の(1)の購入基準に準ずることとし、ソケットを複製する場合は、1の(1)のイの採型区分ごとの複製価格にソケットの上限価格を加算した額をもって修理価格の上限額とすること。ソケットの交換に伴い、ソフトインサート及び支持部の交換が必要な場合は、それぞれの修理項目の上限価格を加算することができること。</u>

					通信機能が付加されたものとは、文章表示欄が多く、定型句、各種設定等の機能が豊富な特徴を持ち、生成した伝言を、メール等を用いて、遠隔地の相手に対して伝達することができる専用ソフトウェアをハードウェアに組み込んでいるものであること。 生体现象方式とは、生体现象（脳波や脳の血液量等）を利用して「はい・いいえ」を判定するものであること。
--	--	--	--	--	--

備考

1 本表の価格は、医師の採型技術料を含まないものであること。

3 修理基準

(1) 義肢一般構造義肢

修理項目	価格
ア ソケットの交換	<u>1の(1)のイの採型区分ごとの基本価格又は複製価格にソケットの価格を加算した額をもって修理価格とすること。</u>

イ ソフトインサートの交換	ソケットの交換に伴ってソフトインサートを交換する場合は、1の(1)のエの(イ)のソフトインサートの上限価格をもって修理価格の上限額とし、ソフトインサートを単独で交換する場合は、ソフトインサートの交換の上限価格をもって修理価格の上限額とすること。
ウ 支持部の交換	交換した支持部ごとの1の(1)のエの(ウ)の上限価格をもって修理価格の上限額とすること。
エ 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品の交換	交換した義手用ハーネス及び義足懸垂用部品の上限価格をもって修理価格の上限額とすること。
オ 外装の更新	外装の更新の上限価格をもって修理価格の上限額とすること。
カ 完成用部品の交換	3の(1)のカに掲げる上限価格に、1の(1)のオに掲げる額を加算した額をもって修理価格の上限額とすること。ただし、外付けバッテリー、バッテリーボックス、リストユニット又は充電器の交換の場合には、1の(1)のオに掲げる額をもって修理価格の上限額とすること。
キ ソケットの調整	断端の変化に対しソケットを調整した場合に8,000円をもって修理価格の上限額とすること。
注 1・2 (略)	

ア ソケットの交換

ソケットを新たに製作する場合は、1の(1)のウの基本価格に1の(1)のエの(ア)のソケットの上限価格を加算した額をもって修理価格の上限額とし、ソケットを複製する場合は、1の(1)のイの採型区分ごとの複製価格に1の(1)のエの(ア)のソケットの上限価格を加算した額をもって修理価格の上限額とすること。ただし、節電電極が必要な電動義手において完成用部品に掲げられた筋電電極の交換を伴わない場合は、ダミー用部品価格として5,600円増しとすること。

(ア) 複製価格

名称	採型区分	型式	上限価格	備 考
			円	
義手用	A-1	(削る)	(削る)	全ての型式において、肩甲胸郭間切断用は、 <u>15,000円増しとすること。</u>
		(削る)	(削る)	
		能動式	37,200	
		電動式	63,900	
		その他	27,400	

イ ソフトインサートの交換	1の(1)のイの採型区分ごとのソケットの交換により付随する価格又は単独の場合の価格をもって修理価格とすること。
ウ 支持部の交換	交換した支持部の価格をもって修理価格とすること。
エ 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品の交換	交換した義手用ハーネス及び義足懸垂用部品の価格をもって修理価格とすること。
オ 外装の交換	交換した外装の価格をもって修理価格とすること。
カ 完成用部品の交換	3の(1)のカに掲げる基本価格に、1の(1)のオに掲げる額を加算した額をもって修理価格とすること。ただし、外付けバッテリー、バッテリーボックス、リストユニット又は充電器の交換の場合には、1の(1)のオに掲げる額をもって修理価格とすること。
キ ソケットの調整	断端の変化に対しソケットを調整した場合に7,600円をもって修理価格とすること。
注 1・2 (略)	

ア ソケットの交換
(新設)

(ア) 基本価格及び複製価格

名称	採型区分	型式	価 格		備 考
			円		
			基本価格	複製価格	
義手用	A-1	装飾用	41,400	25,900	肩甲胸郭間切断用は、 <u>14,200円増しとすること。</u>
		作業用	41,400	25,900	
		能動式	53,200	35,200	
		電動式	91,100	60,400	
		(新設)	(新設)	(新設)	

	A-2	(削る) (削る) 能動式 電動式 その他	(削る) (削る) 34,800 59,200 31,100	全ての型式において、吸着式は、29,600円増しとすること。
	A-3	(削る) (削る) 能動式 電動式 その他	(削る) (削る) 32,000 53,900 28,200	全ての型式において、吸着式は、29,600円増しとすること。
	A-4	(削る) (削る) 能動式 電動式 その他	(削る) (削る) 27,700 47,900 25,100	全ての型式において、顆上懸垂式は、14,800円増しとすること。 スプリットソケットは、22,200円増しとすること。
	A-5	能動式 電動式 その他	27,100 46,800 22,700	
	A-6	能動式 電動式 その他	13,800 25,700 8,650	
義足用	B-1	(削る) (削る)	205,100 (削る)	片側骨盤切断用は、20,100円増しとすること。
	B-2	差込式 ライナー式 吸着式	48,000 76,500 77,800	短断端切断用キップシャフトは、57,200円増しとすること。 坐骨収納型ソケットは、53,200円増しとすること。
	B-3	差込式 ライナー式 吸着式	46,700 69,100 70,400	大腿支柱付きは、27,200円増しとすること。
	B-4	差込式 PTB式 PTS式 KBM式 TSB式	42,500 46,200 56,000 56,000 46,200	大腿支柱付きは、27,200円増しとすること。

	A-2	装飾用 作業用 能動式 電動式 (新設)	44,000 44,000 50,700 84,600 (新設)	29,400 29,400 32,900 56,000 (新設)	吸着式は、28,000円増しとすること。
	A-3	装飾用 作業用 能動式 電動式 (新設)	41,600 41,600 46,900 77,100 (新設)	26,700 26,700 30,300 51,000 (新設)	吸着式は、28,000円増しとすること。
	A-4	装飾用 作業用 能動式 電動式 (新設)	42,800 42,800 44,400 68,500 (新設)	23,800 23,800 26,200 45,300 (新設)	顆上懸垂式は、14,000円増しとすること。 スプリットソケットは、21,000円増しとすること。
	A-5	(新設) 電動式 (新設)	(新設) 67,100 (新設)	(新設) 44,300 (新設)	
	A-6	(新設) 電動式 (新設)	(新設) 36,800 (新設)	(新設) 24,300 (新設)	
義足用	B-1	受皿式 カナダ式	113,100 113,100	65,300 65,300	片側骨盤切断用は、19,000円増しとすること。
	B-2	差込式 ライナー式 吸着式	74,800 121,100 167,500	45,400 72,400 73,600	短断端切断用キップシャフトは、54,100円増しとすること。 坐骨収納型ソケットは、58,700円増しとすること。
	B-3	差込式 ライナー式 吸着式	74,800 95,900 142,300	44,200 65,400 66,600	
	B-4	差込式 PTB式 PTS式 KBM式 TSB式	60,700 84,600 100,900 103,700 84,600	40,200 43,700 53,000 53,000 43,700	大腿支柱付きは、25,800円増しとすること。

注

- 1 (略)
- 2 チェックソケット加算はできないこと。

(削る)

(削る)

(イ) ソケットの価格

1の(1)のエの(ア)のソケットに準じ、ソケットの上限価格をもって修理価格の上限額とすること。必要に応じて完成用部品を加えることができること。

(削る)

注

- 1 (略)
- 2 ソフトインサートのシリコン又は完成用部品のライナーを使用して仮合わせ専用のチェックソケットを用いる場合の基本価格に限り、47,900円加算できること。
- 3 坐骨収納型ソケットを除く吸着式、顎上懸垂式、スプリットソケットのチェックソケットの材料に透明プラスチックを使用した場合は、8,250円加算できること。その他については、製作工程にチェックソケットを用いた場合であって、透明プラスチックを材料とした場合に限り、同様に加算できること。なお、上記2との併用加算はできないこと。
- 4 陽性モデルの製作を必要としないダイレクトソケットシステムについては、基本価格に40%を乗じた価格を上限額とし、チェックソケットは使用できないこと。また、ソケットの製作要素価格においては、いかなる加算もできないこと。

(イ) ソケットの価格

(新設)

名 称	採型区分	使用材料	価 格 円	備 考	
義手用	A-1	アルミニウム、セルロイド	11,700		
		皮革	9,550		
		熱硬化性樹脂	21,400		
		熱硬化性樹脂 (電動式)	21,900		
		熱可塑性樹脂	5,450		
		熱可塑性樹脂 (電動式)	6,000		
		A-2	アルミニウム、セルロイド		10,300
		皮革	12,600		
		熱硬化性樹脂	14,700		
		熱硬化性樹脂 (電動式)	15,200		
熱可塑性樹脂	7,100				
熱可塑性樹脂 (電動式)	7,550				
A-3	アルミニウム、セルロイド	10,300			

		皮革 熱硬化性樹脂 熱硬化性樹脂 (電動式) 熱可塑性樹脂 熱可塑性樹脂 (電動式)	<u>13,600</u> <u>14,700</u> <u>15,200</u> <u>5,050</u> <u>5,550</u>	
	A-4	アルミニウム、セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱硬化性樹脂 (電動式) 熱可塑性樹脂 熱可塑性樹脂 (電動式)	<u>9,100</u> <u>12,400</u> <u>14,400</u> <u>14,800</u> <u>4,950</u> <u>5,450</u>	
	A-5	熱硬化性樹脂 熱硬化性樹脂 (電動式) 熱可塑性樹脂 (電動式)	<u>13,700</u> <u>14,100</u> <u>7,600</u>	
	A-6	熱硬化性樹脂 熱硬化性樹脂 (電動式) 熱可塑性樹脂 (電動式)	<u>11,100</u> <u>11,500</u> <u>7,350</u>	
義足用	B-1	アルミニウム、セルロイド 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>23,100</u> <u>37,900</u> <u>15,900</u>	
	B-2	木製 アルミニウム、セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>51,600</u> <u>15,400</u> <u>20,200</u> <u>29,400</u> <u>17,300</u>	エアクションソケットは、 <u>16,300円</u> 増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>17,900円</u> 増しとすること。

イ ソフトインサートの交換

名 称	採型区分	使用材料	価 格		備 考
			上限価格 円		
義手用	A-1	皮革	13,000		
		軟性発泡樹脂	17,400		
		皮革・軟性発泡樹脂	21,400		
	A-2	皮革	11,700		
		軟性発泡樹脂	16,700		
		皮革・軟性発泡樹脂	18,600		
	A-3	皮革	11,700		
		軟性発泡樹脂	16,500		
		皮革・軟性発泡樹脂	18,500		

B-3	アルミニウム、セルロイド	15,700	エアクションソケットは、16,300円増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボントックネットを用い樹脂注型を行う場合は、17,600円増しとすること。
	皮革	26,000	
	熱硬化性樹脂	43,500	
	熱可塑性樹脂	19,700	
B-4	アルミニウム、セルロイド	12,300	エアクションソケットは、14,800円増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボントックネットを用い樹脂注型を行う場合は、6,950円増しとすること。
	皮革	18,300	
	熱硬化性樹脂	26,600	
	熱可塑性樹脂	13,900	

注

電動義手における筋電電極の交換を伴わないソケット交換の場合には、4,400円増しとすること。

イ ソフトインサートの交換

名 称	採型区分	使用材料	価 格		備 考
			ソケット交換に付随する場合	単独の場合	
義手用	A-1	皮革	4,700	12,300	
		軟性発泡樹脂	4,800	16,500	
		皮革・軟性発泡樹脂	8,100	20,300	
	A-2	皮革	4,150	11,100	
		軟性発泡樹脂	4,650	15,800	
		皮革・軟性発泡樹脂	7,750	17,600	
	A-3	皮革	4,150	11,100	
		軟性発泡樹脂	4,650	15,600	
		皮革・軟性発泡樹脂	7,750	17,500	

	A-4	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>10,700</u> <u>15,400</u> <u>17,600</u>	
	A-5	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>11,200</u> <u>16,600</u> <u>19,100</u>	
義足用	B-1	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>15,600</u> <u>22,700</u> <u>26,500</u>	
	B-2	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>14,100</u> <u>22,700</u> <u>26,100</u> <u>17,700</u> <u>46,500</u>	
	B-3	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>12,800</u> <u>22,000</u> <u>26,400</u> <u>18,800</u> <u>50,100</u>	
	B-4	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>11,700</u> <u>17,500</u> <u>19,100</u> <u>16,200</u> <u>40,000</u>	
	B-5	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>10,700</u> <u>17,900</u> <u>19,200</u>	
	B-6	皮革 (削る) 軟性発泡樹脂	<u>9,050</u> (削る) <u>15,800</u>	下腿部支持式については、6,550円増しとすること。

	A-4	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,050</u> <u>4,650</u> <u>7,500</u>	<u>10,200</u> <u>14,600</u> <u>16,700</u>
	A-5	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,050</u> <u>4,650</u> <u>7,500</u>	<u>10,600</u> <u>15,700</u> <u>18,100</u>
義足用	B-1	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>7,000</u> <u>5,300</u> <u>10,600</u>	<u>14,800</u> <u>21,500</u> <u>25,100</u>
	B-2	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>5,400</u> <u>4,950</u> <u>7,000</u> <u>9,700</u> <u>44,000</u>	<u>13,400</u> <u>21,500</u> <u>24,700</u> <u>16,800</u> <u>44,000</u>
	B-3	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>6,050</u> <u>5,100</u> <u>9,650</u> <u>10,700</u> <u>47,400</u>	<u>12,100</u> <u>20,800</u> <u>25,000</u> <u>17,800</u> <u>47,400</u>
	B-4	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>4,450</u> <u>4,750</u> <u>7,200</u> <u>8,350</u> <u>37,900</u>	<u>11,100</u> <u>16,600</u> <u>18,100</u> <u>15,400</u> <u>37,900</u>
	B-5	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,700</u> <u>7,600</u> <u>8,250</u>	<u>10,200</u> <u>17,000</u> <u>18,200</u>
	B-6	皮革 皮革(下腿部支持式) 軟性発泡樹脂	<u>3,000</u> <u>4,700</u> <u>3,400</u>	<u>8,600</u> <u>10,200</u> <u>15,000</u>

	(削る)	(削る)	
	皮革・軟性発泡樹脂 (削る)	17,600 (削る)	
B-7	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	7,600 14,300 16,100	

注

- 1 軟性発泡樹脂とは、PEライト等のスポンジ材であること。
- 2 (略)

ウ 支持部の交換

1の(1)のエの(ウ)の支持部に準じ、支持部の上限価格をもって修理価格の上限額とすること。必要に応じて完成用部品を加えることができること。

(削る)

		軟性発泡樹脂 (下腿部支持式)	7,600	17,000
		皮革・軟性発泡樹脂	6,000	16,700
		皮革・軟性発泡樹脂 (下腿部支持式)	8,250	18,200
B-7	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	2,300 2,700 4,650	7,200 13,600 15,300	

注

- 1 軟性発泡樹脂とは、PEライト及びスポンジであること。
- 2 (略)

ウ 支持部の交換
(新設)

名称	型式	部位	使用材料	価格 円	備考
義用手	装飾用 能動式 作業用	肩部		9,000	
		上腕部	アルミニウム、セルロイド 熱硬化性樹脂	8,050 24,900	
			前腕部	アルミニウム、セルロイド 熱硬化性樹脂	10,300 20,600
	作業用 (幹部 使用)	上腕部		8,050	肩義用手用及び上腕義用手用 に幹部を使用する場合に限ること。
		前腕部		10,300	前腕義用手用に幹部を使用 する場合に限ること。
	電動式	肩部	熱硬化性樹脂	10,900	
上腕部		熱硬化性樹脂	30,800		
前腕部		熱硬化性樹脂	25,300		
手部		熱硬化性樹脂	25,300		

エ 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品並びに断端袋の交換

区 分	交 換 部 品	作業上限価格 円	備 考
義手用 ハーネ ス	一式交換 (削る) (削る)	4,950 (削る) (削る)	義手用ハーネスの修理価格は、交換 部品ごとに1の(1)のエの(エ)に掲げる 額を加算したものを上限額とするこ

義足用	常用作 業用	股部		10,800	
		大腿部	木製	33,900	
			アルミニウム、セ ルロイド	32,400	
	熱硬化性樹脂		33,900		
	下腿部	木製	33,300		
		アルミニウム、セ ルロイド	29,900		
熱硬化性樹脂		33,300			
足部	軟性発泡樹脂	15,200			
作業用 (鉄脚 使用)	大腿部		62,900	股義足用及び大腿義足用に鉄 脚を使用する場合に限ること。	
	下腿部		29,900	下腿義足用に鉄脚を使用する 場合に限ること。	

注

- 果義足用、足根中足義足用及び足指義足用の場合に限り、足部を加えることができること。
- 義手用及び義足用の支持部そのものが外装となる場合は、支持部に外装を加えることができること。
- 肩義手で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は上腕部との接続のために修正を行う場合は、9,400円増しとすること。
- 股義足で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は股継手の土台を積層するために大幅な修正を行う場合は、11,100円増しとすること。
- 熱可塑性樹脂については、セルロイドに準ずること。
- 支持部の長さ及び高さ修正を行う場合は、支持部の修理部位の使用材料の額をもって修理価格とすること。ただし、外装を行う場合は、外装交換の額を加算することができること。
- ブロック継手交換は、支持部の修理部位の使用材料の額をもって修理価格とすること。ただし、外装を行う場合は、外装交換の額を加算することができること。
- ソケット交換を行う場合は、取り外す部位の使用材料の額を加算することができること。

エ 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品の交換

区 分	交 換 部 品	基本価格 円	備 考
義手用 ハーネ ス	一式交換 美錠縮革交換 美錠留革交換	4,700 1,800 1,900	(新設)

	(削る) (削る) 上腕カフ (三頭筋パッド) 交換 その他の交換	(削る) (削る) 3,500 1,900	と。ただし、1の(1)のエの(エ)に掲げられていないものの修理は、作業上限価格をもって修理価格の上限額とすること。
義足懸垂用部品	一式交換 肩吊り帯交換 (削る) (削る) 腰バンド交換 横吊り帯交換 (削る) (削る) (削る) 義足用股吊り帯交換 (1本) その他の交換	4,950 4,800 (削る) (削る) 3,850 4,050 (削る) (削る) (削る) 2,050 2,900	義足懸垂用部品の修理価格は、交換部品ごとに1の(1)のエの(エ)に掲げる額を加算したものを上限額とすること。ただし、1の(1)のエの(エ)に掲げられていないものの修理は、作業上限価格をもって修理価格とすること。
断端袋	上腕用 前腕用 大腿用 下腿用	3,350 3,550 5,600 5,900	年間上限額であるため、特性、数量にかかわらず、当該額の範囲で一括支給することができること。
	(削る)		

オ 外装の更新

名 称	外装部位	使用材料等	上限価格 円	備 考
義手用	肩部	皮革	7,550	
		プラスチック	21,200	
		塗装	4,400	
	上腕部	皮革	8,100	
		プラスチック	21,200	
		塗装	4,400	
前腕部	皮革	8,100		
	プラスチック	17,100		
	塗装	4,400		

	たわみ式肘継手交換 前方支持バンド交換 上腕カフ (三頭筋パッド) (新設)	1,750 1,750 3,350 (新設)	
義足懸垂用部品	一式交換 肩吊り帯交換 義足用股吊り帯交換 位置革交換 腰バンド交換 横吊り帯交換 美錠締革交換 美錠留革交換 金具部品交換 (新設) (新設)	4,700 4,550 1,950 3,200 3,650 3,850 2,600 2,300 3,000 (新設) (新設)	価格は、1本当たりのものであること。 価格は、1か所当たりのものであること。
(新設)	(新設) (新設) (新設) (新設)	(新設) (新設) (新設) (新設)	(新設)
注			
1 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品の交換の価格は、基本価格に、使用部品ごとに1の(1)のエの(エ)に掲げる額を加算したものとすること。ただし、1の(1)のエの(エ)に掲げられていないものの修理は、基本価格をもって修理価格とすること。			
2 金具部品交換の基本価格は、美錠等金具部品の価格を含むものであること。			

オ 外装の交換

名 称	外装部位	使用材料等	価 格 円	備 考
義手用	肩部	皮革	7,150	
		プラスチック	20,100	
		塗 装	4,200	
	上腕部	皮革	7,700	
		プラスチック	20,100	
		塗装	4,200	
前腕部	皮革	7,700		
	プラスチック	16,200		
	塗装	4,200		

義足用	股部	皮革	11,200	リアルソックスは、完成用部品を加えることができること。
		プラスチック	20,500	
		塗装	5,000	
	大腿部	皮革	9,000	
		プラスチック	20,500	
		塗装	5,000	
	下腿部	皮革	9,800	
		プラスチック	18,300	
		塗装	5,000	
	足部	表革	7,600	
		裏革	6,150	
		塗装	6,250	
リアルソックス		2,400		

カ 完成用部品の交換

ここに掲げる価格は作業にかかる価格であること。完成用部品を加えることができること。

(ア) アライメント調整を必要とするもの

名 称	交 換 部 品	作業上限価格 円	備 考
義手用	肩継手部品	17,800	
	肘継手部品	10,600	
	手継手部品	4,050	
義足用	股継手部品	20,800	
	膝継手部品	18,000	
	足継手部品	4,050	
	(削る)	(削る)	
溶接		10,500	(略)

注

- 1 継手のうち支柱の交換は、右又は左の一侧を1単位とすること。
- 2 ブロック継手を交換する場合で、アライメント調整が必要な場合は、ウの支持部の交換を加えることができること。

(イ) アライメント調整を必要としないもの

名 称	交 換 部 品	作業上限価格 円	備 考
義手用	肩義手部品	4,950	
	肘ブロック継手部品	6,650	
	肘ヒンジ継手部品	3,750	

義足用	股部	皮革	10,600	リアルソックスは、完成用部品を加えることができること。
		プラスチック	19,400	
		塗装	4,750	
	大腿部	皮革	8,550	
		プラスチック	19,400	
		塗装	4,750	
	下腿部	皮革	9,300	
		プラスチック	17,300	
		塗装	4,750	
	足部	表革	7,200	
		裏革	5,850	
		塗装	5,950	
リアルソックス		2,300		

カ 完成用部品の交換

(新設)

(ア) アライメント調整を必要とするもの

名 称	交 換 部 品	基本価格 円	備 考
義手用	肩継手部品	16,900	
	肘継手部品	10,100	
	手継手部品	3,850	
義足用	股継手部品	19,700	
	膝継手部品	17,100	
	足継手部品	3,850	
	前留金具部品	9,800	
溶接		10,000	(略)

注

- 1 筋金交換は、右又は左の一侧を1単位とすること。
- 2 ブロック継手交換は、ウの支持部交換に定めるところによるものとする。

(イ) アライメント調整を必要としないもの

名 称	交 換 部 品	基本価格 円	備 考
義手用	肩義手部品	4,700	
	肘ブロック継手部品	6,300	
	肘筋金部品	3,550	

	手継手部品	3,650	
	手先具部品	3,000	
	コントロールケーブル部品	3,150	
	電極部品	1,250	
	接続ケーブル部品	1,250	
義足用	股継手部品 (削る)	5,150 (削る)	
	膝継手部品	3,000	
	足部部品	3,250	
	作業用スプリング	2,000	
	作業用足部裏ゴム	2,900	
	吸着式バルブ (削る)	6,300 (削る)	
溶接		2,150	(略)
注)			
1 (略)			
2 部品交換の <u>上限価格</u> に、外装の額を加算することができないものとする。			

(2) 義肢—骨格構造義肢

修 理 項 目	上 限 価 格
ア ソケットの交換	<u>ソケットを新たに製作する場合は、1の(2)の購入基準に準ずることとし、ソケットを複製する場合は、1の(2)のイの採型区分ごとの複製価格にソケットの上限価格を加算した額をもって修理価格の上限額とすること。ソケットの交換に伴い、ソフトインサート及び支持部の交換が必要な場合は、それぞれの修理項目の上限価格を加算することができる。</u>
イ ソフトインサートの交換	<u>ソケットの交換に伴ってソフトインサートを交換する場合は、1の(2)のエの(イ)のソフトインサートの上限価格をもって修理価格の上限額とし、ソフトインサートを単独で交換する場合は、ソフトインサートの交換の上限価格をもって修理価格の上限額とすること。</u>
ウ 支持部の交換	<u>交換した支持部ごとの1の(2)のエの(ウ)の上限価格をもって修理価格の上限額とすること。</u>
エ 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品の交換	<u>交換した義手用ハーネス及び義足懸垂用部品の上限価格をもって修理価格の上限額とすること。</u>

	手継手部品	3,450	
	手先具部品	2,850	
	コントロールケーブル部品	3,000	
	電極部品	1,200	
	接続ケーブル部品	1,200	
義足用	股継手部品	4,900	
	膝ブロック部品	6,500	
	膝筋金部品	2,850	
	足部部品	3,100	
	作業用スプリング	1,900	
	作業用足部裏ゴム	2,750	
	吸着式バルブ	6,000	
	前留金具部品	4,200	
溶接		2,050	(略)
注)			
1 (略)			
2 部品交換の <u>基本価格</u> に、外装の額を加算することができないものとする。			

(2) 義肢—骨格構造義肢

修 理 項 目	価 格
ア ソケットの交換	<u>1の(2)のイの採型区分ごとの基本価格又は複製価格にソケットの価格を加算した額をもって修理価格とすること。</u>
イ ソフトインサートの交換	<u>1の(2)のイの採型区分ごとのソケットの交換により付随する価格又は単独の場合の価格をもって修理価格とすること。</u>
ウ 支持部の交換	<u>交換した支持部の価格をもって修理価格とすること。</u>
エ 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品の交換	<u>交換した義手用ハーネス及び義足懸垂用部品の価格をもって修理価格とすること。</u>

オ 外装の交換	外装の交換の上限価格をもって修理価格の上限額とすること。
カ 完成用部品の交換	使用部品ごとに1の(2)のオに掲げる額に、2,900円を加算した額をもって修理価格の上限額とすること。ただし、ストックネット、吸着バルブ、懸垂ベルト、KBMウェッジ、ライナーロックアダプタ、ライナー、ラミネーションポスト、エアコンタクトキット及びエアパイロンポンプの交換の場合には、1の(2)のオに掲げる額をもって修理価格の上限額とすること。
キ ソケットの調整	断端の変化に対しソケットを調整した場合に8,000円をもって修理価格の上限額とすること。
注) 1～3 (略)	

ア ソケットの交換

ソケットを新たに製作する場合は、1の(2)のウの基本価格に1の(2)のエの(ア)のソケットの上限価格を加算した額をもって修理価格の上限額とし、ソケットを複製する場合は、1の(2)のイの採型区分ごとの複製価格に1の(2)のエの(ア)のソケットの上限価格を加算した額をもって修理価格の上限額とすること。ただし、筋電電極が必要な電動義手において完成用部品に掲げられた筋電電極の交換を伴わない場合は、ダミー用部品価格として5,600円増しとすること。

(ア) 複製価格

名 称	採型区分	型 式	上限価格 円	備 考
	A-2	(削る) 能動式 その他	(削る) 34,800 31,100	全ての型式において、吸着式は、29,600円増しとすること。
	A-3	(削る) 能動式 その他	(削る) 32,000 28,200	全ての型式において、吸着式は、29,600円増しとすること。
	A-4	能動式 その他	27,700 25,100	全ての型式において、顎上懸垂式は、14,800円増しとすること。 スプリットソケットは、22,200円増しとすること。

オ 外装の交換	交換した外装の価格に、1の(2)のオに掲げる額を加算した額をもって修理価格とすること。
カ 完成用部品の交換	使用部品ごとに1の(2)のオに掲げる額に、2,750円を加算した額をもって修理価格とすること。ただし、ストックネット、吸着バルブ、懸垂ベルト、KBMウェッジ、断端袋、ライナーロックアダプタ、ライナー、ラミネーションポスト、エアコンタクトキット及びエアパイロンポンプの交換の場合には、1の(2)のオに掲げる額をもって修理価格とすること。
キ ソケットの調整	断端の変化に対しソケットを調整した場合に7,600円をもって修理価格とすること。
注) 1～3 (略)	

ア ソケットの交換
(新設)

(ア) 基本価格及び複製価格

名 称	採型区分	型 式	価 格 円		備 考
			基本価格	複製価格	
義手用	A-1	装飾用 (新設) (新設)	41,400 (新設) (新設)	25,900 (新設) (新設)	肩甲胸郭間切断用は、14,200円増しとすること。
	A-2	装飾用 (新設) (新設)	44,000 (新設) (新設)	29,400 (新設) (新設)	吸着式は、28,000円増しとすること。
	A-3	装飾用 (新設) (新設) (新設) (新設)	42,800 (新設) (新設) (新設)	23,800 (新設) (新設) (新設)	顎上懸垂式は、14,000円増しとすること。 スプリットソケットは、21,000円増しとすること。

義足用	B-1	(削る)	205,100	片側骨盤切断用は、20,100円増しとすること。
	B-2	差込式 ライナー式	48,000	短断端切断用キップシャフトは、57,200円増しとすること。 坐骨収納型ソケットは、53,200円増しとすること。
			76,500	
		吸着式	77,800	
	B-3	差込式 ライナー式	46,700	
			69,100	
	吸着式	70,400		
B-4	差込式 PTB式 PTS式 KBM式 TSB式	42,500	大腿支柱付きは、27,200円増しとすること。	
		46,200		
		56,000		
		56,000		
		46,200		
B-5	差込式 有窓式	44,400		
		48,200		

注)

- 1 (略)
- 2 チェックソケット加算はできないこと。

(削る)

(削る)

(イ) ソケットの価格

1の(2)の(ア)のソケットに準じ、ソケットの上限価格をもって修理価格の上限額とすること。必要に応じて完成用部品を加えることができること。

(削る)

義足用	B-1	カナダ式	113,100	65,300	片側骨盤切断用は、19,000円増しとすること。
	B-2	差込式 ライナー式 吸着式	74,800	45,400	短断端切断用キップシャフトは、54,100円増しとすること。 坐骨収納型ソケットは、58,700円増しとすること。
			121,100	72,400	
			167,500	73,600	
	B-3	差込式 ライナー式 吸着式	74,800	44,200	
			95,900	65,400	
142,300			66,600		
B-4	差込式 PTB式 PTS式 KBM式 TSB式	60,700	40,200	大腿支柱付きは、25,800円増しとすること。	
		84,600	43,700		
		100,900	53,000		
		103,700	53,000		
		84,600	43,700		
B-5	差込式 有窓式	49,500	42,000		
		73,000	45,600		

注)

- 1 (略)
- 2 ソフトインサートのシリコーン又は完成用部品のライナーを使用して仮合わせ専用のチェックソケットを用いる場合の基本価格に限り、47,900円加算できること。
- 3 坐骨収納型ソケットを除く吸着式、顆上懸垂式、スプリットソケットのチェックソケットの材料に透明プラスチックを使用した場合は、8,250円加算できること。その他については、製作工程にチェックソケットを用いた場合であって、透明プラスチックを材料とした場合に限り、同様に加算できること。なお、上記2との併用加算はできないこと。
- 4 陽性モデルの製作を必要としないダイレクトソケットシステムについては、基本価格に40%を乗じた価格を上限額とし、チェックソケットは使用できないこと。また、ソケットの製作要素価格においては、いかなる加算もできないこと。

(イ) ソケットの価格

(新設)

名 称	採型区分	使用材料	価 格 円	備 考
義手用	A-1	アルミニウム、セルロイド	11,700	

		皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	9,550 21,400 5,450	
	A-2	アルミニウム、セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	10,300 12,600 14,700 7,100	
	A-3	アルミニウム、セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	9,100 12,400 14,400 4,950	
義足用	B-1	アルミニウム、セルロイド 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	23,100 37,900 15,900	
	B-2	木製 アルミニウム、セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	51,600 15,400 20,200 29,400 17,300	エアクッションソケットは、16,300円増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、17,900円増しとすること。
	B-3	アルミニウム、セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	15,700 26,000 43,500 19,700	エアクッションソケットは、16,300円増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、17,600円増しとすること。

イ ソフトインサートの交換

名 称	採型区分	使用材料	上限価格 円	備 考
	A-2	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>11,700</u> <u>16,700</u> <u>18,600</u>	
	A-3	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>11,700</u> <u>16,500</u> <u>18,500</u>	
	A-4	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>10,700</u> <u>15,400</u> <u>17,600</u>	

	B-4	アルミニウム、セルロイド	12,300	エアクションソケットは、14,800円増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、6,950円増しとすること。
		皮革	18,300	
		熱硬化性樹脂	26,600	
		熱可塑性樹脂	13,900	
	B-5	アルミニウム、セルロイド	12,800	エアクションソケットは、13,600円増しとすること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、9,700円増しとすること。
		皮革	18,600	
		熱硬化性樹脂	25,300	
		熱可塑性樹脂	11,000	

イ ソフトインサートの交換

名 称	採型区分	使用材料	価 格 円		備 考
			ソケット交換に付随する場合	単独の場合	
義手用	A-1	皮革	<u>4,700</u>	<u>12,300</u>	
		軟性発泡樹脂	<u>4,800</u>	<u>16,500</u>	
		皮革・軟性発泡樹脂	<u>8,100</u>	<u>20,300</u>	
	A-2	皮革	<u>4,150</u>	<u>11,100</u>	
		軟性発泡樹脂	<u>4,650</u>	<u>15,800</u>	
		皮革・軟性発泡樹脂	<u>7,750</u>	<u>17,600</u>	
	A-3	皮革	<u>4,050</u>	<u>10,100</u>	
		軟性発泡樹脂	<u>4,650</u>	<u>14,600</u>	
		皮革・軟性発泡樹脂	<u>7,500</u>	<u>16,700</u>	
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)	(新設)	
		(新設)	(新設)	(新設)	

義足用	B-1	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>15,600</u> <u>22,700</u> <u>26,500</u>
	B-2	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>14,100</u> <u>22,700</u> <u>26,100</u> <u>17,700</u> <u>46,500</u>
	B-3	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>12,800</u> <u>22,000</u> <u>26,400</u> <u>18,800</u> <u>50,100</u>
	B-4	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>11,700</u> <u>17,500</u> <u>19,100</u> <u>16,200</u> <u>40,000</u>
	B-5	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>10,700</u> <u>17,900</u> <u>19,200</u>

注)

- 1 軟性発泡樹脂とは、PEライト等のスポンジ材であること。
- 2 (略)

ウ 支持部の交換

1の(2)のエのウの支持部に準じ、支持部の上限価格をもって修理価格の上限額とすること。必要に応じて完成用部品を加えることができること。

(削る)

義足用	B-1	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>7,000</u> <u>5,300</u> <u>10,600</u>	<u>14,800</u> <u>21,500</u> <u>25,100</u>
	B-2	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>5,400</u> <u>4,950</u> <u>7,000</u> <u>9,700</u> <u>44,000</u>	<u>13,400</u> <u>21,500</u> <u>24,700</u> <u>16,800</u> <u>44,000</u>
	B-3	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>6,050</u> <u>5,100</u> <u>9,650</u> <u>10,700</u> <u>47,400</u>	<u>12,100</u> <u>20,800</u> <u>25,000</u> <u>17,800</u> <u>47,400</u>
	B-4	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮革・フェルト シリコーン	<u>4,450</u> <u>4,750</u> <u>7,200</u> <u>8,350</u> <u>37,900</u>	<u>11,100</u> <u>16,600</u> <u>18,100</u> <u>15,400</u> <u>37,900</u>
	B-5	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,700</u> <u>7,600</u> <u>8,250</u>	<u>10,200</u> <u>17,000</u> <u>18,200</u>

注)

- 1 軟性発泡樹脂とは、PEライト及びスポンジであること。
- 2 (略)

ウ 支持部の交換

(新設)

名 称	価 格 円	備 考
肩義手用	<u>14,500</u>	
上腕義手用	<u>11,500</u>	

エ 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品並びに断端袋の交換

区 分	交 換 部 品	作業上限 価 格 円	備 考
義手用 ハーネ ス	一式交換	4,950	義手用ハーネスの修理価格は、交換部 品ごとに1の(2)のエの(エ)に掲げる額を 加算したものを上限額とすること。た だし、1の(2)のエの(エ)に掲げられてい ないものの修理は、作業上限価格を もって修理価格の上限額とすること。
	(削る)	(削る)	
	上腕カフ(三頭筋パッド)	3,500	
	交換 その他の交換	1,900	
義足懸 垂用部 品	一式交換	4,950	義足懸垂用部品の修理価格は、交換部 品ごとに1の(2)のエの(エ)に掲げる額を 加算したものを上限額とすること。た だし、1の(2)のエの(エ)に掲げられてい ないものの修理は、作業上限価格を もって修理価格の上限額とすること。
	肩吊り帯交換	4,800	
	(削る)	(削る)	
	(削る)	(削る)	
	腰バンド交換	3,850	
	横吊帯交換	4,050	
	(削る)	(削る)	
(削る)	(削る)		
(削る)	(削る)		
義足用股吊帯交換(1本)	2,050		
その他の交換	2,900		
断端袋	上腕用	3,350	年間の上限額であるため、特性、数量 にかかわらず、当該額の範囲で一括支 給することができること。
	前腕用	3,550	
	大腿用	5,600	
	下腿用	5,900	
(削る)			

前腕義手用	11,400	
股義足用	17,300	
大腿義足用	17,300	
下腿義足用	11,400	

注

- 1 肩義手で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は上腕部との接続のために修正を行う場合は、9,400円増しとすること。
- 2 股義足で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は股継手の土台を積層するために大幅な修正を行う場合は、11,100円増しとすること。

エ 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品の交換

区 分	交 換 部 品	基本価格 円	備 考
義手用 ハーネ ス	一式交換	4,700	(新設)
	美錠縮革交換	1,800	
	美錠留革交換	1,900	
	上腕カフ(三頭筋パッド)	3,350	
(新設)		(新設)	
義足懸 垂用部 品	一式交換	4,700	価格は、1本当たりのものであること。
	肩吊り帯交換	4,550	
	義足用股吊帯交換	1,950	
	位置革交換	3,200	
	腰バンド交換	3,650	
	横吊帯交換	3,850	
	美錠縮革交換	2,600	
	美錠留革交換	2,300	
	金具部品交換	3,000	
(新設)	(新設)	価格は、1か所当たりのものであること。	
(新設)	(新設)	(新設)	
(新設)	(新設)	(新設)	
(新設)	(新設)	(新設)	
(新設)	(新設)	(新設)	

注

- 1 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品の交換の価格は、基本価格に、使用部品ごとに1の(2)のエの(エ)に掲げる額を加算したものとすること。ただし、1の(2)のエの(エ)に掲げられていないものの修理は、基本価格をもって修理価格とすること。
- 2 金具部品交換の基本価格は、美錠等金具部品の価格を含むものであること。

オ 外装の交換

名 称	上限価格 円	備 考
肩義手用	12,100	
上腕義手用	9,600	
肘義手用	9,050	
前腕義手用	8,550	
股義足用	30,400	
大腿義足用	24,400	
膝義足用	21,700	
下腿義足用	19,200	
注) フットカバー又はリアルソックスを必要とする場合は、1の(2)のオの完成用部品の価格を1,150円増しとすること。		

(3) 装具 (オーダーメイド)

修 理 項 目	上 限 価 格 円	備 考
ア 継手及び支持部の交換	修理項目ごとに1の(3)の工に掲げる価格に、1,350円を加算した額をもって修理価格とすること。	
イ (略)	(略)	
ウ ベルトの交換	修理箇所ごとに25mm幅のものは940円、50mm幅のものは1,300円とすること。ただし、裏付きの場合には、当該価格を2倍した額を修理価格とすること。	

オ 外装の交換

名 称	価 格 円	備 考
肩義手用	11,500	
上腕義手用	9,100	
(新設)	(新設)	
前腕義手用	8,100	
股義足用	28,800	
大腿義足用	23,100	
膝義足用	20,600	
下腿義足用	18,200	
注) フットカバー又はリアルソックスを必要とする場合は、1の(2)のオの完成用部品の価格を1,100円増しとすること。		

(3) 装具

修 理 項 目	価 格 円	備 考
ア 継手及び支持部の交換	修理項目ごとに1の(3)の工に掲げる価格に、1,300円を加算した額をもって修理価格とすること。	
イ (略)	(略)	
ウ マジックバンドの交換	修理箇所ごとに25mm幅のものは890円、50mm幅のものは1,250円とすること。ただし、裏付きの場合には、当該価格を2倍した額を修理価格とすること。	

エ 溶接		修理箇所ごとにアライメントの調整を必要とするものは10,700円、必要としないものは2,200円とすること。		
オ その他の交換・修理				
(ア) 修理部位	下肢装具	足底裏革交換又は足底ゴム交換	6,150	(略)
	靴型装具	本底交換	8,700	(略)
		足底挿板交換	7,550	(略)
		半張交換	3,650	踵以外（若しくは足長のおおむね遠位2/3の範囲）の本底の交換であること。
		踵交換	1,800	踵（若しくは足長のおおむね近位1/3の範囲）の本底の交換であること。
		積上交換	1,350	本底より上部におよぶ底の交換の場合に加算できること。
		底張かけ交換	2,200	MP部から遠位の範囲の底の交換であること。
		ファスナー交換	3,350	
	細革交換	760	細革全体の交換の場合に限り加算出来ること。 グッドイヤーの場合は、1,450円増しとすること。	
	体幹装具	支柱交換(硬性)	3,250	
支柱交換(軟性)		1,400		
(イ) (ア以外の部位)		(略)		

エ 溶接		修理箇所ごとにアライメントの調整を必要とするものは10,100円、必要としないものは2,100円とすること。		
オ その他の交換・修理				
(ア) 修理部位	下肢装具	足底裏革交換又は足底ゴム交換	5,800	(略)
	靴型装具	本底交換	8,200	(略)
		足底挿板交換	7,100	(略)
		半張交換	3,450	(新設)
		踵交換	1,700	(新設)
		積上交換	1,300	(新設)
		底張かけ交換	2,100	(新設)
		ファスナー交換	3,150	
	細革交換	720	革底の場合は、1,400円増しとすること。	
	体幹装具	硬性コルセット 筋金交換	3,100	
軟性コルセット 筋金交換		1,350		
(イ) (ア以外の部位)		(略)		

注
1～4 (略)

(4) 装具 (レディメイド)
3の(3)の装具 (オーダーメイド) に準じて修理すること。

(5) 姿勢保持装置

修 理 項 目	上 限 価 格		
	円		
ア 支持部の交換	1の(5)の工の(ア)に掲げる価格に、 <u>1,350円</u> を加算した額をもって修理価格とすること。		
イ 支持部の調整	寸法調整	形状調整	
	頭部	<u>3,000</u>	<u>4,100</u>
	上腕部	<u>1,800</u>	<u>2,750</u>
	前腕・手部		
	体幹部	<u>3,500</u>	<u>9,450</u>
	骨盤・大腿部		
	下腿部	<u>1,800</u>	<u>2,750</u>
足部			
ウ 支持部の連結、連結角度調整用部品の交換	修理項目ごとに1の(5)の工の(イ)に掲げる価格に、 <u>1,350円</u> を加算した額をもって修理価格とすること。		
エ 構造フレームの交換	1の(5)の工の(ウ)に掲げる基本価格に、 <u>1,350円</u> を加算した額をもって修理価格とすること。 車椅子としての機能を付加した場合は、当該機能のみに係る部分については、車椅子の修理基準に準ずること。		
オ 付属品の交換	修理項目ごとに1の(5)の工の(エ)に掲げる価格をもって修理価格とすること。		
カ 調節機構の交換	修理項目ごとに1の(5)の工の(オ)に掲げる価格をもって修理価格とすること。		
キ <u>ベルト</u> の交換	25mm幅のものは960円、50mm幅のものは1,300円とし、裏付きを必要とする場合及びバックルを使用する場合には、当該価格を2倍した額とすること。		
ク 完成用部品の交換	修理項目ごとに1の(5)のオに掲げる価格をもって修理価格とすること。		

注
1～4 (略)

(新設)
(新設)

(4) 座位保持装置

修 理 項 目	価 格		
	円		
ア 支持部の交換	1の(4)の工の(ア)に掲げる価格に、 <u>1,300円</u> を加算した額をもって修理価格とすること。		
イ 支持部の調整	寸法調整	形状調整	
	頭部	<u>2,800</u>	<u>3,850</u>
	上腕部	<u>1,700</u>	<u>2,600</u>
	前腕・手部		
	体幹部	<u>3,300</u>	<u>8,850</u>
	骨盤・大腿部		
	下腿部	<u>1,700</u>	<u>2,600</u>
足部			
ウ 支持部の連結、連結角度調整用部品の交換	修理項目ごとに1の(4)の工の(イ)に掲げる価格に、 <u>1,300円</u> を加算した額をもって修理価格とすること。		
エ 構造フレームの交換	1の(4)の工の(ウ)に掲げる基本価格に、 <u>1,300円</u> を加算した額をもって修理価格とすること。 車椅子としての機能を付加した場合は、当該機能のみに係る部分については、車椅子の修理基準に準ずること。		
オ 付属品の交換	修理項目ごとに1の(4)の工の(エ)に掲げる価格をもって修理価格とすること。		
カ 調節機構の交換	修理項目ごとに1の(4)の工の(オ)に掲げる価格をもって修理価格とすること。		
キ <u>マジックバンド</u> の交換	25mm幅のものは900円、50mm幅のものは1,250円とし、裏付きを必要とする場合には、当該価格を2倍した額とすること。		
ク 完成用部品の交換	修理項目ごとに1の(4)のオに掲げる価格をもって修理価格とすること。		

注)

採寸又は採型を必要とする修理については、1の(5)のウに掲げる上限価格の範囲内で加算することができること。

(6) 車椅子

名 称	種 類	上限価格 円	備 考
フレーム	フレーム交換	24,100	
	サイドガード (スカートガード) 交換 (片側)	7,400	
	溶接 (修理箇所ごと)	10,700	
	6 輪構造部品交換	37,700	
	幅止め交換 (1 本)	5,400	
シート	座布交換 (スリング式)	12,300	板張り式の場合は 1 の(6)の エの(ウ)の付属品に掲げる座 板の価格をもって修理価格 とすること。
	座布交換 (張り調整式)	21,000	
	奥行き調整部品交換 (片側)	9,250	
バックサ ポート	背布交換 (スリング式)	12,300	背布交換のうち、ワイドフ レーム、バックサポート延 長 (頭頸部まで) の場合は 110% の範囲内の額とする こと。バックサポートパイ プ交換のうち、ワイドフ レームの場合は 7,000 円、 バックサポート延長 (頭頸 部まで) の場合は 5,000 円、 高さ調整の構造を有する場 合は 6,600 円増しとし、片 側を 1 単位とすること。
	背布交換 (張り調整式)	21,000	
	バックサポートパイプ交換 (片側)	4,150	
	バックサポートパイプ取付部品交 換 (片側)	4,000	
	背座間角度調整部品交換 (片側)	8,800	
	背折れ機構部品交換 (片側)	8,000	
フット・ レッグサ ポート	フット・レッグサポートベルト交 換	2,900	フット・レッグサポートベ ルト交換のうち、全面張り の場合は 4,000 円増しとす ること。
	フット・レッグサポートパッド交 換 (片側)	5,500	
	着脱式フット・レッグサポート交 換 (片側)	6,250	
	挙上式フット・レッグサポート交 換 (片側)	8,550	
	開閉挙上式フット・レッグサポー ト交換 (片側)	11,100	
	開閉着脱式フット・レッグサポー ト交換 (片側)	7,350	

注)

採寸又は採型を必要とする修理については、1の(4)のウに掲げる価格を加算することができること。

(新設)

フットサ ポート	フットサポート交換 (片側)	4,100	前後調整、角度調整及び左 右調整の各構造を有する場 合は各1,600円増しとし、 片側を1単位とすること。
	フットサポート交換(二重折込式、 片側)	6,250	
	フットサポート交換 (中折れ式)	8,750	
アームサ ポート (片 側)	アームサポート交換 (固定式)	5,000	高さ調整の構造を有する場 合は3,600円、角度調整の 構造を有する場合は7,650 円、アームサポート幅広、 アームサポート延長の各構 造を有する場合はそれぞれ 3,900円増しとし、片側を 1単位とすること。 アームサポート交換のう ち、肘当て部分のみを交換 する場合は固定式の価格を もって修理価格とすること。
	アームサポート交換(跳ね上げ式)	6,750	
	アームサポート交換 (着脱式)	6,550	
ヘッドサ ポート	ヘッドサポートパイプ交換	4,150	ヘッドサポートとして独立 したものに限り (バックサ ポート一体型は含まない)。
	ヘッドサポートパイプ取付部品交 換	4,000	
ブレーキ (片側)	ブレーキ交換	9,900	
	介助用ブレーキ交換	8,700	
	フットブレーキ交換	8,650	
駆動輪・主 輪 (片側)	駆動輪・主輪一式交換	18,600	駆動輪・主輪一式とは、リ ム、スポーク、タイヤ、 チューブ、タイヤバルブ、 ハブ及びハブ軸を含むもの であること。ホイールとは、 リム、スポーク、ハブ及び ハブ軸を含むものであるこ と。タイヤ交換はチューブ 交換を含まないものである こと。 ホイール交換のうち、着脱 式ハブを含む場合は5,400 円増しとし、片側を1単位 とすること。
	駆動輪・主輪ホイール交換	10,000	
	駆動輪・主輪ホイール交換 (片手 駆動式)	15,000	
	片手駆動部品交換	9,000	
	車軸位置調整部品交換	8,750	
	タイヤ交換	4,600	
	ノーパンクタイヤ交換	9,100	
	チューブ交換	4,000	

キャスタ (片側)	キャスタ交換	8,700	キャスタはキャスタ輪及び フォークから構成されるも のであること。 衝撃吸収タイプの場合は 7,500円増しとし、片側を 1単位とすること。
	キャスタ取付部品交換	7,600	
ハンドリム (片側)	ハンドリム交換 (プラスチック)	5,250	ノブ付きの場合は4,850円 増しとし、片側を1単位と すること。 片手駆動式の場合は3,300 円増しとすること。
	ハンドリム交換 (ステンレス)	12,700	
	ハンドリム交換 (アルミ)	11,200	
付属品	付属品交換	修理項目ご とに1の(6) の工の(ウ)に 掲げる価格 をもって修 理価格とす ること。	クッション、背クッション 及びヘッドサポート交換 (オーダーメイドに限る。)の 場合は、1,350円を加算 することができること。
その他	リヤ・シャフト交換	7,100	価格は、1個(本)当たり のものであること。
	レバー交換	1,750	
	ワイヤ交換	3,000	
	メカロック交換	10,800	
	ガスダンパー交換	16,300	
	グリップ交換	500	

注

部品の交換を伴わないシート、バックサポート、レッグサポート、フットサポート及びアームサポート等について、成長に伴う調整をした場合は箇所にかかわらず1回当たり5,000円を加算した額をもって修理価格とすること。

(7) 電動車椅子

ア 標準形

名 称	種 類	上限価格 円	備 考
フレーム	フレーム交換	40,800	
	フレーム部品交換	9,450	
	シートフレーム交換	16,000	
	シートフレーム部品交換	6,800	

(新設)

	電動リフト・電動ティルト・電動リクライニングシートフレーム交換	86,500	
	電動リフトメインフレーム交換	108,100	
	サイドガード（スカートガード）交換（片側）	5,300	
	溶接（修理箇所ごと）	10,700	
操作ボックス	感度調整式ジョイスティック交換	15,900	価格は、1個当たりのものであること。
	ジョイスティック ばね圧変更部品交換	8,500	
	操作制御部交換	25,900	
	操作制御部部品交換	6,150	
	電動リフト・電動ティルト・電動リクライニング制御部一式交換	32,500	
	電動リフト・電動ティルト・電動リクライニング制御部部品交換	5,400	
	電動リフト・電動ティルト・電動リクライニング自動停止制御部一式交換	16,200	
	電動リフト・電動ティルト・電動リクライニング自動停止制御部部品交換	5,400	
	スイッチ	延長スイッチ交換	
バッテリー	バッテリー交換（シールド）	37,700	価格は、1個当たりのものであること。
	バッテリー交換（リチウムイオン電池）	100,000	
充電器	内蔵充電器交換	50,700	
	外部充電器交換	21,300	
	充電器部品交換	12,500	
シート	座布交換（スリング式）	12,300	板張り式の場合は1の(6)の工の(ウ)の付属品に掲げる座板の価格をもって修理価格とすること。
	座布交換（張り調整式）	21,000	
	座奥行き調整部品交換（片側）	9,250	
バックサポート	背布交換（スリング式）	12,300	背布交換のうち、ワイドフレーム、バックサポート延長（頭頸部まで）の場合は110%の範囲内の額とすること。
	背布交換（張り調整式）	21,000	
	バックサポートパイプ交換（片側）	9,350	
	バックサポートパイプ取付部品交換（片側）	4,000	

	<p>背座間角度調整部品交換 (片側)</p> <p>背折れ機構部品交換 (片側)</p>	<p>8,800</p> <p>8,000</p>	<p>バックサポートパイプ交換のうち、ワイドフレームの場合は7,000円、バックサポート延長 (頭頸部まで) の場合は5,000円、高さ調整の構造を有する場合は6,600円増しとし、片側を1単位とすること。</p>
フット・レッグサポート	<p>フット・レッグサポートベルト交換</p> <p>フット・レッグサポートパッド交換 (片側)</p> <p>着脱式フット・レッグサポート交換 (片側)</p> <p>挙上式フット・レッグサポート交換 (片側)</p> <p>開閉挙上式フット・レッグサポート交換 (片側)</p> <p>開閉着脱式フット・レッグサポート交換 (片側)</p> <p>フット・レッグサポートフレーム交換 (片側)</p>	<p>2,900</p> <p>5,500</p> <p>6,250</p> <p>8,550</p> <p>11,100</p> <p>7,350</p> <p>5,700</p>	<p>フット・レッグサポートベルト交換のうち、全面張り の場合は4,000円増しとすること。</p>
フットサポート (片側)	<p>フットサポート交換</p> <p>フットサポート交換 (二重折込式)</p>	<p>12,300</p> <p>14,450</p>	<p>フットサポートのうち、前後調整、角度調整及び左右調整の各構造を有する場合は各1,600円増しとし、片側を1単位とすること。</p> <p>強度を高めるために、金属製のフットサポートを使用する場合は15,000円増しとすること。</p>
アームサポート (片側)	<p>アームサポート交換 (固定式)</p> <p>アームサポート交換 (跳ね上げ式)</p> <p>アームサポート交換 (着脱式)</p>	<p>5,000</p> <p>6,750</p> <p>6,550</p>	<p>高さ調整の構造を有する場合は3,600円、角度調整の構造を有する場合は7,650円、アームサポート幅広、アームサポート延長の各構造を有する場合はそれぞれ3,900円増しとし、片側を1単位とすること。</p>

			アームサポート交換のうち、肘当て部分のみを交換する場合は固定式の価格をもって修理価格とすること。
ブレーキ	電動又は電磁ブレーキ交換（標準形）	18,500	
駆動輪・主輪（片側）	駆動輪・主輪一式交換	16,000	駆動輪・主輪一式とは、タイヤ、ホイール及びチューブを含むものであること。タイヤ交換はチューブ交換を含まないものであること。
	タイヤ交換	6,450	
	ノーパンクタイヤ交換	10,500	
	ホイール交換	5,550	
	チューブ交換	4,000	
前輪（片側）	タイヤ交換	5,400	
	ノーパンクタイヤ交換	9,900	
	ホイール交換	4,550	
	チューブ交換	4,000	
	フォーク交換	12,700	
	電装系部品	コントローラ交換	
	コントローラ部品交換	10,100	
	電動リフトコントローラ交換	43,200	
	電動リフトコントローラ部品交換	10,800	
	電動ティルト・電動リクライニングコントローラ交換	100,700	
	電動ティルト・電動リクライニングコントローラ部品交換	10,800	
	ハーネス及びリレー交換	9,550	
	ハーネス及びリレー部品交換	3,600	
	電動リフト・電動ティルト・電動リクライニングハーネス交換	16,200	
	モータ交換	30,300	
	モータ部品交換	7,650	
	電動ティルト・電動リクライニングモータ交換	18,100	
	電動リフトモータ交換	64,900	
	電動リフト・電動ティルト・電動リクライニングモータ部品交換	8,600	
	ギヤボックス交換	48,000	

	電動ティルト・電動リクライニング装置交換	56,800	
	電動ティルト・電動リクライニング装置部品交換	23,400	
	前輪パワーステアリング部品交換	54,300	
付属品	付属品交換	修理項目ごとに1の(7)の工の(ウ)に掲げる価格をもって修理価格とすること。	クッション、背クッション及びヘッドサポート交換(オーダーメイドに限る。)の場合は、1,350円を加算することができること。
その他	転倒防止装置	6,400	価格は、1個(回)当たりのものであること。
	リヤ・シャフト交換	7,100	
	電動リフトシャフト交換	54,100	
	電動ティルト・電動リクライニングシャフト交換	61,800	
	電動リフトチェーン交換	54,100	
	電動リフトチェーンアジャスタ交換	27,000	
	オイル又はグリス交換	2,850	
	クラッチ交換	9,150	
	レバー交換	1,750	
	ワイヤ交換	3,000	
	メカロック交換	10,800	
	ガスダンパー交換	16,300	
	グリップ交換	500	
注	部品の交換を伴わないシート、バックサポート、レッグサポート、フットサポート及びアームサポート等について、成長に伴う調整をした場合は箇所にかかわらず1回当たり5,000円を加算した額をもって修理価格とすること。		

イ 簡易形

名 称	種 類	上限価格 円	備 考
操作ボックス	感度調整式ジョイスティック交換	15,900	価格は、1個当たりのものであること。
	ジョイスティックばね圧変更部品交換	8,500	
	操作制御部交換	25,900	
	操作制御部部品交換	6,150	

スイッチ	スイッチゴム交換	300	価格は、1個当たりのものであること。
	延長スイッチ交換	1,050	
バッテリー	バッテリー交換（リチウムイオン電池）	100,000	価格は、1個当たりのものであること。
	バッテリー交換（ニッケル水素電池）	62,000	
充電器	外部充電器交換	28,800	価格は、1個当たりのものであること。
ブレーキ	電動又は電磁ブレーキ交換	13,300	
	介助用ブレーキ交換	17,400	
駆動輪・主輪（片側）	電動ユニット交換	100,400	電動ユニット交換のうち、バッテリーホルダー付きの場合は10,000円、アシスト式の構造を有する場合は18,000円増しとすること。ホイール交換のうち、アシスト式の構造を有する場合は7,300円増しとすること。
	ホイール交換	13,600	
	ホイール部品交換	4,150	
	駆動装置部品交換	24,900	
	タイヤ交換	4,600	
	ノーバンクタイヤ交換	9,100	
	チューブ交換	4,000	
ハンドリム（片側）	ハンドリム交換（切替式）	5,400	滑り止めハンドリムの場合 は7,350円増しとすること。
	ハンドリム交換（アシスト式）	12,000	
電装系部品	ハーネス及びリレー交換	9,550	価格は、1個当たりのものであること。
	ハーネス及びリレー部品交換	3,600	
その他	リヤ・シャフト交換	7,100	価格は、1個（回）当たり のものであること。
	オイル又はグリス交換	2,850	
	クラッチ交換	9,150	
<p>注</p> <p>1 部品の交換を伴わないシート、バックサポート、レッグサポート、フットサポート及びアームサポート等について、成長に伴う調整をした場合は箇所にかかわらず1回当たり5,000円を加算した額をもって修理価格とすること。</p> <p>2 上記のほか3の(6)に掲げる価格を加算することができること。</p>			

(8) その他

種目	型式	修理部位	上限価格 円	備考
視覚障害者安全つえ		マグネット付き石突交換	870	
眼鏡		枠交換 矯正用レンズ（6D未満）交換 矯正用レンズ（6D以上10D未満）交換 矯正用レンズ（10D以上）交換 遮光矯正用レンズ交換 遮光用レンズ交換	8,300 4,900 6,450 8,400 11,500 11,500	矯正用レンズ、遮光矯正用レンズに乱視矯正を含む場合は、片眼又は両眼にかかわらず、4,350円増しとすること。
補聴器		耳あな型シェル交換（レディメイド） 耳あな型シェル交換（オーダーメイド） 耳あな型スイッチ交換 耳あな型テレホンコイル交換（レディメイド） 耳あな型テレホンコイル交換（オーダーメイド） 耳あな型極板交換 耳あな型ボリューム交換（レディメイド） 耳あな型ボリューム交換（オーダーメイド） 耳あな型マイクロホン交換（レディメイド） 耳あな型マイクロホン交換（オーダーメイド） 耳あな型レシーバー交換（レディメイド） 耳あな型レシーバー交換（オーダーメイド） 耳あな型抵抗交換（レディメイド） 耳あな型抵抗交換（オーダーメイド） 耳あな型コンデンサ交換（レディメイド） 耳あな型コンデンサ交換（オーダーメイド） 耳あな型電池ホルダー交換（レディメイド） 耳あな型電池ホルダー交換（オーダーメイド） 耳あな型トリマー交換（レディメイド） 耳あな型トリマー交換（オーダーメイド） 耳あな型サスペンション交換 耳あな型アンプ組立交換（レディメイド） 耳あな型アンプ組立交換（オーダーメイド） 耳かけ型ケース組立交換	6,650 27,900 3,300 8,850 13,400 1,100 8,850 12,200 14,200 16,800 15,000 21,100 2,200 9,400 2,200 9,400 1,100 1,600 6,650 10,000 940 33,500 44,600 3,950	

(5) その他

種目	型式	修理部位	価格 円	備考
視覚障害者安全つえ		マグネット付き石突交換	760	
眼鏡		枠交換 矯正用レンズ（6D未満）交換 矯正用レンズ（6D以上10D未満）交換 矯正用レンズ（10D以上）交換 遮光矯正用レンズ交換 遮光用レンズ交換	8,000 5,100 6,450 8,400 11,100 11,100	矯正用レンズ、遮光矯正用レンズに乱視矯正を含む場合は、片眼又は両眼にかかわらず、4,200円増しとすること。
補聴器		耳あな型シェル交換（レディメイド） 耳あな型シェル交換（オーダーメイド） 耳あな型スイッチ交換 耳あな型テレホンコイル交換（レディメイド） 耳あな型テレホンコイル交換（オーダーメイド） 耳あな型極板交換 耳あな型ボリューム交換（レディメイド） 耳あな型ボリューム交換（オーダーメイド） 耳あな型マイクロホン交換（レディメイド） 耳あな型マイクロホン交換（オーダーメイド） 耳あな型レシーバー交換（レディメイド） 耳あな型レシーバー交換（オーダーメイド） 耳あな型抵抗交換（レディメイド） 耳あな型抵抗交換（オーダーメイド） 耳あな型コンデンサ交換（レディメイド） 耳あな型コンデンサ交換（オーダーメイド） 耳あな型電池ホルダー交換（レディメイド） 耳あな型電池ホルダー交換（オーダーメイド） 耳あな型トリマー交換（レディメイド） 耳あな型トリマー交換（オーダーメイド） 耳あな型サスペンション交換 耳あな型アンプ組立交換（レディメイド） 耳あな型アンプ組立交換（オーダーメイド） 耳かけ型ケース組立交換	6,300 26,400 3,150 8,400 12,700 1,050 8,400 11,600 13,500 15,950 14,200 20,000 2,100 8,900 2,100 8,900 1,050 1,550 6,300 9,500 890 31,700 42,200 3,750	

耳かけ型スイッチ交換	4,750
耳かけ型テレホンコイル交換	2,650
耳かけ型極板交換	1,550
耳かけ型ボリューム交換	6,800
耳かけ型マイクロホン交換	12,400
耳かけ型レシーバー交換	12,800
耳かけ型トリマー交換	2,000
耳かけ型フック交換	650
耳かけ型電池ホルダー交換	1,050
耳かけ型耳栓組立交換	630
耳かけ型サスペンション交換	670
耳かけ型アンプ組立交換	31,600
重度難聴用ポケット型スイッチ交換	3,300
重度難聴用ポケット型テレホンコイル交換	1,400
重度難聴用ポケット型マイクロホン交換	8,750
重度難聴用イヤホン交換	5,800
重度難聴用耳かけ型レシーバー交換	15,800
重度難聴用コード交換	1,900
重度難聴用耳かけ型アンプ組立交換	42,700
眼鏡型ケース組立交換	9,900
眼鏡型スイッチ交換	3,650
眼鏡型テレホンコイル交換	3,450
眼鏡型極板交換	1,450
眼鏡型ボリューム交換	4,800
眼鏡型マイクロホン交換	14,700
眼鏡型骨導子交換	17,300
眼鏡型アンプ組立交換	24,400
眼鏡型アンプ組立交換（送信用）	37,200
眼鏡型アンプ組立交換（受信用）	57,800
眼鏡型ブランク（空つる）交換	4,600
眼鏡型テンブル（補助つる）交換	3,250
眼鏡型フロント（前枠）交換	10,000
眼鏡型平面レンズ交換	3,800
ポケット型ケース組立交換	5,700
ポケット型クリップ交換	1,250
ポケット型スイッチ交換	3,700
ポケット型テレホンコイル交換	1,400
ポケット型極板交換	1,400
ポケット型ボリューム交換	4,800
ポケット型マイクロホン交換	5,700
骨導式ポケット型レシーバー交換	11,100
骨導式ポケット型ヘッドバンド交換	3,300
ダンパー入り耳かけ型フック交換	1,000

耳かけ型スイッチ交換	4,500
耳かけ型テレホンコイル交換	2,550
耳かけ型極板交換	1,470
耳かけ型ボリューム交換	6,450
耳かけ型マイクロホン交換	11,810
耳かけ型レシーバー交換	12,120
耳かけ型トリマー交換	1,900
耳かけ型フック交換	620
耳かけ型電池ホルダー交換	1,000
耳かけ型耳栓組立交換	600
耳かけ型サスペンション交換	640
耳かけ型アンプ組立交換	29,880
重度難聴用ポケット型スイッチ交換	3,150
重度難聴用ポケット型テレホンコイル交換	1,350
重度難聴用ポケット型マイクロホン交換	8,300
重度難聴用イヤホン交換	5,490
重度難聴用耳かけ型レシーバー交換	15,000
重度難聴用コード交換	1,800
重度難聴用耳かけ型アンプ組立交換	40,400
眼鏡型ケース組立交換	9,400
眼鏡型スイッチ交換	3,450
眼鏡型テレホンコイル交換	3,300
眼鏡型極板交換	1,400
眼鏡型ボリューム交換	3,900
眼鏡型マイクロホン交換	13,900
眼鏡型骨導子交換	16,400
眼鏡型アンプ組立交換	23,100
眼鏡型アンプ組立交換（送信用）	35,200
眼鏡型アンプ組立交換（受信用）	54,700
眼鏡型ブランク（空つる）交換	4,350
眼鏡型テンブル（補助つる）交換	3,100
眼鏡型フロント（前枠）交換	9,500
眼鏡型平面レンズ交換	3,600
ポケット型ケース組立交換	5,400
ポケット型クリップ交換	1,200
ポケット型スイッチ交換	3,500
ポケット型テレホンコイル交換	1,350
ポケット型極板交換	1,350
ポケット型ボリューム交換	4,580
ポケット型マイクロホン交換	5,400
骨導式ポケット型レシーバー交換	10,500
骨導式ポケット型ヘッドバンド交換	3,150
ダンパー入り耳かけ型フック交換	960

		受信機交換	97,300			受信機交換	92,000	
		受信機基板交換	29,200			受信機基板交換	27,600	
		受信機部品（ケース、充電池、アンテナ、スイッチ、コネクタ）交換	5,250			受信機部品（ケース、充電池、アンテナ、スイッチ、コネクタ）交換	5,000	
		ワイヤレスマイク交換	135,400			ワイヤレスマイク交換	128,000	
		ワイヤレスマイク基板交換	40,600			ワイヤレスマイク基板交換	38,400	
		ワイヤレスマイク充電用 AC アダプタ交換	3,700			ワイヤレスマイク充電用 AC アダプタ交換	3,500	
		ワイヤレスマイクマイクロホン交換	12,600			ワイヤレスマイクマイクロホン交換	12,000	
		ワイヤレスマイクディスプレイ交換	12,600			ワイヤレスマイクディスプレイ交換	12,000	
		ワイヤレスマイク部品（ケース、充電池、アンテナ、スイッチ、コネクタ）交換	5,250			ワイヤレスマイク部品（ケース、充電池、アンテナ、スイッチ、コネクタ）交換	5,000	
		イヤモールド交換	9,500			イヤモールド交換	9,000	
		コンセント交換	870			コンセント交換	830	
		IC 回路交換	4,800			IC 回路交換	4,550	
		イヤホン交換	3,350			イヤホン交換	3,170	
		コード交換	710			コード交換	680	
		トランジスター又はダイオード交換	2,150			トランジスター又はダイオード交換	2,050	
		抵抗交換	2,150			抵抗交換	2,050	
		コンデンサ交換	2,150			コンデンサ交換	2,050	
		トランス交換	2,000			トランス交換	1,900	
		オーディオシュー交換	5,250			オーディオシュー交換	5,000	
人工内耳		人工内耳用音声信号処理装置修理	30,000	部品の交換を伴う修理は認められないこと。	人工内耳	人工内耳用音声信号処理装置修理	30,000	(新設)
(削る)	(削る)	(削る)	(削る)		車椅子	クッション交換	4,090	
	(削る)	(削る)	(削る)			クッション（ポリエステル繊維、ウレタンフォーム等の多層構造のもの及び立体編物構造のもの）交換	10,000	
	(削る)	(削る)	(削る)			クッション（ゲルとウレタンフォームの組合せのもの）交換	19,080	
	(削る)	(削る)	(削る)			クッション（バルブを開閉するだけで空気量を調整するもの）交換	30,000	
	(削る)	(削る)	(削る)			クッション（特殊な空気室構造のもの）交換	45,000	
	(削る)	(削る)	(削る)	(削る)		フローテーションパッド交換	30,000	三重構造とする場合は、1,300 円増しとすること。

(削る)	(削る)		背クッション交換	10,000	
(削る)	(削る)		特殊形状クッション(骨盤・大腿部サポート)交換	25,750	
(削る)	(削る)		クッションカバー(防水加工を施したもの)交換	7,460	
(削る)	(削る)		クッション滑り止め部品交換	1,920	
(削る)	(削る)		バックサポート交換	8,860	
(削る)	(削る)	(削る)	延長バックサポート交換	10,190	枕は含めないこと。
(削る)	(削る)		枕(オーダー)交換	10,330	
(削る)	(削る)		枕(レディメイド)交換	5,830	
(削る)	(削る)		バックサポートパイプ交換	3,830	
(削る)	(削る)		バックサポートパイプ取付部品交換	3,700	
(削る)	(削る)		張り調整式バックサポート交換	15,080	
(削る)	(削る)		高さ調整式バックサポート交換	12,080	
(削る)	(削る)		背折れ機構部品交換	7,180	
(削る)	(削る)		背座間角度調整部品交換	8,100	
(削る)	(削る)		アームサポート(肘当て部分)交換	4,620	
(削る)	(削る)		アームサポート(フレーム)交換	4,600	
(削る)	(削る)		高さ角度調整式アームサポート交換	9,010	
(削る)	(削る)		高さ調整式アームサポート(段階調整式)交換	3,310	
(削る)	(削る)		角度調整式アームサポート交換	7,050	
(削る)	(削る)		跳ね上げ式アームサポート交換	6,060	
(削る)	(削る)		脱着式アームサポート交換	6,200	
(削る)	(削る)		アームサポート拡張部品交換	3,610	
(削る)	(削る)		アームサポート延長部品交換	3,610	
(削る)	(削る)		レッグサポート交換	2,700	
(削る)	(削る)		脱着式レッグサポート交換	5,780	
(削る)	(削る)		挙上式レッグサポート(パッド形状)交換	7,900	
(削る)	(削る)		開閉挙上式レッグサポート(パッド形状)交換	10,290	
(削る)	(削る)		開閉・脱着式レッグサポート交換	6,790	
(削る)	(削る)	(削る)	フットサポート交換	3,780	前後調整の構造を有する場合は4,160円増し、角度調整、左右調整の各構造を有する場合は各1,500円増しとすること。

(削る)	(削る)	(削る)	ヘッドサポートベース (マルチタイプ) 交換	27,080	枕は含めること。
(削る)	(削る)	(削る)	座布交換	8,750	
(削る)	(削る)	(削る)	座張り調整部品交換	10,000	
(削る)	(削る)	(削る)	座奥行き調整 (スライド式) 部品交換	16,970	
(削る)	(削る)	(削る)	座板交換	6,800	
(削る)	(削る)	(削る)	座席昇降ハンドルユニット交換	15,800	
(削る)	(削る)	(削る)	座席昇降チェーン交換	8,400	
(削る)	(削る)	(削る)	座席昇降メカユニット交換	22,100	
(削る)	(削る)	(削る)	フレーム (サイドベース) 交換	10,700	
(削る)	(削る)	(削る)	フレーム (サイド拡張) 交換	8,500	
(削る)	(削る)	(削る)	フレーム (サイド拡張) 取付部品交換	3,200	
(削る)	(削る)	(削る)	フレーム (折りたたみ) 交換	22,180	
(削る)	(削る)	(削る)	ブレーキ交換	9,100	
(削る)	(削る)	(削る)	キャリパーブレーキ交換	8,000	
(削る)	(削る)	(削る)	フットブレーキ (介助者用) 交換	7,970	
(削る)	(削る)	(削る)	延長用ブレーキアーム交換	1,630	
(削る)	(削る)	(削る)	リフレクタ (反射器—夜光材) 交換	430	1 回当たりとすること。
(削る)	(削る)	(削る)	リフレクタ (反射器—夜光反射板) 交換	670	
(削る)	(削る)	(削る)	ハンドリム交換	5,240	
(削る)	(削る)	(削る)	滑り止めハンドリム交換	8,740	
(削る)	(削る)	(削る)	ノブ付きハンドリム交換	4,470	購入後に後付けする場合は、4,350 円増しとすること。
(削る)	(削る)	(削る)	キャスター (大) 交換	8,000	
(削る)	(削る)	(削る)	キャスター (小) 交換	5,800	
(削る)	(削る)	(削る)	屋外用キャスター (エア—式等) 交換	7,500	
(削る)	(削る)	(削る)	リーム交換	5,500	
(削る)	(削る)	(削る)	車軸位置調整部品交換	16,120	
(削る)	(削る)	(削る)	大車輪脱着ハブ交換	5,000	
(削る)	(削る)	(削る)	サイドガード交換	6,820	
(削る)	(削る)	(削る)	タイヤ交換	4,270	
(削る)	(削る)	(削る)	ノーバンクタイヤ交換	4,190	購入後に後付けする場合は、1,740 円増しとすること。

(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
(削る)

(削る)

(削る)

(削る)

チューブ交換
シートベルト交換
テーブル交換
スポークカバー交換
塗装ハブ取付部品交換
キャスター取付部品交換
ハブ用スプリング交換
ステッキホルダー(杖たて)交換
泥よけ交換
転倒防止装置交換
転倒防止装置(キャスター付き折りたたみ式)交換
携帯用会話補助装置搭載台交換
酸素ボンベ固定装置交換
人工呼吸器搭載台交換
栄養バック取り付け用ガートル架交換
点滴ポール交換
シリンダー用レバー交換
メカロック交換
テイルト用ガスダンパー交換
ワイヤー交換
ガスダンパー交換
幅止め交換高さ調整式手押しハンドル交換
車載時固定用フック交換
日よけ(雨よけ)部品交換
6輪構造部品交換
成長対応型部品交換2,450
4,300
10,900
4,100
17,9006,100
7,000
16,000
3,000
6,050
3,750
8,67030,000
13,000
25,000
10,190
10,430
2,500
10,000
15,000
1,800
15,000
4,2907,840
3,000
12,000
34,720
56,0201回当たりと
すること。総
塗り替えの場
合に限ること。
と。購入後に後付
けする場合は、
750円増しとす
ること。バックサポー
ト高さ及び張
り調整、座奥
行き及び張り
調整、フット

	(削る)	(削る)						プレート前後調整、車軸位置調整及び脱着ハブ、その他成長対応に必要な構造を有すること。
(削る)	(削る)	(削る)	(削る)			痰吸引器搭載台交換	25,000	
	(削る)	(削る)	(削る)		電動車	コントローラー交換	84,300	
	(削る)	(削る)	(削る)		椅子	コントローラー部品交換	9,500	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動リフトコントローラー交換	40,600	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動リフトコントローラー部品交換	10,200	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動ティルトコントローラー交換	94,500	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動ティルトコントローラー部品交換	10,200	
	(削る)	(削る)	(削る)			操作制御部交換	24,300	
	(削る)	(削る)	(削る)			操作制御部部品交換	5,800	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動リフト操作制御部交換	30,500	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動リフト操作制御部部品交換	5,100	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動ティルト制御部交換	30,500	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動ティルト制御部部品交換	5,100	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動リフト自動停止制御部交換	15,200	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動リフト自動停止制御部部品交換	5,100	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動ティルト自動停止制御部交換	15,200	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動ティルト自動停止制御部部品交換	5,100	
	(削る)	(削る)	(削る)			ハーネス及びリレー交換	9,000	
	(削る)	(削る)	(削る)			ハーネス及びリレー部品交換	3,400	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動リフトハーネス交換	15,200	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動ティルトハーネス交換	15,200	
	(削る)	(削る)	(削る)			モーター交換	28,500	
	(削る)	(削る)	(削る)			モーター部品交換	7,200	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動リクライニングモーター交換	17,000	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動リフトモーター交換	60,900	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動リフトモーター部品交換	8,100	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動ティルトモーター交換	17,000	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動ティルトモーター部品交換	8,100	
	(削る)	(削る)	(削る)			ギヤーボックス交換	45,100	
	(削る)	(削る)	(削る)			ギヤーボックス部品交換	9,700	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動リクライニング装置交換	53,300	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動リクライニング装置部品交換	22,200	
	(削る)	(削る)	(削る)			電動ティルト装置交換	53,300	

(削る)	(削る)		電動テイルト装置部品交換	22,200	
(削る)	(削る)		電動又は電磁式ブレーキ (簡易型用を除く。)	17,400	
			交換		
(削る)	(削る)		電動又は電磁式ブレーキ (簡易型用に限る。)	12,500	
			交換		
(削る)	(削る)		手動ブレーキ交換	12,200	
(削る)	(削る)		手動ブレーキ部品交換	7,200	
(削る)	(削る)		クラッチ交換	8,600	
(削る)	(削る)		フレーム交換	38,300	
(削る)	(削る)		フレーム部品交換	8,900	
(削る)	(削る)		シートフレーム交換	15,100	
(削る)	(削る)		シートフレーム部品交換	6,400	
(削る)	(削る)		電動リフトシートフレーム交換	81,200	
(削る)	(削る)		電動リフトメインフレーム交換	101,500	
(削る)	(削る)		電動テイルトシートフレーム交換	81,200	
(削る)	(削る)		バックサポートパイプ交換	8,800	
(削る)	(削る)	(削る)	延長バックサポート交換	9,300	枕は含めないこと。
(削る)	(削る)	(削る)	枕 (オーダー) 交換	10,330	レディメイドは50%とすること。
(削る)	(削る)		張り調整式バックサポート交換	15,080	
(削る)	(削る)	(削る)	ヘッドサポートベース (マルチタイプ) 交換	16,950	枕は含めること。
(削る)	(削る)		高さ調整式アームサポート交換	3,310	
(削る)	(削る)		跳ね上げ式アームサポート交換	6,280	
(削る)	(削る)		アームサポート拡幅部品交換	3,610	
(削る)	(削る)		アームサポート延長部品交換	3,610	
(削る)	(削る)		アームサポートパイプ交換	4,150	
(削る)	(削る)		アームサポートクッション交換	3,450	
(削る)	(削る)		サイドガード交換	5,000	
(削る)	(削る)		バックサポート交換	6,900	
(削る)	(削る)		シート交換	9,290	
(削る)	(削る)	(削る)	フットサポート交換	11,500	前後調整、角度調整、左右調整の各構造を有する場合は、各1,500円増しとすること。
(削る)	(削る)		フットサポート部品交換	5,200	
(削る)	(削る)		開閉・脱着式レッグサポート交換	6,790	

(削る)	(削る)		キャスター交換	9,600	
(削る)	(削る)		キャスター部品交換	3,900	
(削る)	(削る)		フロントホイール交換	4,300	
(削る)	(削る)		リヤホイール交換	5,200	
(削る)	(削る)		タイヤ交換	8,100	
(削る)	(削る)	(削る)	ノーパンクタイヤ（前輪）交換	5,000	購入後に後付けする場合は、12,400円増しとすること。
(削る)	(削る)	(削る)	ノーパンクタイヤ（後輪）交換	5,000	購入後に後付けする場合は、13,300円増しとすること。
(削る)	(削る)	(削る)	リヤシャフト交換	6,700	
(削る)	(削る)	(削る)	電動リフトシャフト交換	50,800	
(削る)	(削る)	(削る)	電動テイルトシャフト交換	58,000	
(削る)	(削る)	(削る)	電動リフトチェーン交換	50,800	
(削る)	(削る)	(削る)	電動リフトチェーンアジャスター交換	25,400	
(削る)	(削る)	(削る)	簡易型電動装置交換	157,500	アシスト式は、55,000円増しとすること。ACサーボモーター式を必要とする場合は20,000円増しとすること。
(削る)	(削る)	(削る)	簡易型ホイール交換	27,700	アシスト式は、6,000円増しとすること。
(削る)	(削る)	(削る)	簡易型ホイール部品交換	3,930	
(削る)	(削る)	(削る)	簡易型右側駆動装置交換	114,850	アシスト式は、21,900円増しとすること。ACサーボモーター式を必要とする場合は10,000円増しとすること。

(削る)	(削る)	(削る)	簡易型左側駆動装置交換	84,850	アシスト式は、39,900円増しとすること。ACサーボモーター式を必要とする場合は10,000円増しとすること。
(削る)	(削る)	(削る)	簡易型駆動装置部品交換	23,400	
(削る)	(削る)	(削る)	バッテリー交換	25,800	密閉型は、3,000円増しとすること。
(削る)	(削る)	(削る)	バッテリー（マイコン内蔵型ニッカド電池）交換	31,000	
(削る)	(削る)	(削る)	バッテリー（マイコン内蔵型ニッケル水素電池）交換	54,000	
(削る)	(削る)	(削る)	バッテリー（リチウムイオン電池）交換	124,400	
(削る)	(削る)	(削る)	バッテリー部品交換	2,300	
(削る)	(削る)	(削る)	内蔵充電器交換	47,600	
(削る)	(削る)	(削る)	外部充電器交換	20,000	簡易型は、5,000円増しとすること。
(削る)	(削る)	(削る)	充電器部品交換	11,800	
(削る)	(削る)	(削る)	オイル又はグリス交換	2,700	
(削る)	(削る)	(削る)	ステッキホルダー（杖たて）交換	3,000	
(削る)	(削る)	(削る)	転倒防止装置交換	3,750	
(削る)	(削る)	(削る)	転倒防止装置(キャスター付き折りたたみ式)交換	7,740	
(削る)	(削る)	(削る)	クライマーセット（段差乗り越え補助装置）交換	18,000	
(削る)	(削る)	(削る)	フロントサブホイール（溝脱輪防止装置）交換	11,200	
(削る)	(削る)	(削る)	携帯用会話補助装置搭載台交換	30,000	
(削る)	(削る)	(削る)	酸素ボンベ固定装置交換	13,000	
(削る)	(削る)	(削る)	人工呼吸器搭載台交換	25,000	
(削る)	(削る)	(削る)	栄養パック取り付け用ガードル架交換	10,910	
(削る)	(削る)	(削る)	点滴ポール交換	10,430	
(削る)	(削る)	(削る)	背座間角度調整部品交換	8,100	
(削る)	(削る)	(削る)	座奥行き調整（スライド式）部品交換	12,080	
(削る)	(削る)	(削る)	電動スイングチンコントロール一式交換	213,000	

(削る)			(以下パーツ)		
(削る)	(削る)		<u>パワースイングチンアーム交換</u>	68,250	
(削る)	(削る)		<u>チン操作ボックス交換</u>	15,250	
(削る)	(削る)		<u>セレクター交換</u>	88,000	
(削る)	(削る)		<u>液晶モニター交換</u>	52,000	
(削る)	(削る)		<u>頭部スイッチ・取付金具交換</u>	20,000	
(削る)	(削る)		<u>手動スイングチンコントロール一式交換</u>	35,000	
(削る)			(以下パーツ)		
(削る)	(削る)		<u>手動スイングチンアーム交換</u>	19,750	
(削る)	(削る)		<u>チン操作ボックス交換</u>	15,250	
(削る)	(削る)		<u>手動スイングアーム交換</u>	10,000	
(削る)	(削る)	(削る)	<u>多様入力コントローラ（非常停止スイッチボックス）交換</u>	20,000	購入後に後付けする場合は、28,000円増しとすること。
(削る)	(削る)				
(削る)	(削る)		<u>多様入力コントローラ（4方向スイッチボックス）交換</u>	30,000	
(削る)	(削る)		<u>多様入力コントローラ（4方向スイッチボード）交換</u>	30,000	
(削る)	(削る)		<u>多様入力コントローラ（8方向スイッチボックス）交換</u>	50,000	
(削る)	(削る)		<u>多様入力コントローラ（8方向スイッチボード）交換</u>	50,000	
(削る)	(削る)		<u>多様入力コントローラ（小型ジョイスティックボックス）交換</u>	40,000	
(削る)	(削る)		<u>多様入力コントローラ（フォースセンサ）交換</u>	88,000	
(削る)	(削る)		<u>多様入力コントローラ（足用ボックス）交換</u>	40,000	
(削る)	(削る)		<u>簡易1入力一式交換</u>	90,000	
(削る)	(削る)		<u>延長式スイッチ交換</u>	1,000	
(削る)	(削る)	(削る)	<u>レバーノブ各種形状（小ノブ、球ノブ、こけしノブ）交換</u>	3,350	購入後に後付けする場合は、1,650円増しとすること。

	(削る)	(削る)	(削る)
	(削る)	(削る)	(削る)
	(削る)	(削る)	(削る)
	(削る)	(削る)	(削る)
	(削る)	(削る)	(削る)
	(削る)	(削る)	(削る)
	(削る)	(削る)	(削る)
	(削る)	(削る)	(削る)
	(削る)	(削る)	(削る)
	(削る)	(削る)	(削る)
	(削る)	(削る)	(削る)
	(削る)	(削る)	(削る)
歩行器	キャスト (大) 交換 キャスト (小) 交換 腰掛交換 肘当交換 ブレーキ交換 グリップ交換 塗装	8,200 4,100 5,350 7,950 15,700 2,050 9,400	(略)

	レバーノブ各種形状 (Uノブ、十字ノブ、ペンノブ、太長ノブ、T字ノブ、極小ノブ) 交換	3,860	購入後に後付けする場合は、2,980円増しとすること。
	感度調整式ジョイスティック交換	10,000	購入後に後付けする場合は、5,000円増しとすること。
	ジョイスティックのバネ圧変更部品交換	7,500	購入後に変更する場合は、500円増しとすること。
	前輪パワーステアリング部品交換	51,000	
	車載時固定用フック交換	3,000	1ヶ所当たりとすること。
	日よけ (雨よけ) 部品交換	12,000	
	リフレクタ (反射器—夜光材) 交換	430	1回当たりとすること。
	リフレクタ (反射器—夜光反射材) 交換	670	
	シートベルト交換	4,300	
	テーブル交換	10,900	
	成長対応型部品交換	56,020	バックサポート高さ及び張り調整、座奥行き及び張り調整、フットプレート前後調整、その他成長対応に必要な構造を有すること。
	手動リクライニング装置交換	35,000	
	痰吸引器搭載台交換	25,000	
歩行器	キャスト (大) 交換 キャスト (小) 交換 腰掛交換 肘当交換 ブレーキ交換 グリップ交換 塗装	7,400 3,700 4,850 7,200 14,200 1,850 8,500	(略)

歩行補助つえ	脇当交換 凍結路面用滑り止め（非ゴム系）交換	<u>1,650</u> <u>1,150</u>		
重度障害者用意思伝達装置	本体修理	<u>53,400</u>	触れる操作で 信号入力可能な タッチセンサー コントローラである こと。別途必要な タッチ式入力装置は <u>10,600円</u> 、ピン タッチ式先端部は <u>13,000円</u> 増しとする こと。	
	固定台（アーム式又はテーブル置き式）交換	<u>32,000</u>		
	固定台（自立スタンド式）交換	<u>62,000</u>		
	入力装置固定具交換	<u>32,000</u>		
	呼び鈴交換	<u>21,300</u>		
	呼び鈴分岐装置交換	<u>35,800</u>		
	接点式入力装置（スイッチ）交換	<u>10,600</u>		
	帯電式入力装置（スイッチ）交換	<u>42,700</u>		
	筋電式入力装置（スイッチ）交換	<u>85,400</u>		(略)
	光電式入力装置（スイッチ）交換	<u>53,400</u>		
	呼気式（吸気式）入力装置（スイッチ）交換	<u>37,300</u>		
	圧電素子式入力装置（スイッチ）交換	<u>42,700</u>		
	空気圧式入力装置（スイッチ）交換	<u>42,700</u>		
視線検出式入力装置（スイッチ）交換	<u>220,000</u>			
	遠隔制御装置交換	<u>36,000</u>		
注) 1・2 (略)				

歩行補助つえ	脇当交換 凍結路面用滑り止め（非ゴム系）交換	<u>1,450</u> <u>1,000</u>		
重度障害者用意思伝達装置	本体修理	<u>50,000</u>	触れる操作で 信号入力可能な タッチセンサー コントローラである こと。別途必要な タッチ式入力装置は <u>10,000円</u> 、ピン タッチ式先端部は <u>6,300円</u> 増しとする こと。	
	固定台（アーム式又はテーブル置き式）交換	<u>30,000</u>		
	固定台（自立スタンド式）交換	<u>50,820</u>		
	入力装置固定具交換	<u>30,000</u>		
	呼び鈴交換	<u>20,000</u>		
	呼び鈴分岐装置交換	<u>33,600</u>		
	接点式入力装置（スイッチ）交換	<u>10,000</u>		
	帯電式入力装置（スイッチ）交換	<u>40,000</u>		
	筋電式入力装置（スイッチ）交換	<u>80,000</u>		(略)
	光電式入力装置（スイッチ）交換	<u>50,000</u>		
	呼気式（吸気式）入力装置（スイッチ）交換	<u>35,000</u>		
	圧電素子式入力装置（スイッチ）交換	<u>40,000</u>		
	空気圧式入力装置（スイッチ）交換	<u>40,000</u>		
視線検出式入力装置（スイッチ）交換	<u>180,000</u>			
	遠隔制御装置交換	<u>21,000</u>		
注) 1・2 (略)				